Nikon

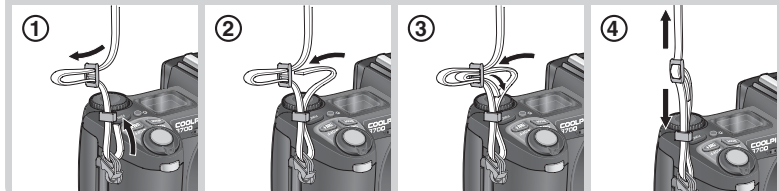
ニコンデジタルカメラ

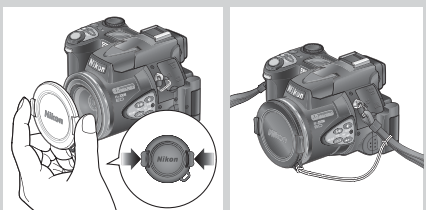
COOLPIX 8700

クールピクス8700

使用説明書

ストラップの取り付け方

付属のストラップは、次のようにカメラのストラップ取り付け部（2 ヵ所）に取り付けます。

レンズキャップについて

レンズキャップの取り付け・取り外しは、レンズキャップ装着レバーを押し込んで行ってください（イラスト①）。レンズキャップの紛失を防止するため、付属のひもをレンズキャップの穴に通して、ストラップに結んでおくことをおすすめします（イラスト②）。

イラスト①　イラスト②

商標説明

- CompactFlash™（コンパクトフラッシュ）は米国 SanDisk 社の商標です。
- Microsoft® および Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、QuickTime は 米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe および Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- PictBridge ロゴは商標です。
- Microdrive ® は Hitachi Global Storage Technologies の登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

ニコンデジタルカメラ COOLPIX8700 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラ COOLPIX8700 で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくご使用ください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

コンパクトフラッシュカードの表記について

この使用説明書では、コンパクトフラッシュカードを CF カードと表記しています。

「初期設定」について

この使用説明書では、カメラご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止

すぐに修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

電池、電源を抜いて、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターに修理を依頼してください。

⚠ 警告（カメラについて）

電池を取る
すぐに
修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。電池を抜いて、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターに修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

見ないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。

発光禁止

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。

発光禁止

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。

特に乳幼児を撮影する時は 1m 以上離れてください。

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

保管注意

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。

警告

指定の電池または専用 AC アダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

使用禁止

AC アダプタご使用時に雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は、幼児の手の届かない所に置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しない時は、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

使用注意

飛行機内で使う時は、航空会社の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

禁止

プラグを抜く

長期間使用しない時は電源（電池や AC アダプタ）を外すこと

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。AC アダプタでご使用されている場合には、AC アダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

禁止

本機器や AC アダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

同梱の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで使用しないこと

機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす場合があります。

⚠ 危険（リチウム電池について）

危険

電池からもれた液が目に入った時はすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（リチウム電池について）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告・注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

電池の「＋」と「－」の向きをまちがえないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

充電式電池以外は充電しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池を廃棄する時はテープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

⚠ 警告（リチウム電池について）

禁止

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 危険（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないこと

ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。
持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。

使用禁止

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL1 は、ニコンデジタルカメラ専用の充電式電池で、COOLPIX8700 に対応しています。EN-EL1 に対応していない機器には使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

危険

電池からもれた液が目に入った時はすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

⚠ 警告（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

使用禁止

変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいた時は使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池をリサイクルする時や、やむなく廃棄する時はテープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターやリサイクル協力店へご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いた時はすぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 注意（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

危険

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

目　次

ご確認ください

●保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

- カスタマ登録は下記のホームページからも登録できます。

http://reg.nikon-image.com

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、堅くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書が破損などによって内容が判読できなくなった時は、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターにて新しい使用説明書をお求めください（有料）。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

◆本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、AC アダプタ、スピードライトなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでご使用ください。

- 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーを使用されますと、カメラの充分な性能が出せないことやバッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品および模倣品と組み合わせて使用することにより、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

各部の名称

カメラ本体の各部名称は次のとおりです。機能の詳細は参照ページをご覧ください。

(モニタ選択) ボタン
(P.14)

ズーム (/) ボタン
(P.26、69、72)

視度調節ダイヤル
(P.27)

電子ビュー
ファインダー
(P.14、15)

モードセレクター
(P.24、67)

マルチセレクター
(P.17)

CF カードカバー
(P.20)

液晶モニタ
(P.14、15)

(削除) ボタン
(P.31、60、67)

MENU(メニュー) ボタン
(P.90)

DISP(表示切り換え) ボタン
(P.16、67)

QUICK(クイックレビュー) ボタン
(P.31)

／ISO（スピードライトモード／
感度変更) ボタン (P.44、57)

端子カバー

／SIZE（画質モード／
画像サイズ) ボタン
(P.40、42)

DC 入力端子
(P.19)

デジタル端子
(P.79、85)

オーディオビデオ
出力端子
(P.78)

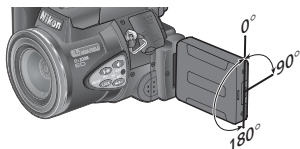
内蔵スピーカー
(P.66、77)

／MF（フォーカスモード／
マニュアルフォーカス) ボタン
(P.47、59)

LOCK(AE／AF ロック) ボタン
(P.30、156)

液晶モニタについて

液晶モニタの使用方法

液晶モニタを左図のように開きます。

液晶モニタを開くと、手前に最大 90°、レンズ側に最大 180°回転させることができます。さまざまなアングルからの撮影が可能です。

カメラ本体に折りたたんだ状態で、液晶モニタを使用した撮影や再生が行えます。通常の撮影では、この状態でのご使用をおすすめします。

液晶モニタをレンズと同じ方向に向けると、セルフポートレートを撮影できます。液晶モニタには鏡に映ったような状態（鏡像）で表示されますが、撮影画像は正面から見た状態（正像）で記録されます。

液晶モニタを使用しない時は、キズ・汚れ防止のため、モニタ画面を内側にして、カメラ本体に収納することをおすすめします。

液晶モニタ取り扱い上のご注意

液晶モニタを回転させる場合は、回転範囲内でゆっくりと回してください。無理な力がかかると、カメラ本体と接続しているヒンジ部の破損の原因となります。

液晶モニタと電子ビューファインダーの自動切り換えについて

電源を ON にしている時に液晶モニタのモニタ画面を内側にして閉じると、自動的に液晶モニタが消灯し、電子ビューファインダーが点灯します。

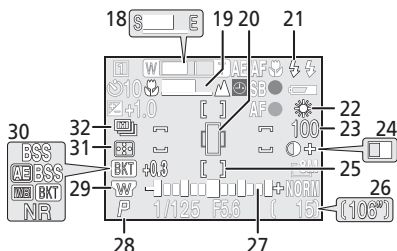
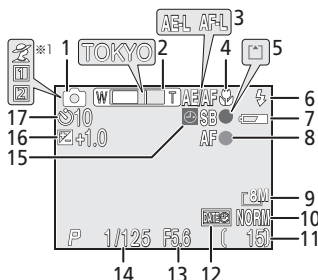
(モニタ選択）ボタンについて

(モニタ選択）ボタンを使うと、液晶モニタまたは電子ビューファインダーのどちらかに撮影画面を切り換えることができます。たとえば、明るい場所で液晶モニタが見えにくいときなどは、電子ビューファインダーを使用して撮影することをおすすめします。撮影状況に合わせてお選びください。

撮影画面の表示について

液晶モニタ／電子ビューファインダー※

撮影時には液晶モニタと電子ビューファインダーには同じ情報が表示されます。

※ 図は、説明のため全表示を点灯させた状態を示しています。

1	撮影モード	P.25
2	ズーム表示※2	P.26
	フォルダ名	P.32、125、147
3	AE-L、AF-L、AE/AF アイコン	P.30、107、156
4	フォーカスモード	P.47
5	スピードライト表示	P.28
	画像記録中表示	P.29
6	スピードライトモード	P.44
7	バッテリーチェック※3	P.24
8	AF 表示※4	P.28
9	画像サイズ	P.42
10	画質モード	P.40
11	撮影可能コマ数	P.24
12	デート写し込み表示	P.159
13	絞り値	P.51、54
14	シャッタースピード	P.51、53
15	時計マーク※5	P.23
16	露出補正アイコン／露出補正値	P.50
17	セルフタイマー／カウントダウン表示	P.48
18	UH 連写進行表示	P.97
19	マニュアルフォーカスインジケータ	P.59
20	スポット測光エリア	P.95
21	外付けスピードライトモード	P.114
22	ホワイトバランス	P.92
23	感度変更モード	P.57
24	階調補正	P.102
	モノクロモード	P.103
25	AF エリア	P.109
26	動画時間表示	P.63
27	露出インジケータ	P.55
28	露出モード	P.51
29	コンバータ	P.106
30	BSS ／ AE-BSS	P.100
	ブラケティング／ホワイトバランスブラケティングアイコン	P.115
	ノイズ除去表示	P.117
31	測光方式	P.95
32	連写モード	P.96

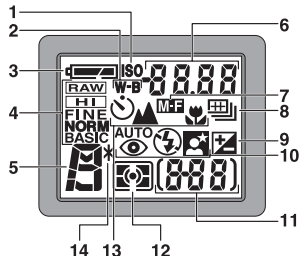
※1 選択されたシーンモードによって変更（P.33）

※2 ズーム操作時に表示

※3 バッテリー残量が少なくなったときに表示

※4 シャッターボタンの半押し時に表示

※5 日時が設定されていない場合に点滅表示

表示パネル※1

1	感度変更マーク	P.57
2	ホワイトバランス（FUNC (FUNC) ボタンにホワイトバランス設定時）	P.92
3	バッテリーチェック	P.24
4	画質モード	P.40
5	露出モード	P.51
6	シャッタースピード※2	P.51、53
	絞り値※2	P.51、54
	撮影モード	P.25
	画像サイズ	P.42
	露出補正値	P.50
	感度表示	P.57
	ホワイトバランス	P.92
	通信状態表示	P.79
7	マニュアルフォーカス	P.59
8	連写モード	P.96
9	露出補正マーク	P.50
10	スピードライトモード	P.44
11	カウンタ（撮影可能コマ数）	P.24
	露出状態表示	P.55
12	測光方式	P.95
13	フォーカスモード／セルフタイマー	P.47、48
14	プログラムシフトマーク	P.52

※1 図は説明のため、全表示を点灯させた状態を示しています。

※2 MODE ボタンを押すと、シャッタースピードと絞り値が切り替わります（露出モードが **A** または **S** の場合を除く）。

DISP（表示切り換え）ボタンについて

DISP（表示切り換え）ボタンを押すと、撮影時の画面表示を切り換えることができます。

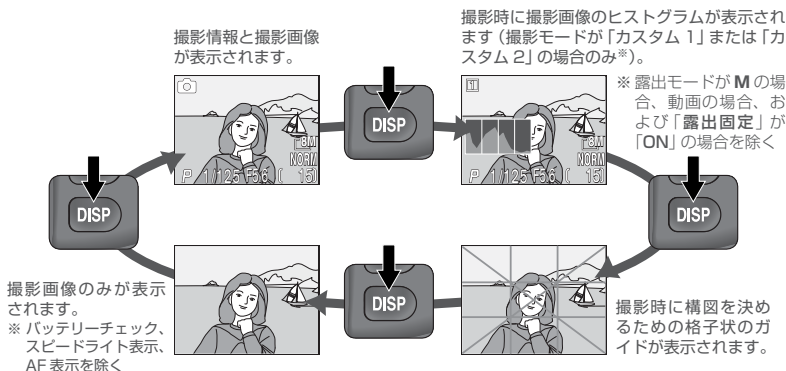
撮影情報と撮影画像が表示されます。

撮影時に撮影画像のヒストグラムが表示されます（撮影モードが「カスタム 1」または「カスタム 2」の場合のみ※）。

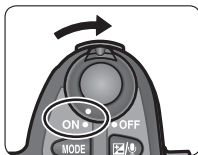
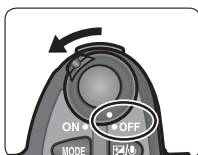
※ 露出モードが **M** の場合、動画の場合、および「**露出固定**」が「**ON**」の場合を除く

撮影時に構図を決めるための格子状のガイドが表示されます。

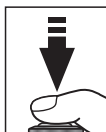
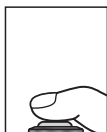
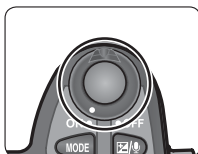
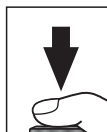
撮影画像のみが表示されます。

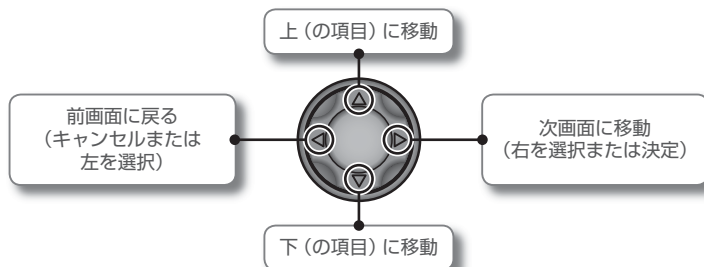
※ バッテリーチェック、スピードライト表示、AF 表示を除く

イルミネーターボタン

イルミネーターボタン（P.12）を押すと、表示パネルが約 8 秒間点灯します。

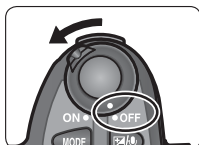
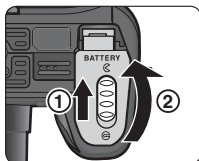
電源の ON と OFF について

電源を ON にするには、矢印の方向に電源スイッチを回します。電源を ON にすると、液晶モニタ（または電子ビューファインダー）にオープニング画面が表示された後、撮影画面または再生画面に切り換わります。

電源を OFF にするには、矢印の方向に電源スイッチを回します。電源を OFF にすると、液晶モニタ（および電子ビューファインダー）は消灯します。

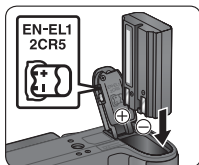
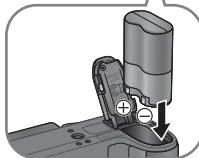
シャッターボタンの半押しについて

シャッターボタンを軽く押して、途中で止める動作を「シャッターボタンを**半押しする**」といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、半押し中は、ピントと露出は固定されます。半押しした状態から、さらに深く押し込むと、シャッターがきれ、撮影できます。

半押しする

さらに深く
押し込む

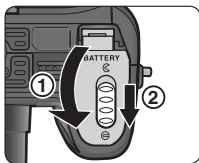
マルチセレクターの使い方

バッテリーを入れます

このカメラは以下のバッテリーが使用できます。

使用できるバッテリー	特　長
Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL1	• カメラに付属しているリチウムイオン電池です。 • はじめてご使用になる時やバッテリーの残量が少なくなった時は、付属の専用バッテリーチャージャー MH-53 でフル充電してからご使用ください。充電方法は MH-53 の使用説明書をご覧ください。 • 残量のない状態のバッテリーを充電する場合、約 2 時間で充電が完了します。
6V リチウム電池（2CR5）	• 市販の電池です。 • 充電はできません。

1 カメラの電源が OFF になっていることを確認します

2 バッテリーカバーを開けます

- バッテリーカバー開閉ノブを ᕦ 側にスライドさせて（①）、バッテリーカバーを開けます（②）。

EN-EL1 の場合

2CR5 の場合

3 バッテリーを入れます

- バッテリーカバー裏側にある図に合わせて、+と－の方向を正しく入れてください。
- 市販の 6V リチウム電池（2CR5）をご使用になる場合も、EN-EL1 と同じ向きにして挿入してください。
- **向きを間違えて挿入すると、カメラが破損するおそれがあります。正しい方向になっているか、再度ご確認ください。**

4 バッテリーカバーを閉じます

- バッテリーカバーを確実に閉じて（①）、バッテリーカバー開閉ノブを ⊖ 側にスライドさせます（②）。
- バッテリーカバーがしっかりと閉じていることをご確認ください。

バッテリーを取り出すには

- バッテリーをカメラから取り出す場合は、カメラの電源を OFF にし、バッテリーカバー開閉ノブを ☾ 側へスライドさせてバッテリーカバーを開け、バッテリーを取り出してください。
- 使用直後はバッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

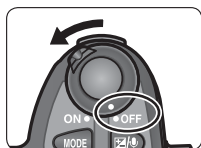
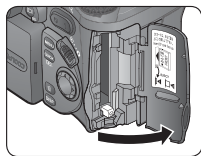
バッテリーについてのご注意

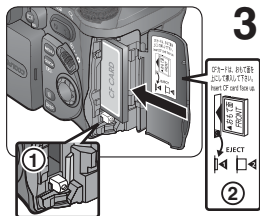
リチャージャブルバッテリー EN-EL1 の取り扱いについてはバッテリーやバッテリーチャージャーの使用説明書もご覧ください。バッテリーを入れる際は「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（P.2 ～ 7）や「バッテリーの取り扱いについて」（P.165）の注意事項を必ずお守りください。

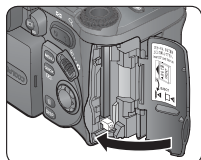
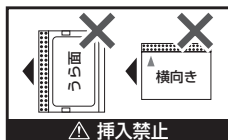
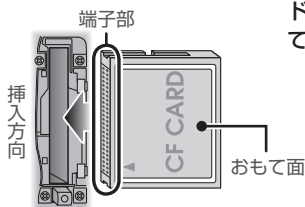
使用可能な AC アダプタについて

再生時やパソコンとの接続時などカメラを長時間ご使用になる場合は、AC アダプタ EH-53（別売）（P.160）を使用してください。その他の AC アダプタは**絶対に使用しないでください**。カメラの故障、発熱の原因となります。

CF カードを入れて液晶モニタを開きます

COOLPIX8700 で撮影した画像は、CF カードに記録、保存されます。

1 カメラの電源が OFF になっていることを確認します

2 CF カードカバーを開けます

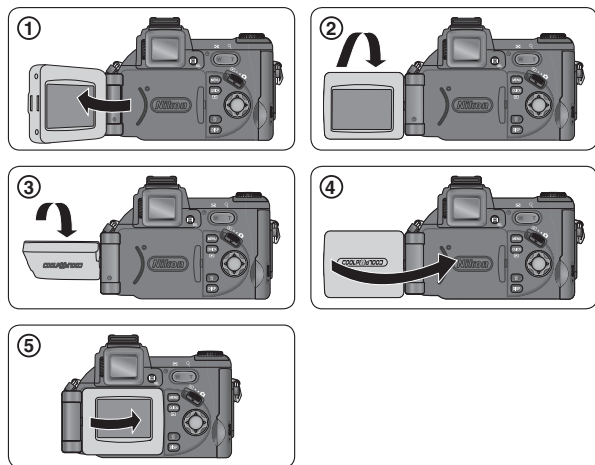
- 初めてご使用になる場合は、CF カードスロットの中に CF カードの挿入方法が書かれた黄色のシートが入っています。CF カードを入れる前に取り出してよくお読みください。

3 CF カードを入れます

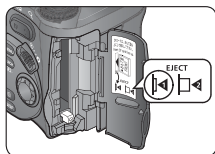
- イジェクトレバーが押し込まれていることを確認し（①）、CF カードをカバー裏側にある図のようにおもて面を手前に向けて（②）差し込み、矢印方向にしっかりと奥まで挿入します。
- CF カードを挿入するときには、CF カードの端子側からカメラに挿入してください。
- **向きを間違えて挿入すると、カメラおよび CF カードが破損するおそれがあります。正しい方向になっているか、再度ご確認ください。**

4 CF カードカバーを閉じます

CF カードの初期化

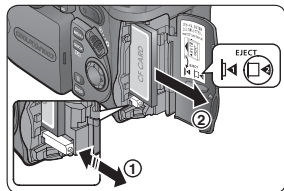
CF カードをはじめて COOLPIX8700 で使用する場合は、**必ず CF カードを初期化してください。**詳しい手順については撮影メニューの「カードの初期化」（P.121）をご覧ください。

5 液晶モニタを開きます

次のように液晶モニタ部を開きます。

①
②
③
④
⑤
CF カードを入れる時のご注意

イジェクトレバーが飛び出したまま、CF カードカバーを閉じると、カードが少し飛び出すため、カメラの電源を ON にした時にエラーの原因となります。CF カードを挿入する際は、必ずイジェクトレバーが押し込まれている (CF カードカバー裏側の図 |◀ の状態になっている) ことを確認してください。

CF カードの取り出し方法

CF カードを取り出す時は、必ずカメラの電源を OFF にしてください。CF カードカバーを開け、イジェクトレバーを押し込むとレバーが少し飛び出します (CF カードカバー裏側の図 ⌊⌋◀ の状態)。イジェクトレバーをもう一度押し込むと (①)、CF カードが少し出てきますので (②)、CF カードを取り出してください。

- カメラの使用直後は、CF カードが熱くなっていることがあります。取り出す時は充分ご注意ください。

使用可能な CF カードについて

使用可能な CF カードおよび使用上の注意については、「付録」の「使用可能な CF カード」(P.162) をご覧ください。

撮影の準備

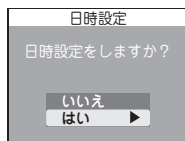
言語と日時を設定します

はじめてカメラの電源を ON にすると、表示言語の設定画面、および日時設定の画面が自動的に表示されます。以下の手順で言語と日時を設定してください。

1

カメラの電源を ON にすると、表示言語メニュー画面が表示されます。「**日本語**」が選択されているのを確認して、QUICK（クイックレビュー）ボタンを押してください。

- MENU（メニュー）ボタンを押すと、言語および日時設定をキャンセルしてモードセレクターに対応した画面に切り換わります。※

2

日時設定画面が表示されます。△ または ▽ を押して「**はい**」を選択します。

- 「**いいえ**」を選択すると、日時設定をキャンセルしてモードセレクターに対応した画面に切り換わります。

※言語の設定をキャンセルした場合（QUICK ボタンを押さなかった場合）には、次に電源を ON にした時またはオートパワーオフ後の液晶モニタ点灯時に、再度、表示言語メニュー画面が表示されます。

3

▷ を押します。自宅の設定画面が表示されます。

4

◁ または ▷ を押して自宅のあるタイムゾーンを選択します。

5

QUICK ボタンを押します。ワールドタイム画面に切り換わります。

- 夏時間を設定する場合は、「**夏時間**」を選択し、▷ を押して □ を ☑ に切り換えます。その後、都市名の項目に戻ってください。
- 「**ゾーン選択**」を選択して ▷ を押すと、手順の 3 に戻ります。

6

▷ を押します。日時設定画面に切り換わります。

夏時間について

夏時間とは、夏の間だけ 1 時間繰り上げて、日中の明るい時間を有効利用する趣旨で、現在約 70 ヶ国で採用されている制度です。ワールドタイムの夏時間を設定すると、時刻が 1 時間進みます。ただし、日本国内で使用する場合は設定する必要がありません。

7

「年」が点滅します。△ または ▽ を押して年を合わせます。

8

▷ を押して、「月」の設定に移ります。7 と 8 の手順を繰り返して、月、日、時、分を順番に選択し、現在の日付・時刻を設定します。

9

▷ を押します。「年月日」の位置で文字が点滅します。

10

△ または ▽ を押して「年月日」「月日年」「日月年」の中から、日付の表示順を選択します。

11

▷を押します。日時が決定して、モードセレクターに対応した画面に切り換わります（例は 📷(撮影モード) セット時)。

- 日付と時刻が設定されていない場合は、撮影画面に時計マーク（🕘）が点滅し（👁 P.15）、撮影した画像の撮影日時情報には、「0000.00.00　00:00」（動画（👁 P.61）の場合は「2004.01.01 00:00」）と記録されます。

日時設定について

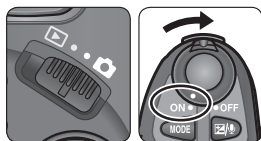
- 日時を設定すると、撮影した画像に撮影日時が情報として記録されます。
- 日時を設定しただけでは、プリント時に日付は写し込まれません。日付の写し込みについては、83 ページをご覧ください。
- カメラの電源を ON にした時に時計マーク（🕘）が点滅表示された場合は、日時を設定してください。
- カメラの内蔵時計は一般的な時計（腕時計）ほど精度はよくありません。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

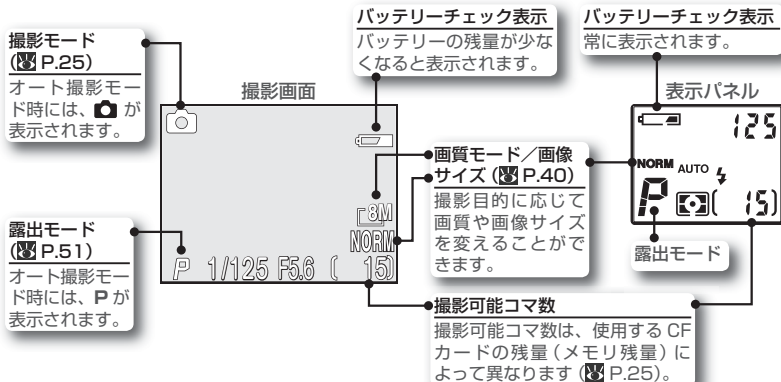
バックアップ用電池について

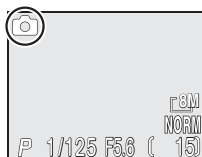
バックアップ用電池はバッテリーや AC アダプタでカメラに電源が供給されていると、約 10 時間で充電されます。充電が完了すると、カメラのバッテリーを取り出したり、AC アダプタを外しても、記憶された日時は**数日間**保持されます。**バックアップ電池が切れた時は、自動的に表示言語メニュー画面が表示されますので、再度言語と日時を設定してください。**

- 充電が不充分な場合、一度セットした言語と日時のデータは失われることがあります。その場合は、言語と日時を設定し直してください。

1. オート撮影モードにセットします

カメラをはじめてご使用になる場合（この状態を初期設定といいます）、撮影モードは（オート撮影）モードにセットされています。オート撮影モードでは、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的にセットされるので、デジタルカメラをはじめてご使用になる方でも簡単に撮影できます。

1 カメラのモードセレクターを（撮影モード）に合わせ、カメラの電源をONにします

- 電源をONにすると、レンズが繰り出し、液晶モニタ（または電子ビューファインダー）にオープニング画面が表示された後、撮影画面に切り換わります。

バッテリーチェック表示について

撮影画面	表示パネル	意　味	カメラの状態
表示なし	（点灯）	バッテリーの残量は充分です。	撮影できます。
（点灯）	（点灯）	バッテリーの残量が少なくなりました。バッテリー交換の準備をしてください。	撮影できますが、スピードライト発光後、充電中に液晶モニタが消灯します。
電池残量がありません	（点滅）	バッテリーの残量がなくなりました。充電済みのバッテリーと交換してください。	撮影できません。

2 撮影モードが (オート撮影) モードになっていることを確認します

- 撮影モードが (オート撮影) モードの場合、撮影画面の左上部に アイコンが表示されます。

撮影モードについて

撮影モードが (オート撮影) モード以外にセットされている場合は、FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して (オート撮影) モードにセットしてください（FUNC ボタンに「**撮影モード**」が割り当てられている場合：P.155)。

- 撮影モードは FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すごとに切り換わります。
- 撮影モードは、メニューからも設定できます (P.104)。

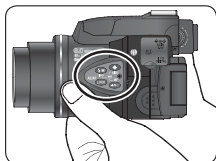
撮影モード		用　途	
	オート	各機能がカメラまかせの (オート撮影) モードになります。	24 ～ 30
※	シーン	パーティーや夜景など、12 種類のシーンに応じた最適な設定で撮影できるシーンモード撮影になります。	33 ～ 39
1 2	カスタム 1 カスタム 2	露出モード (P.51) や撮影メニュー (P.90) などの各機能を自由に設定して、撮影意図に合った撮影を行うことができます。設定した内容は、カスタム 1 とカスタム 2 の 2 種類の撮影モードに記憶させることができます。	104

※ 選択されたシーンモードに応じて変わります (P.33)。

メモリ残量について

「メモリ残量がありません」という警告メッセージ (P.167) が表示された時は、CF カードに撮影できるメモリ残量がないため、撮影を行うことができません。このような時は次のいずれかの方法で対処してください。

- 画質モードや画像サイズを変更する（条件によっては撮影できない場合があります）(P.40)。
- 新しい CF カードに交換する (P.20)。
- CF カードに記録されている画像を削除する (P.31、123)。

2. カメラを構え、構図を決めます

撮影時に誤ってカメラ本体の左側部の操作ボタン類を押さないようにご注意ください。

1 カメラを構えます

- 手ブレを防ぐため、カメラは両手でしっかりと持ちます。

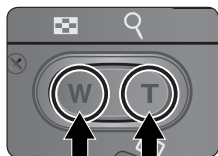
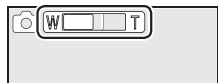
カメラを構える時のご注意

撮影の際に、レンズやスピードライト発光部、マイクなどに指や髪、ストラップがかかったりしないようにご注意ください。

グリップ部の赤目軽減ランプの上に指を置かないようにご注意ください。

2 構図を決めます

写したいもの（被写体）を画面の中央に合わせ、構図を決めます。

- このカメラは、8 倍の光学ズームレンズを装備しています。ズームボタン（W T）を押すことにより、撮影する範囲を変更することができます。
- W ボタンを押すと、レンズが広角側にズーミングして、撮影する範囲が広くなります。
- T ボタンを押すと、レンズが望遠側にズーミングして、被写体を大きく写すことができます。
- 光学ズームを最も望遠側にして、さらに T ボタンを約 2 秒以上押し続けると、自動的に電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（8 倍）の約 4 倍（合計約 32 倍）まで拡大することができます。
- 電子ズームが作動すると、ズーム表示が黄色に変わります。
- 電子ズームをキャンセルするには、ズーム表示が白色に戻るまで W ボタンを押し続けてください。

広角側　望遠側

ズームボタンを押すと、撮影画面にズーム量を示すズーム表示が表示されます。

電子ズーム時

内蔵スピードライトについてのご注意

- 撮影モードを (オート撮影) モード にセットしている場合は、シャッターボタンを半押しすると、暗い時に内蔵スピードライトが自動的にポップアップして (上がって) 発光します。スピードライトについては、「いろいろな撮影機能」の「スピードライトモード」をご覧ください (P.44)。
- **ポップアップした内蔵スピードライトを指などで押さえて撮影しないでください。**この場合、シャッターボタンを半押しした時に、撮影画面に警告が表示されます。
  - ・内蔵スピードライトを無理に手で持ち上げないでください。破損の原因となります。
  - ・使用しない時は内蔵スピードライトをまっすぐ押し下げて収納してください。

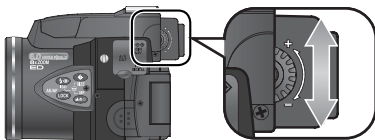
電子ズームについてのご注意

電子ズーム (P.111) は、カメラがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームと違い、画像の中央部分を単に画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。

暗い場所で撮影する場合の液晶モニタについて

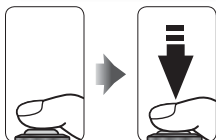
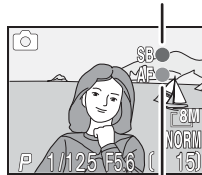
暗い場所で撮影する場合、液晶モニタを見やすくするために通常の撮影時にくらべてざらついた画面になることがあります。

視度調節について

電子ビューファインダーの視度が合わず、被写体が見えにくい場合には、ファインダーの視度を調節することができます。被写体が一番よく見える位置まで視度調節ダイヤルを回してください。

電子ビューファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを操作する時は、誤って指で目を傷つけないように注意してください。

オートパワーオフ機能 (節電モード)

カメラの電源を ON にして、操作のないまま約 1 分間 (初期設定) 経過すると、バッテリーの消耗を抑えるためにオートパワーオフ機能が作動し、液晶モニタまたは電子ビューファインダーが消灯します。再度点灯させるには、(モニタ選択) ボタン、DISP(表示切り換え) ボタン、QUICK(クイックレビュー) ボタン、または MENU(メニュー) ボタンを押すか、シャッターボタンを半押ししてください。
オートパワーオフ機能が作動するまでの時間は、セットアップメニューの「**オートパワーオフ**」から、30 秒、1 分、5 分、30 分のいずれかに設定できます (P.154)。ただし、メニュー画面が表示されている場合は 3 分に、AC アダプタ EH-53 (別売) を使用している場合およびスライドショー (P.130) を「**エンドレス**」に設定している場合には 30 分に固定されます。

3. ピントを合わせて撮影します

1 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます

- シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、半押し中はピントと露出が固定されます（P.17）。
- （オート撮影）モードでは、撮影画面中央にある被写体にピントが合います。
- 被写体が暗い場合は、内蔵スピードライトが自動的にポップアップして、スピードライトが発光します。

シャッターボタンを半押しした時のスピードライト表示（SB○）、AF 表示（AF○）の状態は次のとおりです。

表　示		内　容
スピードライト表示	赤色点灯	シャッターボタンを押し込むと、スピードライトが発光します。
	赤色点滅	スピードライトは充電中です。
	非表示	スピードライトは発光しません。
AF 表示※	緑色点灯	被写体にピントが合っています。
	緑色点滅	被写体にピントを合わせることができません。構図を変えて再度ピントを合わせてください。

※ フォーカスモードが▲（遠景モード）（P.47）の場合、またはマニュアルフォーカス（P.59）がセットされている場合、シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、ゆっくりと押し込み、撮影します

- シャッターボタンを最後まで押し込むと撮影できます。
- シャッターボタンを一気に押すと手ブレの原因となります。シャッターボタンはゆっくりと最後まで押し込んでください。

画像記録中についてのご注意

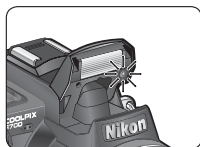
- 撮影画面に [▲] マークまたは ⌛ マークが表示されている場合は、画像を記録中ですので、CF カードを取り出したり、バッテリーや専用 AC アダプタを抜いたりしないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影した画像やカメラ、CF カードが壊れたりする場合があります。
- 撮影画面に ⌛ マークが表示されるまでは撮影を続けることができます。

バッテリーチェック表示中のスピードライトの使用について

バッテリーチェック表示が撮影画面に点灯している時にスピードライトを発光すると、発光後の充電中は液晶モニタが消灯し、バッテリーの消耗を防ぎます。

AF 補助光について

COOLPIX8700 は、AF 補助光を搭載しています。被写体が暗い場合にシャッターボタンを半押しすると、内蔵スピードライトが自動的にポップアップして AF 補助光を照射し、被写体を照らしてオートフォーカスでのピント合わせを可能にします。

- AF 補助光が届く範囲は、約 1.2m です。
- 内蔵スピードライトを指などで押さえていると、ポップアップできず AF 補助光は照射されませんのでご注意ください。
- スピードライトモード (P.44) が ⊛(発光禁止) の場合にも、AF 補助光が照射される場合があります。
- 次の場合は AF 補助光を使用することができません：
  - ・連写モードが「**微速度撮影**」以外の「**動画**」に設定されている場合 (P.61)
  - ・フォーカスモードが ▲(遠景モード) にセットされている場合 (P.47)
  - ・「**スピードライト**：**POPUP**」(P.112) が「**マニュアル**」に設定されており、内蔵スピードライトがポップアップしていない場合
  - ・シーンモード (P.33) が (風景)、(夜景)、(打ち上げ花火) に設定されている場合
  - ・「**フォーカス**：**AF エリア選択**」(P.109) が「**マニュアル**」に設定されているか、シーンモード (P.33) が (ポートレート)、(夜景ポートレート)、(クローズアップ) に設定されており、中央以外の AF エリアが選択されている場合

液晶モニタ・電子ビューファインダーの撮影画面について

液晶モニタや電子ビューファインダーの撮影画面は、撮像素子 (CCD) からの映像を処理して表示します。そのため、実際の被写体の動きよりも若干遅れて表示されます。動きの速い被写体の撮影など、表示の遅れを軽減したい場合は、セットアップメニューの「**モニタ設定**；**レリーズ応答速度**」を「**クイックレスポンス**」に設定してください (P.148)。

オートフォーカスが苦手な被写体について

次のような場合、オートフォーカスでは適切なピント合わせができないことがあります。

- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）を撮影する場合
- 動きの速い被写体を撮影する場合

構図を変えて撮影する（AE/AF ロック撮影）

AE/AF ロック撮影は、被写体を画面の中央以外の場所に配置する場合など構図を工夫したい撮影や、オートフォーカスが苦手な被写体の撮影などをするのに便利です。

1 ピントを合わせます

写したい被写体を画面の中央に合わせます。

2 AF 表示を確認します

シャッターボタンを半押しします。ピントが合うと、撮影画面に AF 表示が点灯します。

3 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変えます

- シャッターボタンを半押ししている間はピントと露出が固定されます。
- カメラから被写体までの距離を変えないでください。被写体との距離が変わった場合は、いったんシャッターボタンから指を離し、ピントを合わせ直してください。

4 シャッターボタンを押し込んで撮影します

LOCK（AE/AF ロック）ボタン

AE/AF ロック撮影は、LOCK ボタンを押すことにより行うこともできます。LOCK ボタンを押している間はピントと露出が固定されます。セットアップメニューの「**ボタン設定**：**AE-L、AF-L**」では、LOCK ボタン（P.156）の機能を変更することができます。

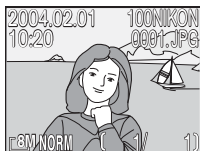
4. 撮影した画像を確認します（レビュー再生／簡易再生モード）

COOLPIX8700 のレビュー再生、簡易再生モードを使用すると、撮影後モードセレクターを ◘(撮影) モードにしたままで、すぐに画像を再生することができます。

1

撮影モード時に QUICK(クイックレビュー) ボタンを押します。

- 撮影した画像が撮影画面の左上に縮小表示されます（レビュー再生モード）。

2

レビュー再生モード時に QUICK ボタンを押します。

- 撮影した画像が画面全体に表示されます（簡易再生モード）。
- 簡易再生モード時に QUICK ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影モードに戻り、いつでも撮影できます。

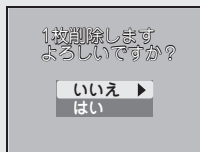
マルチセレクターの △ または ◁ を押すと前の画像を、▽ または ▷ を押すと、次の画像を見ることができます。

表示中の画像を削除する場合（簡易再生モード）

簡易再生モード時に 🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの ▽ を押して、「**はい**」を選択し、▷ を押すと、表示中の画像を削除して、簡易再生モードに戻ります。

- 「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、画像は削除されずに簡易再生モードに戻ります。

画像の削除について

レビュー再生モードで 🗑 ボタンを押しても画像は削除されません。

再生モード ▶ について

画像を再生するには、レビュー再生モード、簡易再生モードの他に、モードセレクターを ▶ に切り換える再生モードがあります（P.67）。

画像再生について

表示画像を切り換えた直後は、CF カードに記録された画像を素早く表示するために、画像が粗くなることがあります。

撮影の基本ステップ

ファイル名とフォルダ名

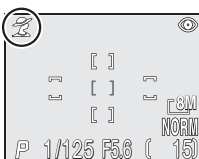
COOLPIX8700 で撮影した画像や動画、録音した音声は、カメラが自動的に作成するファイル名で保存されます。最初の 4 文字は識別子を表しており、次の 4 桁の番号は撮影順に連番でつけられます（最初の 4 文字はカメラの画面には表示されません）。各ファイルの最後には、ファイルのタイプを示す拡張子がつきます（例；DSCN0001.JPG）。

ファイルのタイプ		識別子	拡張子	
撮影した画像	画質モードが RAW の静止画	DSCN	.NEF	40
	画質モードが HI の静止画	DSCN	.TIF	40
	その他の静止画	DSCN	.JPG	40
	動画	DSCN	.MOV	61
	微速度撮影	INTN	.MOV	64
編集した画像	トリミングで作成された画像	RSCN	.JPG	74
	スモールピクチャー	SSCN	.JPG	76
録音した音声	元画像に録音した音声メモ	DSCN	.WAV	77
	トリミングで作成した画像に録音した音声メモ	RSCN	.WAV	77
	スモールピクチャーに録音した音声メモ	SSCN	.WAV	77

- ファイルを保存するフォルダはカメラが自動的に作成し、フォルダ名には 3 桁のフォルダ番号がつきます（例：100NIKON）。ひとつのフォルダ内に 200 個のファイルがある場合には、フォルダ番号に 1 を加えた新しいフォルダを自動的に作成します（例：100NIKON → 101NIKON）。
  - ・UH 連写時は、撮影を行うたびに「N_XXX」フォルダ（例：101N_001）が新しく作成され、識別子が「DSCN」の一連の画像が保存されます（P.96）。
  - ・インターバル撮影時は、撮影を行うたびに「INTVL」フォルダが新しく作成され、ファイル名「DSCN0001」から一連の画像が保存されます（99）。
  - ・パノラマアシストモード時は、撮影を行うたびに「P_XXX」フォルダ（例：101P_001）が新しく作成され、ファイル名「DSCN0001」から一連の画像が保存されます（P.38）。
- フォルダ内のファイル番号が 9999 に達した場合には、カメラが自動的に新しいフォルダを作成し、そのフォルダ内で再び 0001 から連番でファイル番号をつけます。
- フォルダ番号が 999 の時にファイル数が 200 個またはファイル番号が 9999 に達した場合には、CF カードの記録容量に余裕があっても、それ以上撮影できません。CF カードを交換するか、CF カードを初期化（P.121）してください。
- 画像を再生すると、最初に番号の最も大きいフォルダの中のファイル番号の最も大きい画像が表示されます。

シーンモードを使うには

COOLPIX8700 では、12 種類のシーンモードが使用できます。撮影状況や被写体に合ったシーンモードを選択するだけで、複雑な設定をしなくても思いどおりの撮影が簡単に楽しめます。シーンモードの選択方法は次のとおりです。

1

撮影画面の左上部にシーンモードのアイコンが表示されるまで、FUNC(FUNC) ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。※

- 初期設定では、 が表示されます。
- シーンモードは、撮影モードメニューでもセットできます (P.104)。

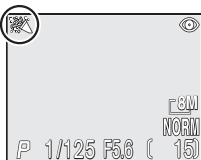
2

MENU(メニュー) ボタンを押すと、シーンモードメニューが表示されます。

3

マルチセレクターでセットしたいシーンモードを選択します。

- 選択されているシーンモードのアイコンが画面上部に大きく表示されます。
- コマンドダイヤルを回してシーンモードを選択することもできます。
- シーンモードの変更をキャンセルする場合は MENU ボタンを押します。

4

QUICK(クイックレビュー) ボタンを押すと、選択したシーンモードがセットされ、撮影画面に戻ります。

- 選択したシーンモードのアイコンが撮影画面の左上に表示されます。

※ FUNC ボタンに「**撮影モード**」が割り当てられている場合 (P.155)。

シーンモードメニューについて

シーンモードメニューで「**撮影モード**」を選択して QUICK ボタンを押すと、撮影モードメニューが表示されます (P.104)。「**セットアップ**」を選択して QUICK ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます (P.141)。

シーンモードの種類と特徴

ポートレート　表示パネル：SCE 1

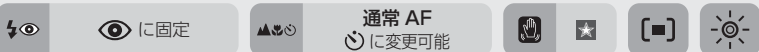
人物の撮影に使用します。背景をぼかし、人物を浮き立たせて立体感のある画像に仕上げます。

- 背景をぼかす度合いは、明るさで変化します。

全モードに変更可能		通常 AF に変更可能		—		

パーティー　表示パネル：SCE 2

パーティー会場などで、キャンドルライトを活かしてきれいに写すなど、被写体の背景を活かした雰囲気のある画像に仕上げます。

に固定		通常 AF に変更可能				

※ 表の中の は使用できるスピードライトモード（：強制発光、：発光禁止、：赤目軽減自動発光、P.44）、は使用できるフォーカスモード（：遠景モード、：マクロモード、：セルフタイマー撮影、P.47）、は手ぶれ度合い表示、は AF 補助光（P.29）が照射されることを示しています。

※ ［ ］／［■］は AF エリアを示しています（P.109）。

- ［ ］（マニュアル）では、5 つの AF エリアのうち、マルチセレクターで選択した AF エリアを使用してピントを合わせます。
- ［■］（中央）では、画面の中央にピントが合います。

手ブレ度合い表示について

手ブレ度合い表示のあるシーンモードでは、被写体の明るさによってシャッタースピードが遅くなります。この場合、手ブレ度合いに応じて次のようにカメラを固定してください。

★　：脇を締めて、カメラを固定するようにしっかりと構えてください。
★★：三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。

AF 補助光の制限について

（風景）、（夜景）、（打ち上げ花火）に設定時、または（ポートレート）、（夜景ポートレート）、（クローズアップ）時に中央以外の AF エリアが選択されている場合には、AF 補助光は照射されません。

シーンモードの切り換えについて

シーンモードは、MODE ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して切り換えることもできます。

シーンモードの選択方法：P.33

夜景ポートレート　　表示パネル：SCE3

夕景や夜景をバックに人物を撮影したい時、背景を黒くつぶすことなく、人物も背景も自然に表現できます。

- 画像にノイズが発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます（P.117）。

 に固定　｜　通常 AF　に変更可能　｜　 　｜　　｜　

海・雪　　表示パネル：SCE4

晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影します。

自動発光　全モードに変更可能　｜　 通常 AF　に変更可能　｜　 —　｜　　｜　

風景　　表示パネル：SCE5

風景写真を撮影したい時に使用します。木々の緑や青空などの輪郭やコントラストを強調して鮮やかな色の画像に仕上げます。

- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされています。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。

 に固定　｜　に変更可能　｜　 —

思いどおりの画像にならない場合は

撮影状況によっては、選択したシーンモードでは期待どおりの結果にならない場合があります。このような場合は、撮影モードを（オート撮影）モードにセットして撮影を行うことをおすすめします。

ノイズ除去機能について

夜景など、シャッタースピードが低速になる撮影では、記録された画像に星状のノイズが生じることがあります。シーンモードの夜景ポートレートまたは夜景モード選択時には撮影画面にノイズ除去表示（**NR**）が表示され、1/4 秒以下の低速シャッタースピードになる撮影では、自動的にノイズを軽減するノイズ除去が行われます。この場合、画像の記録時間が通常の 2 倍以上かかります。

夕焼け　　表示パネル：SCE6

美しい赤い夕焼け（朝焼け）を見た目のままに美しく表現します。

に固定　通常 AF に変更可能

夜景　　表示パネル：SCE7

夜景を撮影する際、スローシャッターで夜景の雰囲気を表現した写真を撮影できます。

- フォーカスは遠景にピントが固定されます。
- 画像にノイズが発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます（P.117）。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。

に固定　に変更可能

打ち上げ花火　　表示パネル：SCE8

スローシャッターで、大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- フォーカスは遠景にピントが固定されます。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
- セルフタイマーおよび露出補正は使用できません。

に固定　に固定

クローズアップ　　表示パネル：SCE9

草花や昆虫、小さな被写体などのクローズアップ（接写）写真を撮影したい時に使用します。

- 撮影画面の アイコンが緑色で表示されるズーム位置に自動的にセットされ、レンズ前約 3cm まで被写体にピントを合わせることができます。ただし、ズーム位置により、最短撮影距離は変化します。
- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、AF によるピント合わせを繰り返します。
- 約 50cm よりも近距離でスピードライトを使用すると、光が充分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。テスト撮影を行い、撮影画面で画像を確認してください。

全モードに変更可能　に変更可能

モノクロコピー

表示パネル：SCEa

ホワイトボードや名刺、印刷物の文字などを、シャープに複写することができます。

- 名刺など近くのものを撮影する場合は、マクロモード（P.47）にセットしてください。
- 複写するものが赤色、青色などの場合、文字などが薄くなることがあります。

全モードに変更可能

通常 AF
または に変更可能

—

逆光

表示パネル：SCEb

スピードライトが常に発光して、逆光状態の時に人物が影にならず美しく撮影することができます。

通常 AF
に変更可能

—

パノラマアシスト（P.38）

表示パネル：SCEc

複数の画像を、最初に撮影した画像と同じホワイトバランスと露出で撮影します。撮影した複数の画像をパソコンに取り込み、パノラマ画像作成ソフトを使用して、1 つの画像に合成する場合に便利です。

- 露出補正、スピードライトモード、フォーカスモード、ズーム操作は最初に撮影した時の内容に固定されます。

全モードに変更可能

通常 AF
全モードに変更可能

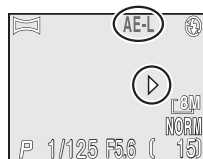
—

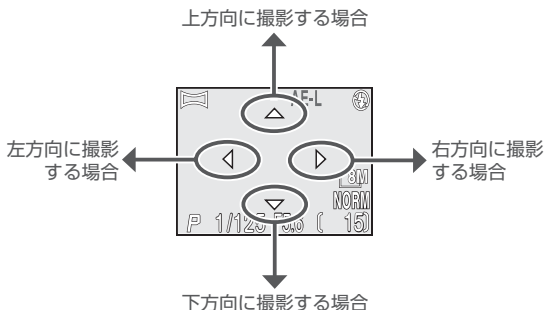
シーンモード

パノラマアシストモードの撮影手順

1

シーンモード選択画面で、マルチセレクターを使用して ⊏⊐(パノラマアシストモード)を選択します。

2

QUICK(クイックレビュー) ボタンを押すと、撮影画面上で画像をつなげるパノラマ方向表示 (▷) が表示されます (撮影画面に AE-L のアイコンが黄色で表示されます)。

3

画像をつなげる方向をマルチセレクターで選択します。選択したパノラマ方向表示が撮影画面に表示されます。

パノラマアシストモードで撮影された画像の保存と再生

- パノラマアシストモードで撮影を行うたびに「P_XXX」フォルダ (例：101P_001) が新しく作成され、一連の画像が保存されます。
- パノラマアシストモードで撮影された画像を再生する場合には、再生メニューの「**フォルダ設定**」(P.125) で「**すべてのフォルダ**」を選択するか、「P_XXX」という名称の専用フォルダ (例：P_001) を選択してください。

露出固定表示

パノラマアシストモードに設定すると、AE-L アイコンが撮影画面に黄色で表示されます。最初の撮影を行うと、露出とホワイトバランスがその条件に固定され、AE-L アイコンは白色に変わります。以後、同じ条件で撮影を行います。

4

シャッターボタンを押して最初の画像を撮影します（1 コマ目の撮影後に露出とホワイトバランスが固定されるため、AE-L のアイコンが黄色から白色に変わります）。

5

撮影した画像の約 1/3 が、選択した方向の反対側の撮影画面上に半透明に表示されます。たとえば、手順 3 で ▷（右）方向が選択されている場合は、撮影画面の左端に、先に撮影した画像の右端約 1/3 が半透明で表示されます。

6

先に撮影した画像の絵柄と、撮影画面の絵柄が重なるように、カメラの構図を合わせます。

7

シャッターボタンを押して次の画像を撮影します。手順 6、7 を繰り返して、パノラマ画像を構成するすべての画像を撮影します。

8

QUICK ボタンを押すと、パノラマアシスト撮影が終了します。

パノラマアシスト撮影のご注意

パノラマアシスト撮影を開始すると、一連の撮影を終了するまでは、パノラマ方向表示や、ズーム操作、露出補正、画質モード、画像サイズ、スピードライトモード、フォーカスモードの変更、および画像の削除を行うことはできません。

三脚の使用について

パノラマアシストモードで撮影する場合は、三脚を使用すると、組み合わせる画像の構図を合わせやすくなります。

画質モードと画像サイズ

画質モード

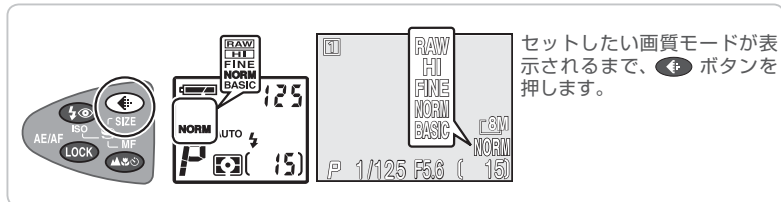
画像を記録する際に処理を施して画像ファイルのファイルサイズを小さくすることを圧縮といいます。COOLPIX8700 は、NEF 形式や TIFF 形式で画像を圧縮せずに保存したり、JPEG 形式で圧縮して保存することができます。画像の圧縮率が高くなれば画像のファイルサイズは小さくなり、CF カードに記録できる画像数が増加します。ただし、画像の細部の描写が失われ、画質が低下します。画像の圧縮率を低くすると、画像ファイルが大きくなり、CF カードに記録できる画素数は減少しますが、高画質になります。CF カードの容量や撮影状況に応じて画質モードを選択してください。

画質モードは次の 5 種類から選択できます。

画質モード	ファイル形式	内　容	圧縮	画像サイズ	撮影モード
RAW	NEF	画像の処理、圧縮を行わないため、細部の描写が維持されます。CCD(撮像素子) からの生出力を NEF 形式 (Nikon Electronic Image Format) で保存します。画質モード HI の画像に比べてファイルサイズが小さくなります。	非圧縮	8M のみ	1 2 のみ
HI	TIFF (RGB)	画像の圧縮を行わないため、細部の描写が維持されます。幅広いアプリケーションに対応できる TIFF 形式で保存します。画質を優先する場合に使用します。	非圧縮	8M 3:2 のみ	1 2 のみ
FINE	JPEG	約 1/4 の JPEG 圧縮で記録します。細かい模様を拡大する場合や、プリンタで表現したい場合などに適しています。	低 ↑ 圧縮率 ↓ 高	全画像サイズで設定可能	📷 ※ 1 2
NORMAL	JPEG	約 1/8 の JPEG 圧縮で記録します。通常の記念撮影などにはこの画質モードを使用します。			
BASIC	JPEG	約 1/16 の JPEG 圧縮で記録します。電子メールに添付したりホームページに利用したりする場合に適しています。			

※ 選択されたシーンモードに応じてアイコンが変わります。

画質モードのセット方法

セットしたい画質モードが表示されるまで、 ボタンを押します。

RAW および HI の設定について

- 「RAW」および「HI」は、撮影モードを「**カスタム 1**」、「**カスタム 2**」にセットした場合のみ、セットすることができます。「RAW」または「HI」にセットしていても、撮影モードを (オート撮影) モード またはシーンモードに切り換えると、自動的に「FINE」に変更されます。
- 画質モードを「RAW」または「HI」にセットした場合、電子ズームは使用できません (P.26)。
- 画質モードが「RAW」の画像をダイレクトプリントすることはできません (P.84)。

RAW 画像 (NEF 形式) について

CCD (撮像素子) からの生出力をデータで記録します。画像ファイルを開くには、PictureProject または Nikon Capture (別売) が必要です。また、Nikon Capture で開く場合、4.0 以前のバージョンでは開くことができません。最新の情報は当社 Web サイトでご確認ください (P.182)。

RAW 画像を HI 画像に変換する

RAW 画像 (NEF 形式) を PictureProject または Nikon Capture (別売) 以外のアプリケーションで再生するには、HI 画像 (TIFF 形式) に変換してください。TIFF 形式のファイルはほとんどのアプリケーションに対応できます。COOLPIX8700 では、再生モードの 1 コマ再生時に RAW 画像を HI 画像に変換することができます (P.68)。変換すると画像ファイルの拡張子が .NEF から .TIF に変わります。

画像サイズ

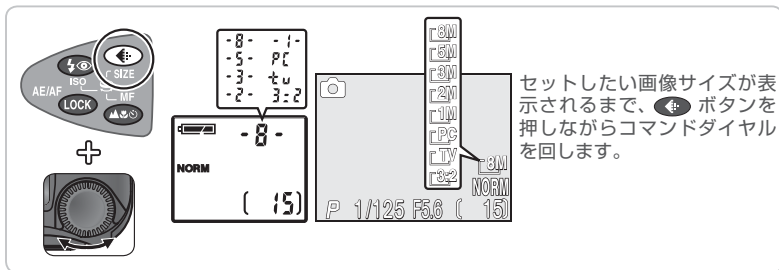
画像サイズを大きくすると、画像ファイルが大きくなり、CF カード内の空き容量が減少しますが、大きくプリントする時などに適しています。画像サイズを小さくすると画像ファイルが小さくなり、電子メールに添付したり、ホームページに利用する場合に適しています。ただし、小さい画像サイズで大きくプリントすると、粒子が粗い画像になります。CF カードの容量や撮影状況に応じて画像サイズを選択してください。

画像サイズは次の 8 種類から選択できます。

画像サイズ			プリント時のサイズ※
設定	表示パネル	ファイルサイズ（ピクセル）	
8M	-8-	3264 × 2448	約 28 × 21 cm
5M	-5-	2592 × 1944	約 22 × 16 cm
3M	-3-	2048 × 1536	約 17 × 13 cm
2M	-2-	1600 × 1200	約 14 × 10 cm
1M	-1-	1280 × 960	約 11 × 8 cm
PC	PC	1024 × 768	約 9 × 7 cm
TV	tu	640 × 480	約 5 × 4 cm
3:2	3:2	3264 × 2176	約 28 × 18 cm

※ 画像解像度を 300dpi に設定した場合のサイズです。ピクセル数÷プリンタ解像度（dpi）× 2.54cm で計算しています。

画像サイズのセット方法

セットしたい画像サイズが表示されるまで、ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。

プリントのサイズ

撮影した画像を印刷するときのプリントのサイズはプリンタの解像度によって変わります（解像度が高いほどプリントのサイズは小さくなります）。

画質モード・画像サイズと撮影可能コマ数について

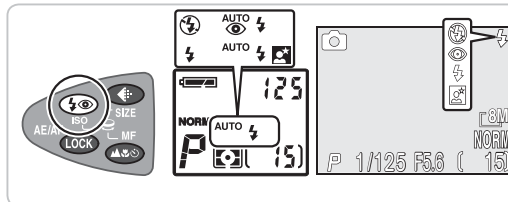
撮影された画像のファイルサイズは、画質モードと画像サイズによって決定されます。そのため、CF カードに記録できる画像のコマ数は、画質モードと画像サイズの組み合わせによって変化します。撮影した画像のファイルサイズと、256MB の CF カードに記録できるコマ数の**おおよその目安**※は次のとおりです。

画像サイズ		画質モード				
		RAW	HI	FINE	NORMAL	BASIC
8M	撮影可能コマ数	約 20	約 10	約 64	約 126	約 244
	ファイルサイズ	約 12MB	約 23MB	約 4MB	約 2MB	約 1 MB
5M	撮影可能コマ数	—	—	約 100	約 195	約 373
	ファイルサイズ	—	—	約 3MB	約 2MB	約 650KB
3M	撮影可能コマ数	—	—	約 159	約 313	約 602
	ファイルサイズ	—	—	約 2MB	約 800KB	約 420KB
2M	撮影可能コマ数	—	—	約 252	約 489	約 870
	ファイルサイズ	—	—	約 960KB	約 500KB	約 270KB
1M	撮影可能コマ数	—	—	約 391	約 712	約 1306
	ファイルサイズ	—	—	約 630KB	約 330KB	約 190KB
PC	撮影可能コマ数	—	—	約 602	約 979	約 1567
	ファイルサイズ	—	—	約 420KB	約 230KB	約 130KB
TV	撮影可能コマ数	—	—	約 1306	約 1959	約 2612
	ファイルサイズ	—	—	約 190KB	約 110KB	約 80KB
3:2	撮影可能コマ数	—	約 11	約 71	約 142	約 279
	ファイルサイズ	—	約 21MB	約 4MB	約 2MB	約 900KB

※ 上記の撮影可能コマ数およびファイルサイズは**目安として参考にしてください**。同じ容量でも CF カードの種類や、JPEG 圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります

スピードライトモード

撮影目的や撮影意図に合わせて 5 種類のスピードライトモードを選択できます。

設　定	表示パネル	内　容	使用場面
自動発光（表示なし）	AUTO ϟ	被写体が暗い場合にシャッターボタンを半押しすると、内蔵スピードライトが自動的にポップアップし、撮影時に発光します。内蔵スピードライトがポップアップしていても被写体が明るい場合は発光しません。	一般的なスピードライト撮影をする場合に使用します。
発光禁止		スピードライトは発光しません。	• 暗い場所で自然光で撮影したい場合、またはスピードライトの使用が禁止されている場所で撮影するときに設定します。 • 暗い場合はシャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意して撮影してください。
赤目軽減自動発光	AUTO ϟ	スピードライトが発光する前にあらかじめ赤目軽減ランプを点灯させて、人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。	• ポートレート撮影に使用します（撮影の際、被写体の人物に赤目軽減ランプをしっかりと見てもらうと効果が上がります）。 • シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません。
強制発光 ϟ	ϟ	被写体の明るさに関係なく、必ずスピードライトが発光します。	昼間の屋外撮影などで顔に影がかかる場合や逆光時などに使用します。
スローシンクロ	AUTO ϟ	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。	• 夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、遠くの背景も近くの被写体もきれいに写したい場合に使用します。 • 暗い場合はシャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意して撮影してください。

撮影メニュー「スピードライト」について

撮影メニューの「**スピードライト**」(P.112) では、調光補正などの設定ができます。

調光範囲について

調光範囲は、広角側で約 0.5 ～ 4.1m、望遠側で約 0.5 ～ 2.7m です (ISO AUTO 時)。

スピードライトモードのセット方法

セットしたいスピードライトモードが表示されるまで ボタンを押します。

- スピードライトモードが自動発光にセットされている場合、アイコンは撮影画面に表示されません。

表示は次のように切り換わります。

「スピードライト：POPUP」を「マニュアル」に設定している場合

撮影メニューの「**スピードライト**：**POPUP**」を「**マニュアル**」に設定している場合（P.112）には、ボタンを押して内蔵スピードライトを上げた後に、スピードライトモードを選択してください。なお、この場合は、被写体の明るさに関係なく常に発光します。マニュアル時の表示は、次のように切り換わります。

バッテリー残量が少ない場合

撮影画面にバッテリーチェック（）が点灯している状態で、内蔵スピードライトを発光した場合、発光後の充電中は液晶モニタが消灯します。ただし、電子ビューファインダー表示に切り換えている場合は、電子ビューファインダーは消灯しません。

近接撮影時のご注意

50cm よりも近距離側でスピードライトを使用すると、光が充分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。テスト撮影をして、液晶モニタ（または電子ビューファインダー）で画像をご確認ください。

スピードライトの撮像感度連動範囲について

スピードライトの撮像感度連動範囲は「**AUTO**」、「**50**」、「**100**」、「**200**」です。スピードライトを使用する場合は撮像感度を「**AUTO**」、「**50**」、「**100**」、「**200**」のいずれかにセットしてください（P.57）。「**400**」は自然光での撮影を目的とした感度ですので、おすすめできません。

内蔵スピードライト使用時のご注意

- 初期設定では、撮影メニューの「**スピードライト**：POPUP」が「**オート**」に設定されています（P.112）。被写体が暗いときにシャッターボタンを半押しすると内蔵スピードライトが自動的にポップアップします。また、外付けスピードライト（P.113）を装着した場合にも内蔵スピードライトの調光センサーを使用するため、内蔵スピードライトが自動的にポップアップします。

  ポップアップした内蔵スピードライトを指などで押さえてシャッターを切ると、内蔵スピードライトおよび外付けスピードライトは発光しません（画像は撮影されます）。この場合、シャッターボタンを半押ししたときに、撮影画面に警告が表示されます。撮影の際は、スピードライトに触れないようにご注意ください。
- スピードライトモードが（発光禁止）の場合にも、AF補助光を照射するため、内蔵スピードライトがポップアップすることがあります。
- スピードライト発光部や調光センサーなどに指や髪、ストラップ、ACアダプタのコードがかからないように注意してください。
- 次の場合は内蔵スピードライトが自動的に（発光禁止）になります。
  - ・フォーカスモードが（遠景モード）（P.47）にセットされている場合
  - ・「**BSS**」が「**ON**」に設定（P.100）、連写モードが「**単写**」以外に設定（P.96）、コンバータが「**OFF**」以外に設定（P.106）、「**露出制御**：**露出固定**」が「**ON**」に設定（P.107）、または「**スピードライト**：**発光切替**」が「**内蔵発光禁止**」に設定（P.113）されている場合
- レンズフードを取り付けたまま、内蔵スピードライトを使用すると、「ケラレ」を生じる場合がありますので、スピードライト撮影を行う場合は、必ず取り外してください（P.161）。

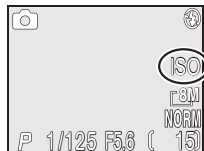
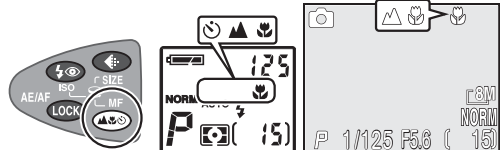
低速シャッター時のご注意

- シャッタースピードが1/4秒より遅くなる撮影では、画像の暗い部分に星状のノイズが生じることがあります。このような場合には撮影画面のシャッタースピード表示が黄色に点灯して警告します。星状のノイズはノイズ除去（P.117）により軽減することができます。
- シャッタースピードが1/30秒より遅くなる撮影では、三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定することをおすすめします。

外付けスピードライトについて

COOLPIX8700はニコン製スピードライト（別売）をアクセサリーシューに装着することにより、外付けスピードライト撮影（P.113）を行うことができます。

感度表示について

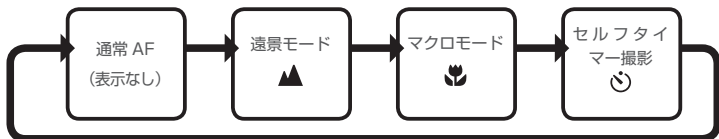
- 撮影モードが（オート撮影）モードまたはシーンモードの場合や、カスタム1またはカスタム2で撮像感度が「**AUTO**」の場合、暗い場所でスピードライトモードが発光禁止にセットされていると、シャッタースピードの低下による手ぶれを防ぐために、カメラが自動的に撮像感度を上げることがあります。撮像感度が上がっている時は、撮影画面に**ISO**（感度表示）アイコンが表示されます。
- **ISO**（感度表示）アイコンが表示されている時に撮影された画像は、標準感度に比べて多少ざらついた画像になります。

フォーカスモード

撮影目的に応じて 3 種類のフォーカスモードとセルフタイマーが選択できます。

設　定	内　容	使用場面
通常 AF（表示なし）	被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。	レンズから 50cm 以上の被写体を撮影する時に使用します。
遠景モード	遠景にピントが合うようにセットされます（シャッターボタンを半押しすると、AF 表示は常に点灯します）。スピードライトは発光しません。	窓越しの景色や風景、建物など、遠くにある被写体などを撮影する時に使用します。
マクロモード	撮影画面のマクロモードアイコン（）が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約 3cm までの被写体にピントを合わせることができます。	花や虫など小さな被写体の近接撮影に使用します。
セルフタイマー撮影	約 10 秒または約 3 秒のセルフタイマー撮影を行います。マクロモード撮影も同時に可能になり、マクロモードアイコン（）も表示されます。	撮影者自身が写りたい時や、シャッターボタンを押す時に生じる手ブレを防止したい時に使用します。

フォーカスモードのセット方法

セットしたいフォーカスモードが表示されるまで、ボタンを押します。

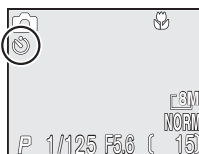
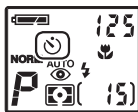
表示は次のように切り換わります。

マニュアルフォーカスについて

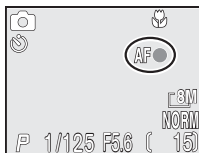
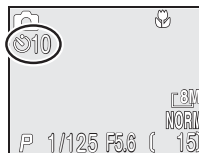
通常はカメラが被写体に自動的にピントを合わせるオートフォーカス機能に設定されていますが、マニュアルフォーカス（P.59）でも撮影できます。

セルフタイマー撮影

記念撮影など、撮影者自身が写りたい時やシャッターボタンを押す時に生じる手ブレを防止したいときなどに使うと便利です。

セルフタイマーの使用方法

1

ボタンを押してセルフタイマー表示（）を表示させます。

- マクロモードアイコン（）も同時に表示され、マクロモード撮影も可能になります（P.47）。

構図を決め、シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで、セルフタイマーを作動させます。

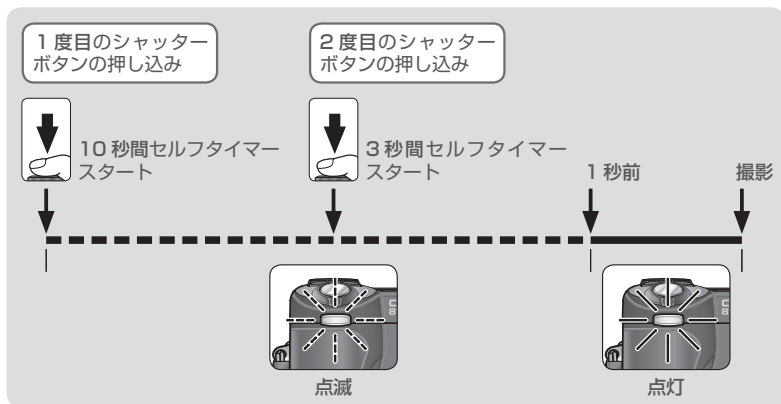
- シャッターボタンを 1 回押すと 10 秒タイマー、2 回押すと 3 秒タイマーに切り換わります。セルフタイマーが作動すると操作音が鳴り、撮影画面にタイマー時間がカウントダウン表示されます。
- 作動中のセルフタイマーを停止するには、10 秒タイマー時には 2 回、3 秒タイマー時には 1 回シャッターボタンを押します。

セルフタイマー使用時のご注意

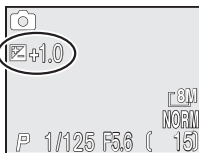
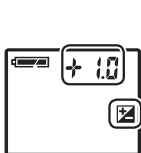
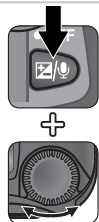
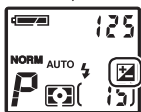
- シーンモード（P.33）を「**打ち上げ花火**」にセットしている場合は、セルフタイマーはセットすることができません。
- セルフタイマー撮影時には、連写モード（P.96）は自動的に「**単写**」にセットされます。

マニュアルフォーカス時のセルフタイマーについて

マニュアルフォーカス（P.59）とセルフタイマーを併用する場合は、セルフタイマーをセットしてからマニュアルフォーカスをセットしてください。

セルフタイマーが作動すると、セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる直前に約 1 秒間点灯します。

露出補正

カメラが決めた適正露出値を意図的に変えることを露出補正といいます。被写体が極端に明るい、あるいは暗い場合や、被写体の明るさの差が著しく異なる場合は、露出補正の数値を変えることで、画像の明るさを調整できます。露出補正値は－2.0EVから＋2.0EVの範囲で、1/3ステップごとにセットすることができます。

露出補正のセット方法

セットしたい露出補正値が表示されるまで、ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。

- 露出補正値を0.0以外にセットすると、撮影画面には（露出補正）マークと補正値が、表示パネルには（露出補正）マークが表示されます。

露出補正時のご注意

露出モードが **M**（マニュアル）の場合またはシーンモードが（打ち上げ花火）に設定されている場合には、露出補正を行うことはできません。

露出補正のキャンセル

露出補正をキャンセルするには、露出補正値を0.0にセットしてください。ただし、撮影モードを（オート撮影）モード またはシーンモードにセットしている場合は、電源をOFFにしたり、他の撮影モードに切り換えてもキャンセルできます。

露出補正値の選択

- 構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合は、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。被写体が暗すぎる時は露出補正値を＋側にセットしてください。
- 構図の大部分が暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）、背景が被写体よりも暗すぎる場合は、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。被写体が明るすぎる時は補正値を－側にセットしてください。

露出モード

（カスタム 1・2）

撮影モードを「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットすると、露出モードを次の4種類から選択できます。

設定	内容	こんな時に
P プログラムオート	適正露出になるようにカメラがシャッタースピードと絞り値を自動的にセットします。同じ露出でシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフト（P.52）も行えます。	ほとんどの撮影状況に適しています。
S シャッター優先オート	設定したシャッタースピードに合わせて、適正露出となるようにカメラが自動的に絞り値をセットします。	動きの速い被写体の瞬間を速いシャッタースピードで撮影したり、遅いシャッタースピードで動きを強調したりする場合などに使用します。
A 絞り優先オート	設定した絞り値に合わせて、適正露出となるようにカメラが自動的にシャッタースピードをセットします。	手前から奥まで鮮明に写したり、背景の描写をやわらげたい場合などに使用します。
M マニュアル露出	シャッタースピードも絞り値も撮影者が自由にセットできます。	撮影意図に合わせて、露出をコントロールしたい場合に使用します。

露出モードのセット方法

露出モードのセット方法は次のとおりです。

カスタム 1 またはカスタム 2 をセットします。

- 1 または 2（表示パネルでは C.1 または C.2）が表示されるまで、FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して、撮影モードをカスタム 1 またはカスタム 2 に設定します。※1、2

露出モードをセットします。

- セットしたい露出モードが表示されるまで、MODE ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。

※1 FUNC ボタンに「**撮影モード**」が割り当てられている場合（P.155）。

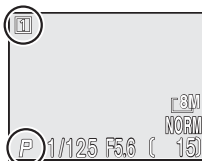
※2 撮影モードメニューで設定することもできます（P.104）。

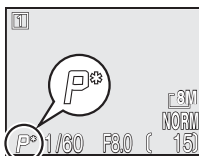
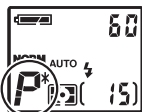
P プログラムオート

被写体の明るさに応じてシャッタースピードと絞り値の最適な組み合わせをカメラが自動的にセットするので、ほとんどの撮影状況に対応できます。プログラムシフト、露出補正 (P.50)、ブラケティング (P.115) などによって撮影者の意図も反映できます。

プログラムシフト

露出モードを **P** にセットし、コマンドダイヤルを回すと、露出値を変えずにシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフトが可能です。この機能により、プログラムオートのままシャッター優先オート (**S**) や絞り優先オート (**A**) のような使い方ができます。

1

撮影モードを 1 または 2 にセットし、露出モードを P に設定します (P.51)。

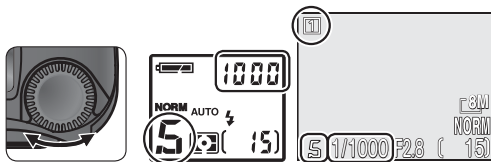
2

コマンドダイヤルを回します。

- プログラムシフト中は、**P** 表示の横にプログラムシフトマーク（∗）が点灯します。
- 撮影画面にシャッタースピードと絞り値が表示されます。
- 表示パネル上にはシャッタースピードか絞り値のどちらか一方が表示されます。表示を切り換えるには、MODE ボタンを押します。

プログラムシフトの解除について

プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク（∗）が消灯するまでコマンドダイヤルを回します。露出モードを切り換えたり、電源を OFF にしても解除できます。

S シャッター優先オート

撮影者が設定したシャッタースピード（8 秒～ 1/4000 秒、1 段ごと）に合わせて、適正露出となるようにカメラが自動的に絞り値をセットします。被写体の動きを速いシャッタースピードで写し止める、または遅いシャッタースピードで流動感を強調するなど、好みのシャッタースピードに設定できます。スポーツシーンの撮影などシャッタースピードを重視した撮影に最適です。

撮影モードを 1 または 2 にセットし、露出モードを S に設定します（P.51）。コマンドダイヤルを回して設定したいシャッタースピード（8 ～ 1/4000 秒）にセットします。

- **被写体が暗すぎたり、明るすぎたりして、設定したシャッタースピードがカメラの制御範囲を超えている場合：**
  シャッターボタンを半押しすると、シャッタースピード表示が点滅します。この場合は適正な露出が得られませんので、設定したシャッタースピードを変えてください。
- **1/4 秒より低速のシャッタースピードに設定する場合：**
  撮影画像に星状のノイズが出ることがあるため、撮影画面上のシャッタースピード表示が黄色く点灯して警告します。この場合は、「**ノイズ除去**」（P.117）を「**ON**」に設定することをおすすめします。

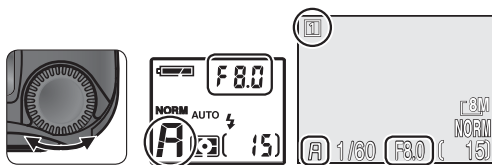
シャッタースピードの使用制限

連写モードを「**UH 連写**」に設定した場合（P.96）は、1 秒間に撮影されるコマ数は一定になります。1 コマが進む速さ（UH 連写では 1/30 秒）以下の低速にシャッタースピードをセットすることはできません。

1/4000 秒高速シャッタースピード時の絞り制限

1/4000 秒の高速シャッタースピードでは絞りに制限がかかります。ズームを最も広角側にした時は F5.0 ～ 8.0、最も望遠側にした時は F7.4 で絞り値が制御されます。

A 絞り優先オート

撮影者が設定した絞り値（開放絞り〜最小絞り、1/3 段ごと）に合わせて、適正露出になるように、カメラが自動的にシャッタースピードをセットします。開放絞り側（小さい数値）にして背景をボカした美しいポートレート写真を撮ったり、最小絞り側（大きい数値）で奥行きのある風景を鮮明に写すなど、好みの絞りに設定できます。被写界深度（ピントの合う前後の範囲）を優先した撮影に最適です。

撮影モードを 1 または 2 にセットし、露出モードを A に設定します（P.51）。
コマンドダイヤルを回して設定したい絞り値（開放絞り〜最小絞り）にセットします。

- 被写体が暗すぎたり、明るすぎたりして、設定した絞り値がカメラの制御範囲を超えている場合：
  シャッターボタンを半押しすると、絞り値表示が点滅します。この場合は適正な露出が得られませんので、設定した絞り値を変えてください。
- 絞りが F8 に設定できない場合：
  ズーム位置によっては、最小絞りが F8 にならない場合があります。

絞りとズーム

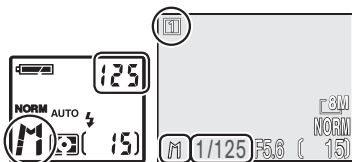
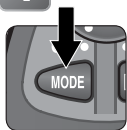
絞り値（F 値）とはレンズの明るさを示す値で、レンズの焦点距離を有効口径（レンズの中にある絞りとそこを通る光の関係を数値化したもの）で割った数値のことをいいます。この数値が小さくなるにしたがって明るくなり、大きくなるにしたがって暗くなります。また、そのレンズの絞りの一番小さい数値を開放絞り値といい、一番大きい数値を最小絞り値といいます。COOLPIX8700 のレンズ（8.9 〜 71.2mm F2.8 〜 4.2）はズーミングによって絞り値が変化します。望遠側にズームすると絞り値が大きくなり、広角側にズームすると、絞り値が小さくなります。撮影メニューの「**ズーム**：**ズーム時 F 値保持**」（P.111）を「**ON**」に設定することにより、この絞り値の変化を最小限に抑えることができます（制御できる絞り値の範囲は F5 〜 F8 です）。

1/4000・1/8000 秒の高速シャッタースピードについて

被写体の明るさによっては、ズームを広角側にセットして、絞りを最小絞り側（大きい数値）にセットすると、1/4000 秒（UH 連写セット時は 1/8000 秒）の高速シャッターが実現可能になります。

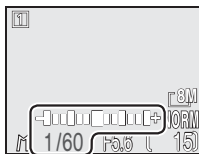
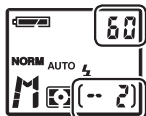
M マニュアル露出

シャッタースピードも絞り値も撮影者が自由に設定します。シャッタースピードは最長 10 分までの長時間露出 (BULB) および 8 秒～ 1/4000 秒の範囲で 1 段ごとに、絞り値は開放絞り～最小絞りの範囲で 1/3 段ごとにセットできます。個性的な映像表現をしたい時に効果的です。

1

撮影モードを [1] または [2] にセットし、露出モードを **M** に設定します (P.51)。

MODE ボタンを押して、シャッタースピードを選択します。

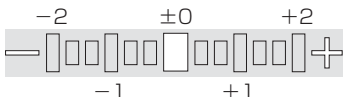
- MODE ボタンを押すごとにシャッタースピードと絞り値が交互に切り換わり、撮影画面には選択された方が緑色で表示され、表示パネルには選択された方が表示されます。

2

コマンドダイヤルを回して、希望するシャッタースピードをセットします。

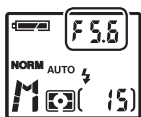
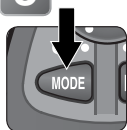
- 設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせによる露出値と、カメラが測光した適正露出値の差が、撮影画面上の露出インジケータに表示されます。
- 表示パネルでは EV 値 (EV 近似値) で表示され、8 秒経過すると撮影可能コマ数表示に変わります。露出値の差が 9EV 以上の場合は「－ 9」または「＋ 9」が点滅警告します。

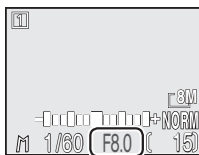
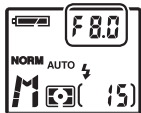
アンダー露出 ↔ オーバー露出

－2　±0　＋2

－1　＋1

露出インジケータ

設定された露出値とカメラの測光した適正露出値の差は、撮影画面上の露出インジケータに－ 2EV から＋ 2EV の範囲で 1/3 段ごとに表示されます。

3

もう一度 MODE ボタンを押して、絞り値を選択します。

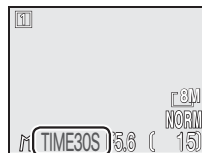
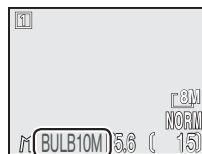
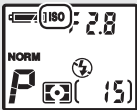
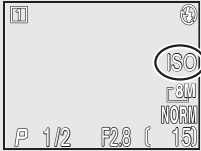
4

コマンドダイヤルを回して、希望する絞り値をセットします。

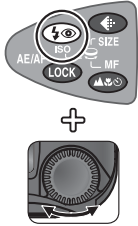
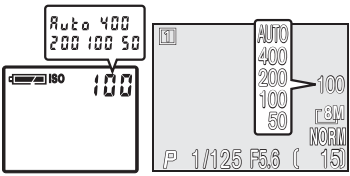
- 必要な場合は手順 2 ～ 4 を繰り返してセットしたいシャッタースピードと絞り値の組み合わせをセットします。

長時間露出撮影 (BULB/TIME) について

露出モードを **M** にセットすると、最長 10 分までの長時間露出撮影が行えます。

- 撮影メニューの「**露出制御**：**BULB/TIME**」(P.108) を「**BULB 露光**」(初期設定) に設定して、シャッタースピードを BULB にセットすると、シャッターボタンを押し続けている間露光し、最長 10 分までシャッターが開いたままになります。

- 撮影メニューの「**露出制御**：**BULB/TIME**」(P.108) を「**TIME 露光**」に設定して、シャッタースピードを TIME にセットすると、シャッターボタンを押してから指を離しても、再度シャッターボタンを押すか、またはセットした時間 (最長 10 分) が経過するまでシャッターが開いたままになります。

長時間露出撮影では次のことにご注意ください。

- 手ブレによって画像がブレることを防ぐために、三脚のご使用をおすすめします。
- 長時間露出撮影時に発生する星状のノイズを軽減させるために、「**ノイズ除去**」(P.117) を「**ON**」に設定することをおすすめします。
- 長時間露出撮影 (BULB/TIME) は連写モード (P.96) が「**単写**」の場合のみ設定できます。

ISO 撮像感度

カスタム 1・2 の設定方法：P.51

「撮像感度」はカメラが光に対して反応する感度を表したものです。感度が高くなれば、ある一定の露出を行うために必要な光の量は少なくなり、より高速のシャッタースピード、またはより絞った絞り値（大きい数値の絞り）で適正露出を得ることができますが、撮影された画像にはノイズが出て、粒子が粗くなることがあります。撮影モードを「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットすると、標準では ISO50 相当の撮像感度を、撮影目的に応じて変更することができます。

撮像感度は次の 5 種類から選択できます。

設　定	内　容
50	ISO50 相当。低輝度時や、高速シャッタースピードが必要な場合（例：動いている被写体を撮影する場合）以外の通常の撮影では、この感度に設定することをおすすめします。この感度より高い感度で撮影するとノイズが出る場合があります。
100	ISO100 相当。
200	ISO200 相当。
400	ISO400 相当。
AUTO	通常は ISO50 相当にセットされますが、低輝度時には自動的に感度が上がります（ISO200 相当まで）。感度が上がると **ISO**（感度変更）のアイコンが表示されます。

撮像感度のセット方法

セットしたい撮像感度が表示されるまで ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。

撮像感度を上げた時に生じる星状ノイズについて

撮像感度を上げた時には撮影画面上に星状ノイズが生じる場合があります。この場合、撮影時のシャッタースピードが 1/4 秒以下の低速シャッタースピードであれば、「**ノイズ除去**」を「**ON**」に設定することにより星状ノイズを軽減することができます (P.117)。

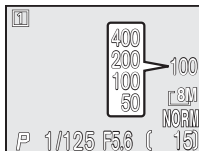
露出モード

露出モードを **S**（シャッター優先オート）、**M**（マニュアル）に設定した場合、撮像感度を「**AUTO**」にセットしても、撮像感度は「**50**」に固定されます。

スピードライトの撮像感度連動範囲について

スピードライトの撮像感度連動範囲は「**AUTO**」、「**50**」、「**100**」、「**200**」です。スピードライトを使用する場合は (P.44)、撮像感度を「**AUTO**」、「**50**」、「**100**」、「**200**」のいずれかにセットしてください。「**400**」は自然光での撮影を目的とした感度ですので、おすすめできません。

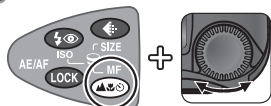
感度表示について

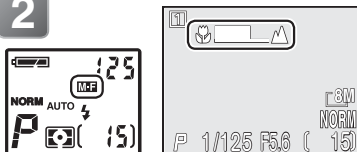
「**AUTO**」以外の感度を設定すると、撮影画面には設定した撮像感度が表示されます。

MF マニュアルフォーカス

カスタム 1・2 の設定方法：P.51

撮影モードを「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットすると、手動でフォーカスを合わせることができます。オートフォーカスでのピント合わせが行えない時や、被写体までの距離があらかじめ想定できる場合などに便利です。マニュアルフォーカスで設定できる撮影距離は、約 3cm から無限遠までです。

マニュアルフォーカスの使用方法

1

MF（ ）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して、マニュアルフォーカスをセットします。

2

マニュアルフォーカス時は、撮影画面にマニュアルフォーカスインジケータが表示されますので、撮影距離の目安にしてください。

- フォーカスをセットできる範囲は、ズームのミドル側で約 3cm（ ）から無限遠（ ）までです。

3

撮影画面で被写体を確認します。

- マニュアルフォーカス時は、撮影画面上でピントが合っている部分の輪郭が強調されてピントが確認しやすいピーキングに自動的にセットされます（撮影メニュー「フォーカス：ピーキング」（ P.110）を「OFF」に設定した場合を除く）。

4

シャッターボタンを深く押し込んで、撮影します。

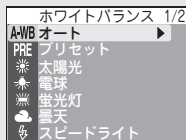
マニュアルフォーカスのキャンセル

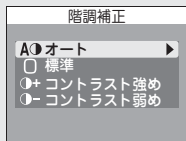
MF（ ）ボタンを押して、フォーカスモード（ P.47）を設定し直すとマニュアルフォーカスはキャンセル（解除）されます。

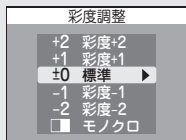
マニュアルフォーカスについてのご注意

- フォーカスをマニュアルフォーカスインジケータの 側にセットしてズーミングを行った場合、ズーム領域によってセットした距離にピントが合わないことがあります。この場合、撮影画面のマニュアルフォーカスインジケータが赤色に点灯して警告します。
- マニュアルフォーカスをセットした場合、LOCK ボタンを押してもフォーカスはロックされません。
- コンバータ装着時（ P.106）は、オートフォーカスで撮影を行ってください。
- セルフタイマーを併用する場合、セルフタイマーを先にセットしてからマニュアルフォーカスをセットしてください（ P.48）。

画像の調整について（カスタム 1・2）

COOLPIX8700 では、撮影メニュー（P.90）を利用して、これから撮影する画像のホワイトバランスを調整したり、輪郭の強弱や階調、彩度を設定するなど、撮影する画像を細かく調整することができます。パソコンでレタッチを行う場合など、使用目的に合わせた設定が可能です。これらの画像調整は、撮影モードが「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットされている場合のみ使用できます（P.51）。

ホワイトバランス（P.92）

人間の目に白く見える色を、照明光の色に合わせて画像でも白く見えるように調整します。

階調補正（P.102）

画像のコントラストを設定します。暗いところと明るいところの差（コントラスト）を強調したり、反対に暗いところと明るいところの差を曖昧にすることができます。

彩度調整（P.103）

画像の色の鮮やかさを設定します。彩度を調整することで、画像を鮮やかにしたり色目を抑えたりすることができ、パソコンでレタッチを行う場合に便利です。また、モノクロ画像として画像を記録することもできます。

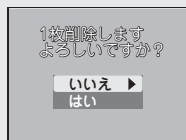
輪郭強調（P.105）

画像の輪郭の強弱を設定します。輪郭を強めに強調すると、個々の被写体の境目がはっきりとして、画像にメリハリがつきます。一方、輪郭を弱めに強調すると、個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。

記録中の画像を削除する場合（→DELETE クイックデリート）

画質モードを「**HI**」、連写モードを「**UH 連写**」にセットした場合、撮影された画像が CF カードに記録されている間に撮影画面に →DELETE（クイックデリート）アイコンが表示されます。この間に、記録中の画像を削除することができます。

ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの ▽ を押して、「**はい**」を選択し、▷ を押すと、表示中の画像を削除して、撮影画面に戻ります。

- 「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、画像は削除されずに撮影画面に戻ります。

動画を選択する

カスタム 1・2 の設定方法：P.51

COOLPIX8700 では、撮影モードを「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットすると、4 種類の動画を選択できます。微速度撮影以外は音声付きで撮影することができます。また、露出モードはプログラムオート（**P**）に固定されます。

設　定	内　容
TV 再生 640	カラーの動画を画像サイズ 640 × 480 ピクセル、30 フレーム / 秒で最長 35 秒間撮影します。テレビで再生した時に適した画像サイズです。
カメラ再生 320	カラーの動画を画像サイズ 320 × 240 ピクセル、15 フレーム / 秒で最長 180 秒間撮影します。
微速度撮影	微速度撮影（P.64）では、設定された撮影間隔（インターバル）で静止画像の撮影を自動的に行い、撮影した複数の画像をつなげて画像サイズ 640 × 480 ピクセル、30 フレーム / 秒の動画として記録します。1 回の微速度撮影で最長 35 秒間分（1050 フレーム）の撮影を行うことができます。つぼみがゆっくりと花開く様子や、蝶が羽化する様子を、記録写真のように撮影したい場合に便利です。なお、微速度撮影時には音声は録音されません。
セピア動画	セピア調の動画を画像サイズ 320 × 240 ピクセル、5 フレーム / 秒で最長 180 秒間撮影します。

動画モードのセット方法

撮影メニューの「**連写**：**動画**」メニューから動画モードを選択します。

MENU ボタンを押します。
- 撮影メニューが表示されます。

2

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**連写**」を選択します。

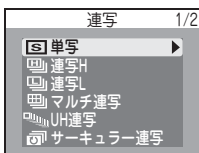
※ マイメニューを初期設定から変更している場合は、「**全メニュー表示**」を選択してから「**連写**」を選択してください。

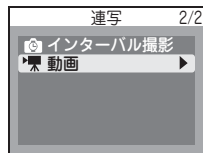
動画のファイル名について

動画ファイルは新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に 1 を加えた番号）の名前に拡張子「.MOV」がつき（例：DSCN0001.MOV）、QuickTime ムービーファイルとしてパソコンに転送して再生することができます。

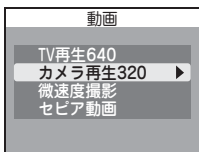
3

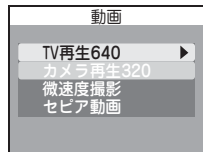
▷ を押します。

- 連写メニュー画面が表示されます。

4

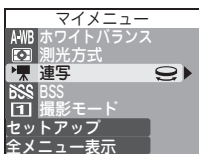
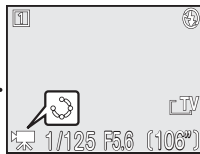
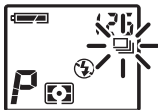
△ または ▽ を押して、「動画」を選択します。

5

▷ を押します。

- 動画メニュー画面が表示されます。

6

△ または ▽ を押して、設定したい動画を選択します。

7

▷ を押して決定します。

- 選択した動画モードが設定されます。
- 「微速度撮影」を選択して ▷ を押すと、撮影間隔（インターバル）と露出固定を設定できます（P.64）。

8

MENU ボタンを押して撮影画面に戻ります。

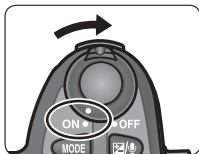
- 表示パネルには が点滅します。

AF モードについて

動画を撮影する場合、AF モードを常時 AF かシングル AF（初期設定）に切り換えることができます。AF モードがシングル AF にセットされている場合は、シャッターボタンを押した時のピントに固定されます。AF モードの切り換えについては、「AF-MODE」（P.110）をご覧ください。

動画を撮影する

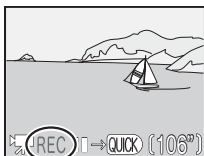
動画モードが「**TV 再生 640**」、「**カメラ再生 320**」、「**セピア動画**」のいずれかに設定されている場合には、以下の手順で動画を撮影します。

1 カメラのモードセレクターを 📷 に合わせます

2 カメラの電源を ON にします

- 撮影画面には撮影可能コマ数のかわりに、記録可能な時間が表示されます。

撮影中は REC アイコンが表示されます。

3 撮影します

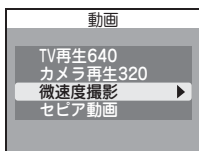
- シャッターボタンを押し込んで、撮影を開始します。
- もう一度シャッターボタンを押し込むと、撮影が終了します。
- QUICK ボタンを押すと撮影を一時停止し、もう一度 QUICK ボタンを押すと撮影を再開します。
- 撮影中に CF カードの残量がなくなった場合や、設定した動画モードの撮影可能な記録時間が経過した場合、撮影は自動的に終了します。

動画撮影時のズーム操作について

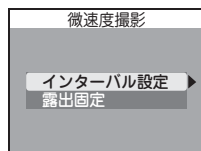
「**TV 再生 640**」、「**カメラ再生 320**」または「**セピア動画**」に設定した場合は、動画撮影開始後にズーム操作を行うと電子ズーム（P.26）が 2 倍まで作動します（光学ズームは作動しません）。

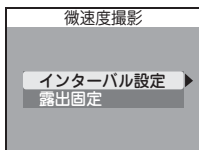
- 「**ズーム**：**電子ズーム**」が「**OFF**」の場合（P.111）でも、動画の撮影を開始すると、電子ズームが使用できます。
- 光学ズーム（P.26）を使用したい場合は、動画を撮影する前に操作してください。撮影を開始すると、撮影する前に設定された光学ズーム位置に固定されます。

スピードライトの使用について

「**TV 再生 640**」、「**カメラ再生 320**」または「**セピア動画**」に設定した場合は、スピードライトは自動的に発光禁止になり、被写体が暗い場合でも発光しません。

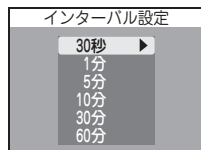
微速度撮影の撮影方法

動画メニュー画面で、マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**微速度撮影**」を選択します。

2

▷ を押すと、微速度撮影メニューが表示されます。

3

△ または ▽ を押して、「**インターバル設定**」または「**露出固定**」を選択し、▷ を押してください。

- 「**インターバル設定**」：微速度撮影の撮影間隔（インターバル）を設定します。
- 「**露出固定**」：微速度撮影時に露出固定を行うかどうかを選択します。

4

インターバル設定
30秒
1分
5分
10分
30分
60分

「インターバル設定」を選択した場合、△ または ▽ を押して、微速度撮影の撮影間隔を「**30 秒**」、「**1 分**」、「**5 分**」、「**10 分**」、「**30 分**」、「**60 分**」から選択してください。

- ▷ を押すと、選択が実行され、撮影メニュー画面に戻ります。

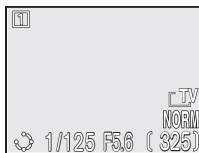
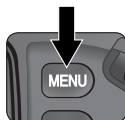
微速度撮影のファイル名について

微速度撮影で撮影された動画のファイル名は、先頭文字「INTN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に 1 を加えた番号）の名前（拡張子は .MOV）となります（例：INTN0015.MOV）。

微速度撮影時のご注意

- 微速度撮影時は、途中でバッテリーの残量がなくなると撮影を終了するため、AC アダプタ EH-53（別売）のご使用をおすすめします。
- 微速度撮影を開始する前に試し撮りを行い、画像を確認することをおすすめします。

「露出固定」を選択した場合、△ または ▽ を押して、「ON」または「OFF」を選択してください。▷ を押すと、選択が実行され、撮影メニュー画面に戻ります。

- 「ON」：すべてのフレームの撮影を終了するまで、露出とホワイトバランスが 1 フレーム目を撮影した条件に固定されます。
- 「OFF」：露出とホワイトバランスは固定されません。

撮影メニュー画面に戻った後、MENU ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

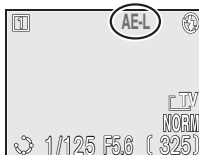
シャッターボタンを押し込んで微速度撮影を開始します。設定された時間の撮影間隔（インターバル）で撮影を自動的に行い、動画画像として保存します。

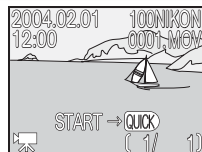
- もう一度シャッターボタンを押すか、CF カードの記録容量がなくなるか、1050 フレーム（35 秒間分）撮影すると、微速度撮影が終了します。

微速度撮影について

- 微速度撮影では、撮影から次の撮影までの間、液晶モニタ（または電子ビューファインダー）および表示パネルが消灯します。設定した撮影間隔（インターバル）が経過する直前に、液晶モニタ（または電子ビューファインダー）および表示パネルが自動的に点灯し、撮影を行います。
- 微速度撮影では、画質モードを「FINE」、「NORMAL」、「BASIC」にセットできます。すでに「RAW」または「HI」にセットしている場合は、微速度撮影を選択すると「FINE」に変わります。
- 微速度撮影のファイルサイズは、設定した画質モードによって大きく変化します。

露出固定表示

露出固定を「ON」に設定すると、AE-L アイコンが撮影画面に黄色で表示されます。微速度撮影を行うと、露出とホワイトバランスが 1 フレーム目の条件に固定され、AE-L アイコンは白色に変わります。

▶ 動画を再生する

モードセレクターを ▶ に合わせ、1 コマ再生モード (P.67) にセットすると、撮影した動画を液晶モニタで再生することができます。液晶モニタには動画であることを示す 🎥 が表示されます。QUICK ボタンで動画再生の操作を行います。

「**TV 再生 640**」、「**カメラ再生 320**」または「**セピア動画**」の動画再生中は、撮影時に録音された音声が内蔵スピーカーで再生されます。

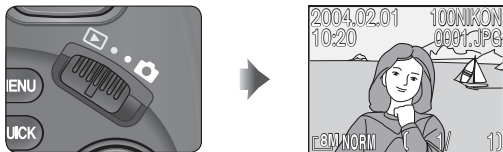
機　能	ボタン	内　容
再生する／一時停止する／再開する	QUICK	QUICK ボタンを押すと、動画を再生します。動画再生中に QUICK ボタンを押すと、押した時点のフレームで一時停止します。再生を再開するには、もう一度 QUICK ボタンを押します。 再生が終了すると、最初のフレームが表示されます。
一時停止中に 1 フレーム戻る	▲ ◀	一時停止中、1 フレーム前の画像を表示します。押し続けると、順次コマを送ります。
一時停止中に 1 フレーム送る	▶ ▼	一時停止中、1 フレーム先の画像を表示します。押し続けると、順次コマを送ります。
音量を調節する	W T	動画再生中に W ボタンまたは T ボタンを押すと、液晶モニタに音量表示が表示され、音量を◢(大)、◢(中)、◢(小)、または ◿(音声なし) に調節することができます。W ボタンを押すと音量は小さくなり、T ボタンを押すと音量は大きくなります。

動画についてのご注意

- 動画は、レビュー再生モードや簡易再生モードでは再生できません (P.31)。
- 動画をダイレクトプリントすることはできません (P.84)。

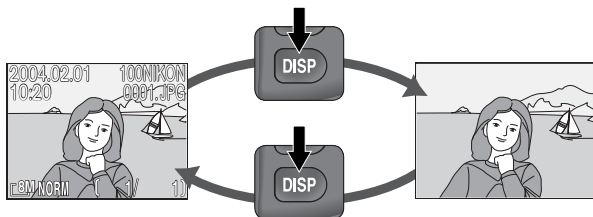
▶ カメラで再生する

撮影した画像を確認する（1 コマ再生モード）

モードセレクターを ▶ にセットすると、「1 コマ再生モード」になり、液晶モニタには撮影した画像が表示されます。

他の撮影画像を表示する場合

マルチセレクターの △ または ◁ を押すと液晶モニタに表示されている画像の 1 コマ前の画像を見ることができ、▽ または ▷ を押すと 1 コマ後の画像を見ることができます。マルチセレクターを押し続けると、早送りすることができます。

DISP ボタンについて

画像を再生中に DISP ボタンを押すと、液晶モニタに表示されているカメラの設定内容や画像情報を消したり再表示させたりすることができます。※

※ 画像情報を消した場合でも、バッテリー残量が少なくなるとバッテリーチェック表示が点灯します。

表示中の画像を削除する場合

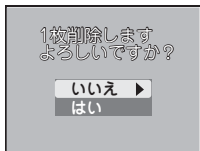
1 コマ再生モードと簡易再生モードでは、🗑 ボタンを押すと、表示された画像の削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの △ または ▽ を押して「**はい**」を選択し、▷ を押すと、表示中の画像が削除されます。

- 「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、表示中の画像は削除されずに再生画面に戻ります。

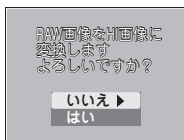
1枚削除します
よろしいですか？
いいえ ▶
はい

レビュー再生モードで 🗑 ボタンを押しても画像は削除されません。

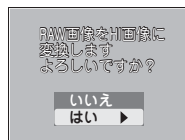
レビュー再生モード／簡易再生モードについて

モードセレクターが 📷 にセットされている状態で QUICK ボタンを押すと、撮影した画像をすぐに確認することができるレビュー再生モードまたは簡易再生モードに切り換えることができます（P.31）。

RAW 画像から HI への画像変換について

RAW で撮影された画像は 1 コマ再生モード時に HI 画像（TIFF 形式）に変換することができます。TIFF 形式のファイルはほとんどのアプリケーションに対応できます。変換すると拡張子が .NEF から .TIF に変わります（例：DSCN0001.NEF → DSCN0001.TIF）。

1

撮影した RAW 画像を 1 コマ再生モードで表示し、QUICK ボタンを押します。

- 「RAW 画像を HI 画像に変換します。よろしいですか？」という確認画面が表示されます。

2

△ または ▽ を押して、「**はい**」を選択します。

- 「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、再生している RAW 画像を HI に変換せずに 1 コマ再生モードに戻ります。

3

▷ を押すと、再生している RAW 画像を HI に変換して別画像として保存します。変換が終了すると、「RAW 画像を削除しますか？」という確認画面が表示されます。

4

△ または ▽ を押して「**はい**」を選択し、▷ を押すと、元の RAW 画像が削除されます。

- 「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、元の RAW は削除されずに 1 コマ再生モードに戻ります。

RAW 画像を HI 画像に変換する場合のご注意

- RAW 画像を HI 画像に変換する場合は、CF カードの空き容量を充分に確保してから変換してください（画質モード（P.40）を「**HI**」にした場合に撮影可能コマ数が 1 コマ以上あることを確認してください）。
- RAW 画像を HI に変換するまで、時間がかかります。⌛ マークが消えるまでお待ちください。
- RAW 画像に録音された音声メモは HI 画像にコピーされません。RAW 画像を削除すると、録音された音声メモも削除されますのでご注意ください。

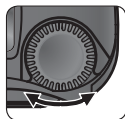
サムネイル再生モード

簡易再生モード（P.31）または1コマ再生モード時（P.67）に W（サムネイル）ボタンを押すと、4コマのサムネイル画像が表示されます。サムネイル再生モードでは、次の操作が可能です。

機　能	ボタン	内　容
画像を選択する	マルチセレクター	マルチセレクターを使って画像を選択します。
画面をスクロールする	コマンドダイヤル	コマンドダイヤルを回すと、1ページ分の画面のスクロールを行います。
表示コマ数を変更する	W（サムネイル）／T（Q）	• 4コマ表示時に W（サムネイル）ボタンを押すと9コマ表示になります。 • 9コマ表示時に T（Q）ボタンを押すと4コマ表示に、4コマ表示時に T（Q）ボタンを押すと1コマ表示（1コマ再生画面）になります。
画像を削除する	削除ボタン	削除ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの △ または ▽ を押して「**はい**」を選択し、▷ を押すと選択した画像が削除されます。 •「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、画像を削除せずにサムネイル再生モードに戻ります。 （画面表示：1枚削除します よろしいですか？ いいえ ▶ はい）
1コマ再生画面に戻る	QUICK	4コマ表示または9コマ表示をキャンセルして、1コマ再生画面に戻ります。簡易再生モードでは撮影画面にもどります。
スモールピクチャーを作成する	シャッターボタン	スモールピクチャー画像を作成します（P.75）。スモールピクチャーは簡易再生モード（P.31）では作成できません。

画像情報

簡易再生モード (P.31) や 1 コマ再生モード (P.67) で表示される画像には画像情報が表示され、6 種類の画像情報表示画面に切り換えることができます。

コマンドダイヤルを回すと、画像情報表示画面は次のように切り換わります。

1. ページ 1

1 撮影日付
2 撮影時刻
3 画像サイズ
4 フォルダ名
5 ファイル名
6 バッテリーチェック
7 音声メモ表示
8 転送マーク
9 プリント表示
10 プロテクト表示
11 表示画像コマ番号／総画像コマ数
12 画質モード

2. ページ 2

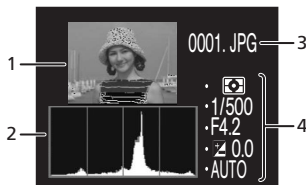
1 撮影カメラの機種
2 ファームウェアのバージョン
3 測光方式
4 露出モード
5 シャッタースピード
6 絞り値

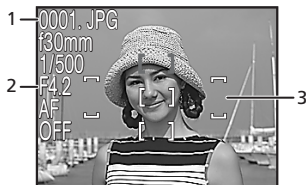
3. ページ 3

1 露出補正値
2 焦点距離
3 フォーカスモード
4 スピードライト
5 階調補正
6 撮像感度

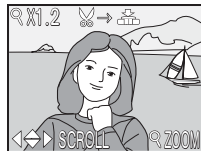
4. ページ 4

1 ホワイトバランス
2 彩度調整
3 輪郭強調
4 電子ズームの倍率
5 コンバータ
6 撮影画像のファイルサイズ

5. ページ 5（ヒストグラム表示）

1 サムネイル画像をハイライト表示
（画像のハイライト部分を白／黒の点滅で表示）
2 ヒストグラム
（明るさの分布を表示：横軸は輝度［左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります］を示し、縦軸はドット数を示します）
3 ファイル名
4 撮影情報
（測光方式、シャッタースピード、絞り値、露出補正値、撮像感度）

6. ページ 6（ピーキング表示）

1 ファイル名
2 撮影情報
（焦点距離、シャッタースピード、絞り値、フォーカスモード、ノイズ除去）
3 ピーキング処理画像
（画像中でピントの合っている被写体の輪郭を強調して表示、選択 AF エリアは赤色表示）

拡大表示モード

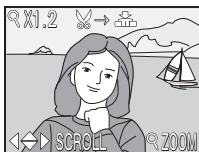
簡易再生モード (P.31) または1コマ再生モード時 (P.67) に、ズームボタンの T(Q) を押すと、表示された画像を拡大して見ることができます。

機　能	ボタン	内　容
画像を拡大表示する	T(Q)	押すごとに画像を拡大表示します。最大約6倍まで画像を拡大します。拡大表示中は Q アイコンと拡大倍率が液晶モニタの左上に表示されます。
画像の他の部分を表示する	(マルチセレクター)	マルチセレクターを使うと、画面をスクロールさせて、見たい部分に移動することができます。
拡大倍率を下げる	W( )	拡大表示時に W( ) ボタンを押すと、拡大倍率が下がります。もとの1コマ再生画面と同じ拡大倍率まで下がると、拡大表示はキャンセルされます。前後の画像を見る時は、拡大表示をキャンセルしてからマルチセレクターを操作してください。
拡大表示を解除する	QUICK	拡大表示時に QUICK ボタンを押すと、拡大表示がキャンセルされ、1コマ再生画面に戻ります。簡易再生モードでは撮影画面にもどります。
トリミングを行う	シャッターボタン	拡大表示中の画像を表示部分のみにトリミングし、別画像として保存します (P.73)。トリミングは簡易再生モードでは行えません。

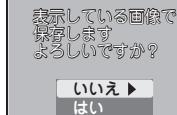
拡大表示について

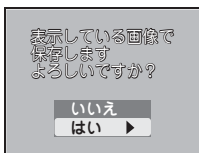
- 動画およびスモールピクチャーでは、拡大表示は行われません。
- 画質モードが「RAW」または「HI」の画像は、画像の拡大表示が可能になるまでに時間がかかります。メッセージ「しばらくおまちください」が表示された場合は、メッセージが消えるのを待って、もう一度 T(Q) ボタンを押してください。

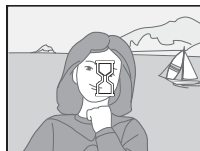
1 コマ再生モードにするには：P.67

トリミング

1 コマ再生モードで拡大表示中の画像を表示部分のみトリミングして（切り取って）、元の画像とは別に新しく画像を作成します。画面に ✂⇒ アイコンが表示されている場合にのみ、トリミングすることができます。

1 コマ再生モード時に、ズームボタンの T を押して画像を好みの大きさに拡大し、マルチセレクターでトリミングしたい部分を表示します。

2

シャッターボタンを押すと、トリミングの実行確認画面が表示されます。

3

△ または ▽ を押して、「**はい**」を選択します。
- 「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、トリミングは行われずに、1 コマ再生モードに戻ります。

4

▷ を押すとトリミングした画像が作成されます。

トリミングについてのご注意

- COOLPIX8700 でトリミングした画像を COOLPIX8700 以外のデジタルカメラで再生すると、正常に表示できない場合やパソコンへの転送ができない場合があります。
- COOLPIX8700 以外のデジタルカメラで撮影された画像に対しては、トリミング機能の動作は保証しておりません。

トリミングができない場合

- レビュー再生および簡易再生モード時
- シーンモードの （パノラマアシスト）で撮影した画像（P.38）、「**UH 連写**」、「**インターバル撮影**」（P.96）または「**動画**」（P.61）で撮影した画像、画質モードが「**RAW**」または「**HI**」の画像（P.40）、画像サイズが「**3:2** 3264 × 2176」の画像（P.42）、トリミングで作成した画像、またはスモールピクチャー（P.75）の場合
- CF カードに充分な空き容量がない場合

トリミングで作成された画像について

- トリミングで作成した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。
- トリミングで作成した画像は元画像を削除しても削除されません。また、トリミングで作成した画像を削除しても元画像は削除されません。
- 元画像で設定した転送マーク（P.136）は、トリミングで作成した画像にも設定されます。
- 元画像で設定した「プリント指定」（P.134）および「プロテクト設定」（P.132）は、トリミングで作成した画像には設定されません。
- トリミングで作成された画像の画質モードは、元画像の画質モードにかかわらず NORMAL になります。
- トリミングで作成された画像のサイズは、拡大倍率により異なります。次のうちから最適なサイズをカメラが自動的に選択します（単位：ピクセル）。
  - 8M 3264 × 2448
  - 5M 2592 × 1944
  - 3M 2048 × 1536
  - 2M 1600 × 1200
  - 1M 1280 × 960
  - PC 1024 × 768
  - TV 640 × 480
  - 320 × 240
  - 160 × 120
- トリミングで作成された画像のファイル名は、先頭文字「RSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に 1 を加えた番号）を付けた名前（拡張子は .JPG）となります。例：RSCN0015.JPG
- トリミングで作成された画像の作成日時は、元の画像と同じです。

スモールピクチャー

1 コマ再生モードまたはサムネイル再生モード（👁 P.69）時にシャッターボタンを押すと、元の画像とは別に表示している画像の画像サイズを縮小したスモールピクチャー（縮小画像）を作成します。ファイルサイズを小さくすることができるため、電子メールで送ったりホームページで使用する場合に適しています。

1

スモールピクチャーを作成する画像を表示して、シャッターボタンを押すと、スモールピクチャーの作成確認画面が表示されます。

2

△ または ▽ を押して、「**はい**」を選択します。

- 「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、スモールピクチャーを作成せずに、1 コマ再生モードまたはサムネイル再生モードに戻ります。

3

▷ を押すと、スモールピクチャーが作成されます。

スモールピクチャーについてのご注意

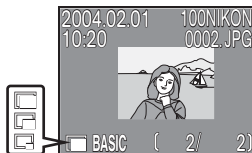
- COOLPIX8700 で作成されたスモールピクチャーを COOLPIX8700 以外のデジタルカメラで再生すると、正常に表示できない場合やパソコンへの転送ができない場合があります。
- COOLPIX8700 以外のデジタルカメラで撮影された画像に対しては、スモールピクチャー機能の動作は保証しておりません。
- スモールピクチャーの拡大表示はできません。

スモールピクチャーの画像サイズについて

初期設定では、スモールピクチャーは 640 × 480（▀）ピクセルで作成されますが、再生メニューの「スモールピクチャー」（👁 P.140）で、スモールピクチャーの画像サイズを 640 × 480（▀）、320 × 240（▀）、160 × 120（▀）ピクセルから設定することができます。画像サイズは、スモールピクチャーを作成する前に設定してください。

スモールピクチャーの再生について

作成されたスモールピクチャーは、最後に記録された画像の 1 つ後にグレー色の枠で表示されます。

- 画質モードは、元画像の画質モードにかかわらず BASIC になります。画像サイズは、設定したサイズによって、640 × 480、320 × 240、160 × 120 ピクセルになります（、、または が表示されます）。

スモールピクチャーが作成できない場合

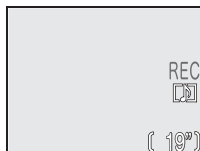
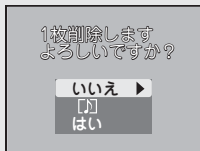
- レビュー再生および簡易再生モード時
- シーンモードの (パノラマアシスト) で撮影した画像 (P.38)、「**UH 連写**」、「**インターバル撮影**」(P.96) または「**動画**」(P.61) で撮影した画像、画質モードが「**RAW**」または「**HI**」の画像 (P.40)、画像サイズが「3:2 3264 × 2176」の画像 (P.42)、トリミングで作成した画像 (P.73)、またはスモールピクチャーの場合
- CF カードに充分な空き容量がない場合

作成されたスモールピクチャーについて

- スモールピクチャーは、元の画像とは別の画像として保存されます。
- スモールピクチャーは元画像を削除しても削除されません。また、スモールピクチャーを削除しても元画像は削除されません。
- 元画像で設定した転送マーク (P.136) は、スモールピクチャーにも設定されます。
- 元画像で設定した「プリント指定」(P.134) および「プロテクト設定」(P.132) は、スモールピクチャーには設定されません。
- スモールピクチャーのファイル名は、先頭文字「SSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に 1 を加えた番号）を付けた名前（拡張子は .JPG）となります。　例：SSCN0015.JPG
- スモールピクチャーの作成日時は、元の画像と同じです。

1 コマ再生モードにするには：P.67

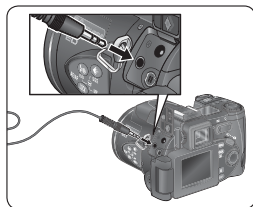
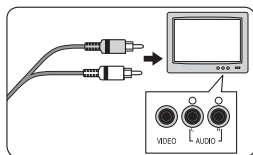
音声メモを録音する／再生する

1 コマ再生モードで表示されている画像に対して最長で約 20 秒の音声メモを録音します。音声メモは音声ファイル（.WAV）として CF カードに記録され、音声メモ付きの画像には ♪(音声メモ表示）が表示されます。動画には、音声メモは録音できません。

機能	ボタン	内容
録音する	ボタン	音声メモが録音可能な画像が表示されている場合、ボタンを押し続けている間、最長で約 20 秒の音声メモを録音します。ボタンから指を離すか、約 20 秒経過すると、録音が終了します。
再生する／再生を終了する	ボタン	♪ アイコン付きの画像が表示されている場合、ボタンを押すと、内蔵スピーカーから音声メモを再生します。ボタンをもう一度押すか、録音内容が終了すると再生を終了します。
再生を一時停止する／再生を再開する	FUNC	音声メモの再生中に FUNC ボタンを押すと一時停止します。一時停止中に FUNC ボタンを押すと、再生を再開します。
音量を調節する	W（▦）／T（Q）	音声メモ再生中に W ボタンまたは T ボタンを押すと、液晶モニタに音量表示が表示され、音量を◢（大）、◢（中）、◢（小）、または ◢（音声なし）に調節することができます。W ボタンを押すと音量は小さくなり、T ボタンを押すと音量は大きくなります。
音声メモ／画像を削除する	🗑	音声メモが記録された画像の表示中に 🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**はい**」、「♪」、「**いいえ**」のいずれかを選択し、▷ を押すと、選択した項目が実行されます。 •「**はい**」：画像と音声メモが削除されます。 •「♪」：音声メモのみが削除されます。 •「**いいえ**」：画像と音声メモは削除されません。 （画面表示：1枚削除します よろしいですか？／いいえ ▶／♪／はい）

テレビで再生する

付属のオーディオビデオケーブル EG-E5000（以下 AV ケーブル）を使用して、撮影された画像をテレビやビデオデッキで再生することができます。

1 カメラの電源を OFF にします

2 AV ケーブルを接続します

- AV ケーブルの黒いプラグをカメラのオーディオビデオ出力端子に接続します。

- AV ケーブルの黄色のプラグをテレビまたはビデオの映像入力端子に、白色のプラグをテレビまたはビデオの音声入力端子に接続します。

3 映像機器の入力をビデオ入力または外部入力に切り換えます

- 詳しくは映像機器の使用説明書をご覧ください。

4 カメラのモードセレクターを ▶ にセットします

5 カメラの電源を ON にします

- 撮影された画像がテレビに表示され、カメラの液晶モニタは消灯します。

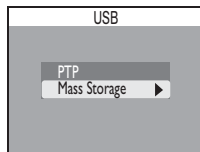
ビデオ出力について

- COOLPIX8700 とテレビまたはビデオデッキを接続する前に、セットアップメニューの「ビデオ出力」(P.158) で、ビデオ出力形式を確認してください（初期設定は「**NTSC**」です）。
- 「**ビデオ出力**」を「**PAL**」に設定している場合、COOLPIX8700 とテレビまたはビデオデッキとの接続中に UH 連写または動画を撮影すると、カメラの液晶モニタが点灯してビデオ出力は一時停止となります。

パソコンで再生する

付属のUSBケーブルUC-E1とPictureProjectを使用して、カメラで撮影した画像をパソコンで再生することができます。画像を転送する前に、PictureProjectをパソコンにインストールする必要があります。インストールの方法および画像の転送方法については、クイックスタートガイドおよびPictureProjectリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

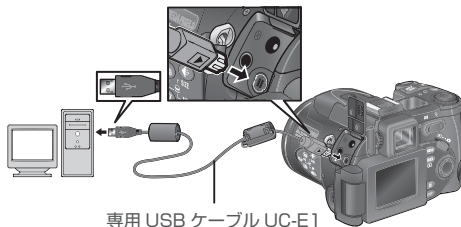
カメラをパソコンに接続する前に

ご使用のパソコンのOS（オペレーティングシステム）に合わせて、正しい通信方式がカメラにセットされていないと、撮影した画像をパソコンに転送することができません。通信方式は以下の表を参考にして、セットアップメニューの「**USB**」で設定してください（P.158）。初期設定は「**Mass Storage**」に設定されています。

パソコンのOS	USB通信方式
Windows XP Home Edition Windows XP Professional Mac OS X（10.1.5以降）	PTPまたはMass Storage
Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition（Me） Windows 98 Second Edition（SE）	Mass Storage

専用USBケーブルでパソコンに接続する

カメラの電源がOFFになっていることを確認して、カメラと起動しているパソコンを付属のUSBケーブルUC-E1で下図のように接続します。接続が完了したらカメラの電源をONにします。電源をONにすると、レンズが繰り出します。

- カメラの液晶モニタは消灯し、表示パネルには [- -] （通信状態表示）が表示されます。電源スイッチ以外の操作はできなくなります。

専用USBケーブルUC-E1

Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition (Me)、Windows 98 Second Edition (SE) をご使用の場合のご注意

ご使用の OS が上記の場合には、セットアップメニューの「USB」を「PTP」に設定しないでください。

「USB」を「PTP」に設定して、上記 OS のパソコンと接続した場合には、下記の要領でパソコンとの接続を外してください。

再度パソコンと接続する場合は、必ず「USB」を「Mass Storage」に変更した後、パソコンと接続してください。

Windows 2000 Professional の場合：

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されますので、「キャンセル (中止)」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows Millennium Edition (Me) の場合：

「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル (中止)」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows 98 Second Edition (SE) の場合：

「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル (中止)」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

USB ハブについて

USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

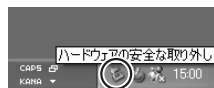
カメラとパソコンの接続を外す

USB 通信方式が「PTP」(P.79) の場合：

転送が完了したら、カメラの電源を OFF にして､USB ケーブルを抜いてください。

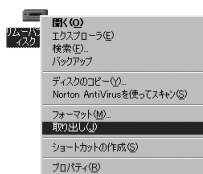
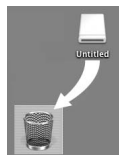
USB 通信方式が「Mass Storage」の場合：

転送が完了したら、必ず次の操作をしてからカメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

- Windows XP Home Edition／Professionalの場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして「USB 大容量記憶装置デバイスードライブ (E:) を安全に取り外します」を選択してください。

- Windows 2000 Professional の場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイスードライブ (E:) を停止します」を選択してください。

- Windows Millennium Edition (Me) の場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして、「USB ディスクードライブ (E:) の停止」を選択してください。

* ドライブ (E:) の「E」はご使用のパソコンによって異なります。

- Windows 98 Second Edition (SE) の場合：
  マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。

- Mac OS X の場合：
  デスクトップ上の「Untitled (Unlabeled)」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

画像をプリントする

CF カードに記録した画像は、従来の写真のようにプリントしたり、日付を写し込むことができます。

プリントするには

CF カードに記録した画像は、次の方法でプリントすることができます。

内　容	参照
デジタルプリントサービス取扱店に再生メニューの「**プリント指定**」で枚数、日付などを設定した CF カードを持ち込み、画像のプリントを依頼する。	134
カードスロット付き家庭用プリンタのカードスロットに再生メニューの「**プリント指定**」で枚数、日付などを設定した CF カードを装着し、CF カードから直接プリントする。	134
付属の USB ケーブル UC-E1 で「PictBridge」のダイレクトプリント対応プリンタとカメラを接続し、カメラから直接プリントする。	84
PictureProject を使用して CF カードに記録した画像をパソコンに転送し、パソコンでプリントする（詳細は PictureProject リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください）。	—

「プリント指定」設定時のご注意

- CF カードに記録された画像は、再生メニューの「**プリント指定**」（P.134）を行わずにデジタルプリントサービス取扱店にプリントを依頼したり、カードスロット付き家庭用プリンタでプリントすると、すべての画像が 1 枚ずつプリントされます。
- 再生メニューの「**プリント指定**」を設定すると、プリントする画像の選択、画像のプリント枚数の指定、撮影情報、撮影日時の写し込みを設定できます。この設定により、デジタルプリントサービス取扱店または家庭用の DPOF 対応プリンタで指定どおりにプリントすることができます。「**プリント指定**」の設定でプリントする場合は、デジタルプリントサービス取扱店やご使用のプリンタが DPOF に対応しているかどうかを、あらかじめご確認ください。

DPOF について

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）はデジタルカメラで撮影した画像の中からプリントする画像や枚数、画像情報、日付の情報を CF カードに記録するためのフォーマットです。

写真に日付を写し込んでプリントするには

日付の写し込みは、次の方法で設定することができます。

内　容	👁
撮影前にセットアップメニューの「**デート写し込み**」で設定する。	159
再生メニューの「**プリント指定**」で設定する。	134
画像をパソコンに転送し、PictureProject の「**撮影日時の写し込み**」で設定する（詳細は PictureProject リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください）。	—

「プリント指定」と「デート写し込み」の日付写し込みの違いについて

セットアップメニューの「**デート写し込み**」（👁 P.159）と再生メニューの「**プリント指定**」（👁 P.134）で行う日付の写し込みには次のような違いがあります。

- 「**デート写し込み**」で日付の写し込みを設定する場合：
  - ・写し込むには、撮影前に設定する必要があります。
  - ・設定すると、日付が画像上に写し込まれます。
  - ・写し込まれた日付は、画像上から消すことができません。
  - ・画像上に写し込まれているため、特別な設定を行わなくても、プリント時に日付が写し込まれた状態でプリントされます。
- 「**プリント指定**」で「**日付**」を設定する場合：
  - ・撮影した後に設定します。
  - ・設定しても、日付は画像上には写し込まれません。日付が DPOF の設定ファイルに記録されます。
  - ・DPOF 対応のプリンタでプリントした場合のみ、日付が写し込まれた状態でプリントされます。

ダイレクトプリント

このカメラは、PictBridgeのダイレクトプリント機能を搭載しています。カメラとPictBridgeのダイレクトプリント対応プリンタを付属のUSBケーブルUC-E1で接続することで、CFカードに記録した画像をパソコンを介さずにカメラからの操作で直接プリントできます。
ダイレクトプリントは次のような手順で行います。

Step 1 セットアップメニューでUSB通信方式を設定します（P.85）

Step 2 カメラとプリンタを接続します（P.85）

Step 3 プリントします
- プリントする画像を直接選択する方法（P.86）
- 再生メニューの「**プリント指定**」（DPOFプリント）で指定した画像をプリントする方法（P.88）

PictBridgeについて

PictBridgeとは、デジタルカメラとプリンタメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずにプリンタで直接印刷するための標準規格です。

ダイレクトプリントを開始する前に

- ご使用のプリンタが「PictBridge」に対応しているかをあらかじめご確認ください。
- ダイレクトプリントを開始する前に、プリンタの設定を確認してください。プリンタの設定方法については、プリンタの使用説明書をご覧ください。

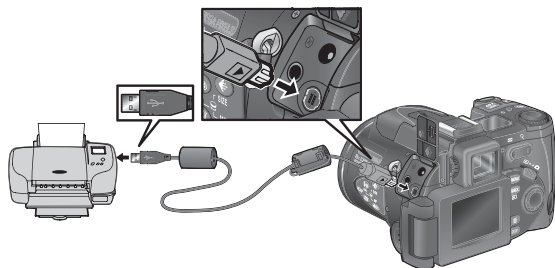
ダイレクトプリントできない画像について

画質モードが「**RAW**」の画像（P.40）および動画（P.61）をダイレクトプリントすることはできません。プリンタによっては、HI（TIFF）の画像に対応していない場合があります。詳しくはご使用のプリンタの使用説明書をご覧ください。

Step 1 セットアップメニューでUSB通信方式を設定します

ダイレクトプリントを行う場合、**カメラとプリンタを接続する前に**、セットアップメニューの「**USB**」でUSB通信方式を「**PTP**」に設定します（初期設定は「**Mass Storage**」に設定されています）（P.158）。

Step 2 カメラとプリンタを接続します

カメラの電源がOFFになっていることを確認して、カメラとプリンタを付属のUSBケーブルUC-E1で下図のように接続します。

接続が完了したら、カメラとプリンタの電源をONにします。カメラとプリンタが正しく接続されていると、カメラの液晶モニタにPictBridge画面が表示されます。

使用する電源について

カメラとプリンタを接続してダイレクトプリントする場合は、確実に電源を供給できるACアダプタEH-53（別売）のご使用をおすすめします。バッテリーを使用する場合は、残量が充分なものをご使用ください。

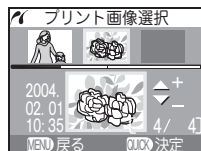
Step 3 プリントします

プリントする画像を直接選択する方法

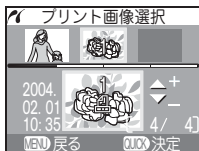
1

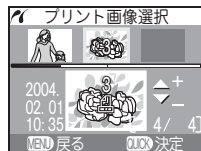
マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**プリント画像選択**」を選択します。

- 「**全画像プリント**」を選択すると、CF カードに記録されている全ての画像を 1 枚ずつプリントします。
- 「**DPOF プリント**」を選択すると、再生メニューの「**プリント指定**」で指定した画像をプリントすることができます (P.88)。
- 「**キャンセル**」を選択すると、画像はプリントされません。

2

▷ を押すと、プリント画像選択画面が表示されます。◁ または ▷ を押して、プリントする画像を選択します。

- 画面下部に選択した画像が大きく表示されます。

3

△ を押して、プリント指定を設定します。セットされた画像には アイコンとプリント枚数が表示されます。

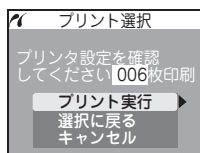
4

必要に応じて、プリントする枚数を変更します。

- △ を押すとプリント枚数は増加し（最高 9 枚）、▽ を押すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が 1 の時に ▽ を押します。
- 手順の 2 ～ 4 を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。

5

QUICK ボタンを押すと、選択した画像が縮小表示されます。

- マルチセレクターを使って画像を確認します。
- 画像の確認終了後、QUICK ボタンを押すと、「プリント選択」画面が表示されます。

6

△ または ▽ を押して「**プリント実行**」を選択します。

- プリントする画像を選択し直したい場合は、「**選択に戻る**」を選択してください。
- 「**キャンセル**」を選択すると、画像はプリントされません。

7

▷ を押すと、プリントが開始されます。

- プリント中の動作をキャンセルする場合は、QUICK ボタンを押します。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンタの接続を外してください。

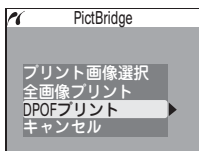
8

プリントが終了すると、「印刷終了」という画面が表示され、次に「カメラ電源 OFF 可能です」という画面が表示されます。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンタの接続を外してください。

- QUICK ボタンを押すと、手順の 1 に戻ります。

再生メニューの「プリント指定」(DPOF プリント) で指定した画像をプリントする方法

再生メニューの「**プリント指定**」を使用すると、プリントする画像の選択、枚数の指定、撮影日時や撮影情報の写し込みといった撮影画像をプリントするための設定をあらかじめ行うことができます (P.134)。「プリント指定」を行うと、CF カード内の指定した画像だけを、「PictBridge」対応プリンタでダイレクトプリントすることができます。

1

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**DPOF プリント**」を選択します。

- 「**キャンセル**」を選択すると、画像はプリントされません。

2

▷ を押すと、DPOF プリント画面が表示されます。

3

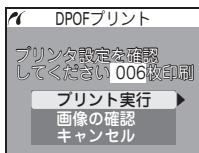
△ または ▽ を押して、「**画像の確認**」を選択します。

- 「**キャンセル**」を選択すると、画像はプリントされません

4

▷ を押すと、選択した画像が縮小表示されます。

- マルチセレクターを使って画像を確認します。
- 画像の確認終了後、QUICK ボタンを押すと、「DPOF プリント」画面が表示されます。

5

△ または ▽ を押して「**プリント実行**」を選択します。

- 「**キャンセル**」を選択すると、画像はプリントされません。

6

▷ を押すと、プリントが開始されます。

- プリント中の動作をキャンセルする場合は、QUICK ボタンを押します。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンタの接続を外してください。

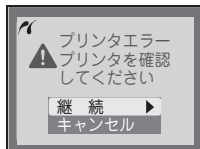
プリントが終了すると、「印刷終了」という画面が表示され、次に「カメラ電源 OFF 可能です」という画面が表示されます。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンタの接続を外してください。

- QUICK ボタンを押すと、手順の 1 に戻ります。

「プリント指定」を設定していない場合

CF カードに記録した画像に、再生メニューの「**プリント指定**」(P.134) を設定していない場合は、「**DPOF プリント**」を選択できません。

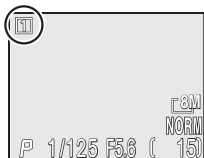
エラーメッセージが表示された場合

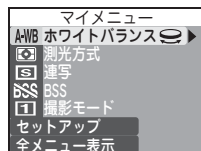
プリント中にエラーメッセージが表示された場合は、プリンタを確認してください。エラーの原因を処理した後、マルチセレクターの △ または ▽ を押して「**継続**」を選択し、▷ を押すと、プリントを再開します。「**キャンセル**」を選択すると、その時点でプリントを中止します。

撮影メニュー

モードセレクターを 📷 に合わせ、撮影モードを「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットすると（P.51、104）、撮影メニューを使用することができます。撮影メニューでは撮影に関する詳細な設定を行うことができます。

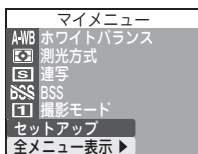
撮影メニューはマイメニューと、全メニュー（1 ～ 3 ページ）のメニュー項目で構成されています。マイメニューでは、撮影メニューの全メニュー項目から選択された 5 つのメニュー項目と「**セットアップ**」（P.141）が表示されます。

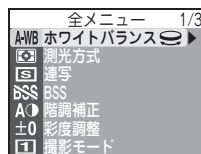
マイメニューの表示方法：

1

撮影モードが 1 または 2 に設定されていることを確認します。

2

MENU ボタンを押すと、マイメニューが表示されます（図は初期設定の場合）。

全メニューの表示方法：

1

マルチセレクターの △ または ▽ を押して「**全メニュー表示**」を選択します。

2

▷ を押して、すべてのメニュー項目を表示します。

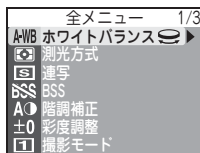
コマンドダイヤルについて

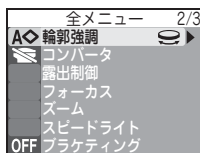
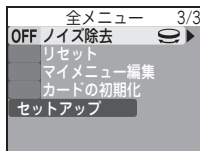
（コマンドダイヤル）アイコンが付いている項目は、メニュー画面でコマンドダイヤル操作によって設定内容を切り換えることができます。

マイメニュー編集について

よく使用する撮影メニュー項目は、「**マイメニュー編集**」（P.119）により、あらかじめマイメニューに登録することができます。初期設定では、ホワイトバランス、測光方式、連写、BSS、撮影モードの 5 項目が表示されます。

撮影メニューのすべての項目は 3 ページのメニュー画面で構成されています。

全メニュー 1/3
A-WB ホワイトバランス
測光方式
連写
BSS
階調補正
彩度調整
撮影モード

全メニュー　1/3	👁
ホワイトバランス	P.92 ～ 94
測光方式	P.95
連　写	P.96 ～ 99
BSS	P.100 ～ 101
階調補正	P.102
彩度調整	P.103
撮影モード	P.104

全メニュー 2/3
輪郭強調
コンバータ
露出制御
フォーカス
ズーム
スピードライト
OFF ブラケティング

全メニュー　2/3	👁
輪郭強調	P.105
コンバータ	P.106
露出制御	P.107 ～ 108
フォーカス	P.109 ～ 110
ズーム	P.110 ～ 111
スピードライト	P.112 ～ 114
ブラケティング	P.115 ～ 116

全メニュー　3/3	👁
ノイズ除去	P.117
リセット	P.118
マイメニュー編集	P.119 ～ 120
カードの初期化	P.121
セットアップ	P.141 ～ 159

ホワイトバランス

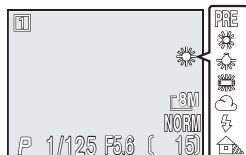
人間の目は、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。それに対して、デジタルカメラで人間の目に白く見える色を画像でも白く見えるようにするには、照明光の色に合わせて調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

設　定	内　容
A-WB オート	照明の状態に合わせて、カメラがホワイトバランスを自動的に調整します。ほとんどの場面で使用できます。
PRE プリセット	撮影者が白の被写体を基準にホワイトバランスを調整することができます（P.94）。
太陽光	太陽光での撮影に適しています。
電球	白熱電球を灯している室内での撮影に適しています。
蛍光灯	蛍光灯を灯している室内での撮影に適しています。
曇天	曇り空の下での撮影に適しています。
スピードライト	スピードライトを発光させて撮影する場合に適しています。
晴天日陰	晴れの日の日陰での撮影に適しています。

ホワイトバランスを使用する場合のご注意

ほとんどの場合は A-WB（オート）で撮影できますが、意図どおりのホワイトバランスにならない場合や、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合には他のホワイトバランスに設定してください。

ホワイトバランス表示について

A-WB（オート）以外のホワイトバランスを設定した場合、撮影画面にホワイトバランスのアイコンが表示されます。

ホワイトバランスの微調整

A-WB（オート）と PRE（プリセット）以外の設定では、ホワイトバランスの微調整が可能です。微調整は－３～＋３の範囲で１段ごとに行うことができます。ホワイトバランスの微調整はコマンドダイヤルを回して行います。＋側に設定すると画像が青みがかり、－側に設定すると赤みがかります。

微調整が可能なホワイトバランスが選択されると、項目の右側にコマンドダイヤルアイコン（ ）が表示されます。

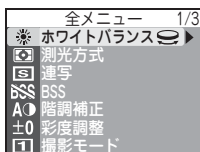
1

ホワイトバランスの選択画面で、マルチセレクターの △ または ▽ を押して、設定するホワイトバランスを選択します。

2

コマンドダイヤルを回して微調整量を選択します。

- 項目の右側に微調整量が表示されます。
- ▷ を押すと、微調整量が決定します。

3

▷ を押して、選択したホワイトバランスを決定すると、撮影メニュー画面に戻ります。

（蛍光灯）に設定した場合は表のように蛍光灯の種類に応じた設定が行えます。

名称	蛍光灯の種類
FL1	白色蛍光灯（W）
FL2	昼白色蛍光灯（N）
FL3	昼光色蛍光灯（D）

プリセットホワイトバランス

プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを設定する場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。「**ホワイトバランス**」選択画面で **PRE**（プリセット）を選択してマルチセレクターの ▷ を押すと、レンズが望遠側にズーミングして、撮影画面に右のようなホワイトバランス設定画面が表示されます。

設　定	内　容
前回の設定	前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。
新規設定	紙などの白い被写体を用意して、撮影に使用する照明下に置きます。次に、被写体がプリセットホワイトバランス設定画面の中心の四角形（上のイラスト参照）に入るように、構図を決めます。「**新規設定**」を選択して、マルチセレクターの ▷ を押すと新しいプリセットホワイトバランス値を取得します。プリセット中にはシャッターがきれる音がして、ズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。

プリセット時のスピードライトについて

プリセットホワイトバランスでは、スピードライト発光時のホワイトバランス値は取得できません。

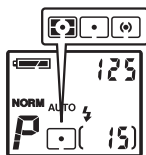
撮影メニューの表示方法：P.90

測光方式

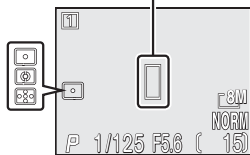
露出を合わせるためにカメラが被写体の明るさを計測することを測光といいます。

設　定	内　容	こんな時に
マルチ	CCD の撮像領域を 256 分割して測光し、最適な露出値を決定します。さまざまなシーンで正確な露出が得られます。	通常の撮影では、マルチ測光による撮影をおすすめします。
スポット	撮影画面中央部、全体の約 1/32 の領域のみを測光して露出値を決定します。測光範囲は、撮影時に撮影画面中央部に表示されます。	被写体と背景の明るさの差が激しい時でも中央部の被写体の露出は適正となります。被写体が中央部にない場合には AE ロック（P.30）との併用もできます。
中央重点	撮影画面の中央部、全体の約 1/4 の領域に 80% のウエイトを置いて測光し、露出値を決定します。	基本的な測光方式でポートレート撮影などに適しています。画面の中央部で測光しながら背景の描写も配慮した測光を行います。被写体が中央部にない場合には AE ロック（P.30）との併用もできます。
AF スポット	選択されている AF エリアのみが測光されます。	「**フォーカス：AF エリア選択**」（P.109）で「**オート**」または「**マニュアル**」に設定されている時に設定できます。オートまたはマニュアルで選択した AF エリアと連動したスポット測光エリアで撮影する場合に使用します。

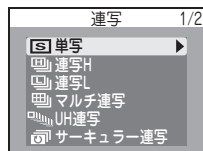
測光方式表示について

測光方式を設定すると、測光方式のアイコンが表示パネルに表示されます。
「**マルチ**」を設定した場合、撮影画面には測光方式のアイコンが表示されません。
「**AF スポット**」が設定されている時は、表示パネルに [・] が、撮影画面には [⁘] が表示されます。

表示パネル

スポット測光エリア表示

8M
NORM
P　1/125　F5.6　15

撮影画面

連写

撮影状況に合わせて単写、連写などの連続撮影モード、または動画を選択します。

設定	内容	画質モード	画像サイズ
単写	シャッターボタンを深く押し込むと、1 コマの画像を撮影します。そのままシャッターボタンを押し続けても連続撮影はできません。	全モード可能	全モード可能
連写 H	シャッターボタンを押し続けると、最高約 2.5 コマ／秒で連続 5 コマまでの連続撮影を行います。撮影中液晶モニタ（または電子ビューファインダー）は消灯します。	RAW FINE ※1 NORMAL BASIC	全モード可能
連写 L	シャッターボタンを押し続けると、最高約 1.2 コマ／秒で連続 12 コマ※2 までの連続撮影を行います。	FINE ※3 NORMAL BASIC	全モード可能
マルチ連写	シャッターボタンを深く押し込むと、最高約 1.5 コマ／秒で 16 コマの連続撮影を行い、画像は 4 × 4 コマに並べられて 1 つの画像（3264 × 2448 ピクセル）として保存します。	FINE ※3 NORMAL BASIC	8M
UH 連写	シャッターボタンを深く押し込むと、640 × 480 ピクセルの画像を、約 30 コマ／秒で最高 100 コマまで連続撮影します。撮影を行うごとにN _ で始まり 3 桁の数字が続く名称の専用フォルダが作成され、そのフォルダに100 コマすべてが記録されます。撮影画面の撮影可能コマ数表示部に撮影可能コマ数がカウント表示されます。	NORMAL	TV
サーキュラー連写	シャッターボタンを押し続けると、最高約 1 コマ／秒で連続撮影を行い、シャッターボタンから指を離すと連続撮影を終了します。連続撮影された複数の画像のうち、最後に撮影された 1 コマからさかのぼった連続 5 コマのみを CF カードに記録します。	FINE ※3 NORMAL BASIC	全モード可能
インターバル撮影	設定された撮影間隔（インターバル）で静止画像の撮影を自動的に行います（P.98）。最高 1800 コマまで撮影可能です。	FINE ※3 NORMAL BASIC	全モード可能
動画	TV 再生 640、カメラ再生 320、微速度撮影、セピア動画の 4 種類の動画を撮影することができます。動画の内容については、「動画の撮影と再生」（P.61）をご覧ください。	—	—

※1 画質モードが「HI」の時に自動的に「FINE」にセットされます。

※2 画質モードが「FINE」、画像サイズが「8M 3264 × 2448」の場合の数値です。画質モード、画像サイズの設定により連続撮影可能コマ数は異なります。

※3 画質モードが「HI」または「RAW」の時に自動的に「FINE」にセットされます。

撮影メニューの表示方法 : P.90

連写モードの制限について

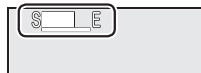
- 「**単写**」以外の連写モードと、「**BSS**」(P.100)、「**ブラケティング**」の「**WB-BKT**」(P.115)、「**ノイズ除去**」(P.117) を同時に設定することはできません。
- 「**単写**」以外で撮影を行った場合は、AF、露出、ホワイトバランスは撮影 1 コマ目の条件に固定されます。
- 「**マルチ連写**」、「**UH 連写**」、「**サーキュラー連写**」、「**インターバル撮影**」、「**動画**」と「**ブラケティング (ON)**」(P.115) を同時に設定することはできません。
- 「**マルチ連写**」、「**UH 連写**」に設定した場合、電子ズーム (P.26) は使用できません。

スピードライトの使用について

各連写モードと組み合わせた場合の、内蔵スピードライトおよび外付けスピードライトの動作は次のようになります。

スピードライト	連写モード								
	S	H	L	マルチ	UH	サーキュラー	インターバル	動画	BSS
内蔵スピードライト	使用可能	**発光禁止**	**発光禁止**	**発光禁止**	**発光禁止**	**発光禁止**	使用可能	**発光禁止**	使用可能
外付けスピードライト	使用可能	使用可能	使用可能	使用可能	**発光禁止**	使用可能	使用可能	**発光禁止**	使用可能

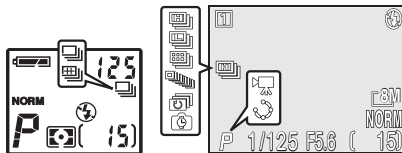
UH 連写について

- 連写モードを「**UH 連写**」に設定して、液晶モニタをレンズと同じ方向に向けて撮影した場合、撮影画面に表示される画像と再生される画像は左右逆となります。
- UH 連写の場合、記録中にズーム表示が **S**（start）から **E**（end）に動きます。100 コマの撮影が終了する前に撮影を終了するには、シャッターボタンから指を離します。

カメラの一時保存メモリ

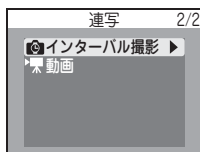
カメラには撮影中画像を一時的に保存しておくメモリがあり、CF カードへの画像の記録中にも連続撮影を行うことができます。このメモリに保存できる画像コマ数は画質モードと画像サイズにより異なります。一時保存メモリの容量がなくなると、撮影画面上に ⌛ マークが表示され撮影ができなくなります。画像が CF カードに書き込まれて一時保存メモリの容量が空くと、⌛ マークは消え、撮影を再開することができます。

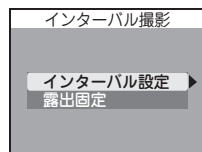
連写モード表示について

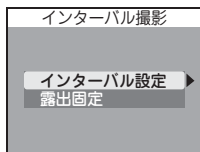
- 「**単写**」以外の連写モードを設定した場合、撮影画面には設定した連写モードのアイコンが表示されます。
- 「**連写 H**」、「**連写 L**」、「**サーキュラー連写**」、「**インターバル撮影**」の場合は、表示パネルに が点灯します。
- 「**マルチ連写**」の場合は、表示パネルにも撮影画面にも が表示されます。

- 「**UH 連写**」または「**動画**」の場合は、表示パネルで が点滅します。「**UH 連写**」の場合は、**NORM** も同時に点滅します。

インターバル撮影の撮影方法

インターバル撮影では、撮影を行う前に、「**インターバル設定**」と「**露出固定**」を設定することができます。

1

連写メニュー画面で、マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**インターバル撮影**」を選択します。

2

▷ を押すと、インターバル撮影メニューが表示されます。

3

△ または ▽ を押して、「**インターバル設定**」または「**露出固定**」を選択し、▷ を押してください。

- 「**インターバル設定**」: インターバル撮影の撮影間隔（インターバル）を設定します。
- 「**露出固定**」: インターバル撮影時に露出固定を行うかどうかを選択します。

4

インターバル設定
30秒
1分
5分
10分
30分
60分

「**インターバル設定**」を選択した場合、△ または ▽ を押して、インターバル撮影の撮影間隔（インターバル）を「**30 秒**」、「**1 分**」、「**5 分**」、「**10 分**」、「**30 分**」、「**60 分**」から選択してください。

- ▷ を押すと、選択が実行され、撮影メニュー画面に戻ります。

インターバル撮影時の試し撮りについてのご注意

インターバル撮影を開始する前に試し撮りを行い、画像を確認することをおすすめします。

インターバル撮影について

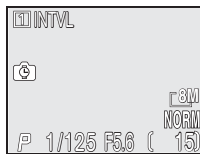
インターバル撮影では、撮影から次の撮影までの間、液晶モニタ（または電子ビューファインダー）および表示パネルが消灯します。設定した撮影間隔（インターバル）が経過する直前に、液晶モニタ（または電子ビューファインダー）および表示パネルが自動的に点灯し、撮影を行います。

撮影メニューの表示方法：P.90

5

「**露出固定**」を選択した場合、△ または ▽ を押して、「ON」または「OFF」を選択してください。▷ を押すと、選択が実行され、撮影メニュー画面に戻ります。

- 「ON」：すべてのフレームの撮影を終了するまで、露出とホワイトバランスが 1 フレーム目を撮影した条件に固定されます。
- 「OFF」：露出とホワイトバランスは固定されません。

6

撮影メニュー画面に戻った後、MENU ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

7

シャッターボタンを押し込んでインターバル撮影を開始します。設定された時間の撮影間隔（インターバル）ごとに静止画像の撮影を自動的に行います。

- もう一度シャッターボタンを押すか、CF カードの記録容量がなくなるか、1800 コマまで撮影すると、インターバル撮影が終了します。

インターバル撮影時の電源についてのご注意

インターバル撮影時は、途中でバッテリーの残量がなくなると撮影を終了するため、AC アダプタ EH-53（別売）のご使用をおすすめします。

インターバル撮影で撮影された画像の保存

インターバル撮影で撮影を行うたびに、「INTVL」フォルダ（例：101INTVL）が新しく作成され、ファイル名「DSCN0001」から一連の画像が保存されます。

インターバル撮影モードでの表示について

インターバル撮影中に QUICK ボタンを押しても、撮影した画像をレビュー再生モードや簡易再生モードで再生することはできません。

BSS（ベストショットセレクタ）

手ブレなどでシャープな画像が得られない場合は BSS（ベストショットセレクタ）を、画像が黒くつぶれたり白くとんだりして露出の調整が難しい場合には AE-BSS の使用をおすすめします。

設　定	内　容
OFF	BSS を OFF にします。
BSS ON	シャッターボタンを押し続けていると、最高で 10 コマの画像を連続撮影します。撮影された画像のうち、より鮮明な画像（細部が一番鮮明に写っている画像）をカメラが自動的に 1 コマ選び、CF カードに記録します。スピードライトは発光禁止となり、AF、露出、ホワイトバランスは撮影 1 コマ目の条件に固定されます。 「BSS」を「ON」に設定すると次のような場合に効果的です： • カメラを望遠側にズーミングしている場合 • マクロ撮影の場合 • 暗い時にスピードライトを使用できない場合（例えば、スピードライトの光が届かないところに被写体があったり、暗い状態でも自然な光で撮影したい場合など）

撮影メニューの表示方法：P.90

設 定	内 容
AE AE-BSS	カメラが自動的にブラケティング動作を行います。シャッターボタンを押すと、5 コマの画像を連続撮影します。撮影された画像のうち、右の画面で設定した内容に合った画像をカメラが自動的に 1 コマ選び、CF カードに記録します。スピードライトは発光禁止となり、AF、ホワイトバランスは撮影 1 コマ目の条件に固定されます。 [AE-BSS / 白とび最小 ▶ / 黒つぶれ最小 / ヒストグラム最良] **白とび最小 :** 露出オーバーによる白とびがもっとも少ない画像を選択します。 **黒つぶれ最小 :** 露出不足による黒つぶれがもっとも少ない画像を選択します。 **ヒストグラム最良 :** 撮影された画像のうち、白とびや黒つぶれが少ないものの中から、画像全体の露光量の平均が標準的な露光量にもっとも近い画像を選択します。 「BSS」を「AE-BSS」に設定すると次のような場合に効果的です : • 被写体の輝度差（明るい部分と暗い部分の差）が大きく、露出を合わせるのが難しい場合

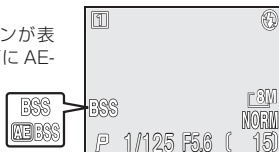
BSS 使用時のご注意

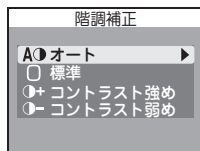
「**BSS**」を「**ON**」に設定しても、動いている被写体を撮る場合や、シャッターボタンを深く押し込みながら流し撮りをする場合などは、適切な効果が得られないことがあります。

BSS 設定時の制限について

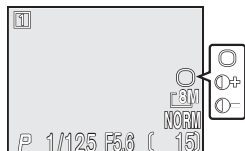
- 次の設定と BSS は同時に設定することができません。
  - ・セルフタイマー撮影時（P.48）
  - ・連写モードが「**単写**」以外の時（P.96）
  - ・「**ブラケティング**」が「**ON**」または「**WB-BKT**」の時（P.115）
  - ・「**ノイズ除去**」が「**ON**」の時（P.117）
- BSS が「**AE-BSS**」の場合は、画質モード（P.40）を「**HI**」または「**RAW**」にセットすることができません。

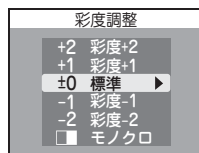
BSS 表示について

「**BSS**」を「**ON**」に設定すると、撮影画面に BSS のアイコンが表示されます。「**BSS**」を「**AE-BSS**」に設定すると、撮影画面に AE-BSS のアイコンが表示されます。

階調補正

記録する画像のコントラストを設定します。

設　定	内　容
A◑ オート	カメラが撮影シーンに応じて最適なコントラストを自動的に設定します。
▢ 標準	標準的な階調に設定します。暗いシーンから明るいシーンまで、さまざまな撮影状況を再現します。
◑+ コントラスト強め	明暗差を強調してコントラストをつけます。曇り空の下で撮影した風景の画像や、コントラストが低い被写体の画像に効果的です。
◑− コントラスト弱め	明暗差を抑えてコントラストを低くします。強い光で被写体にくっきりとした影が出てしまう場合などに効果的です。

階調補正表示について

「**オート**」以外の階調補正を設定した場合、撮影画面に設定した階調補正のアイコンが表示されます。ただし、彩度調整が「**モノクロ**」の場合には、階調補正のアイコンは表示されません。

彩度調整

記録する画像の色の鮮やかさを変更できます。

設　定	内　容
＋２ 彩度＋２ **＋１ 彩度＋１**	彩度を鮮やかにします。＋１よりも＋２の方がより鮮やかになります。画像をプリンタで直接出力する場合に適しています。
±０ 標準	標準的な彩度に調整します。通常の撮影ではこの設定をご使用になることをおすすめします。
－１ 彩度－１ **－２ 彩度－２**	彩度を抑えます。－１よりも－２の方がより抑えられます。画像をパソコンでレタッチする場合などに適しています。
モノクロ	撮影画像をモノクロ画像として記録します。ファイルサイズはカラー画像と同様ですが、カラー画像に比べて解像感の高い画像になります。撮影画面もモノクロ表示になります。

セピア動画設定時の動作について

「**モノクロ**」の場合に「**動画**」を「**セピア動画**」（P.61）に設定すると、彩度調整は自動的に「**標準**」に設定されます。

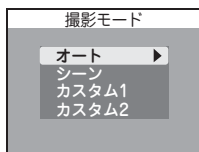
モノクロモードの制限について

「**モノクロ**」に設定した場合：
- 電子ズーム（P.26）は使用できません。
- 「**ホワイトバランス**」（P.92）、「**ブラケティング**」の「**WB-BKT**」（P.115）は設定できません。
- 画質モードを「**RAW**」にセットできません（P.40）。

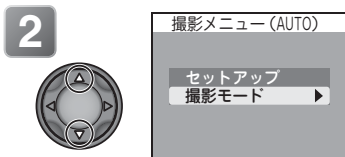
モノクロモード表示について

「**モノクロ**」に設定した場合、撮影画面もモノクロとなります。撮影画面には、モノクロ表示のアイコンが表示されます。

撮影モード

撮影モードを「**オート**」、「**シーン**」、「**カスタム 1**」、「**カスタム 2**」のいずれかに設定することができます。「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」を選択した場合には、撮影メニューなどで設定した機能の組み合わせを記憶させておくことができます。
例えば、「**カスタム 1**」を選んだ状態で各機能を設定すると、その機能の組み合わせが記録され、電源を OFF にしたり、他の撮影モードを選択しても、再度「**カスタム 1**」を選択すれば、その際に設定していた組み合わせを呼び出すことができます。それぞれの撮影モードについては、「撮影の基本ステップ」の「撮影モードについて」(P.25) をご覧ください。

（オート撮影）モード時、シーンモード時の撮影モードメニューの表示方法

撮影モードが（オート撮影）モードの場合：

MENU ボタンを押すと、「撮影メニュー（AUTO）」画面が表示されます。

△ または ▽ を押して、「**撮影モード**」を選択します。▷ を押すと撮影モードメニューが表示されます。

撮影モードがシーンモードの場合：

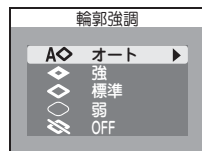
MENU ボタンを押すと、シーンモードメニューが表示されます。

▽ を押して、「**撮影モード**」を選択します。QUICK ボタンを押すと撮影モードメニューが表示されます。

撮影モード表示について

選択されている撮影モードが撮影画面に表示されます。

輪郭強調

撮影シーンや好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を設定します。

設　定	内　容
オート	設定した画像が最適な輪郭になるようにカメラが自動的に設定します（調整の度合いは画像によって異なります）。
強	輪郭を強めに強調します。個々の被写体の境目がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合などに使用します。
標準	標準的なレベルで輪郭を強調します。
弱	輪郭を弱めに強調します。個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。
OFF	輪郭を強調しません。

輪郭強調についてのご注意

輪郭強調の効果を撮影時に撮影画面で確認することはできません。

コンバータ

別売のアダプタリング UR-E8 または UR-E12（P.160）を使用して、コンバータを装着する場合に設定します。各コンバータに適したズーミングを自動的に設定することができます。コンバータの使用方法の詳細については、各コンバータの使用説明書をご覧ください。

設　定	内　容
OFF	通常のズーミングを行います。コンバータを使用しない時に設定します（アダプタリングは必ず取り外してください）。
ワイドコンバータ（WC-E80）	レンズが自動的に最も広角側にセットされます。ズーム可動範囲は広角側からミドルポジションに制限されます。
テレコンバータ（TC-E15ED）	レンズが自動的に最も望遠側にセットされます。電子ズームが使用できます。
フィッシュアイ（FC-E9）	• ズーム位置が最も広角側に固定されます（P.26）。 • ピントは無限遠に固定されます。 • 測光方式は中央部重点測光に固定されます（P.95）。 • 画面の四隅が影になって画像が円形になります。

コンバータ使用時のご注意

コンバータレンズ装着時は、オートフォーカスで撮影してください（P.47）。マニュアルフォーカスモード、遠景モードではピントが合わない場合があります。

スピードライトの使用制限について

- 「**コンバータ**」が「**OFF**」以外に設定されている場合、内蔵スピードライトは自動的に発光禁止になります。
- ワイドコンバータおよびテレコンバータを装着すると、外付けスピードライト（P.113）を使用することにより、スピードライト撮影が可能になります。外付けスピードライトは、外部自動調光にセットして使用してください。
- フィッシュアイコンバータを装着すると、スピードライトの光が充分に行きわたらない（ケラレる）ため、スピードライトを使用することができません。

コンバータ表示について

「**コンバータ**」が「**OFF**」以外に設定されている場合、撮影画面にコンバータのアイコンが表示されます。

露出制御

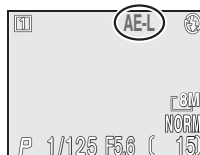
「**露出制御**」には「**露出固定**」と「**BULB/TIME**」の２つの項目があります。

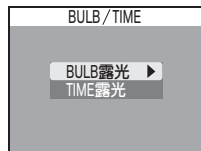
露出固定：

一連の写真を同じシャッタースピード、絞り値、撮像感度、ホワイトバランスにして撮影したい時などに使用します。パソコンに画像を取り込んでパノラマ合成する場合などに便利です。

設定	内容
OFF	露出固定されず、通常の撮影を行います。
ON	設定後、最初に撮影された条件（シャッタースピード、絞り値、撮像感度、ホワイトバランス）に固定されます。露出固定中はスピードライトは発光禁止となります。
リセット	「ON」で固定した露出をいったんリセットします。新たに撮影を行うと、最初に撮影した条件（シャッタースピード、絞り値、撮像感度、ホワイトバランス）に固定されます。

露出固定表示について

「**露出固定**」を「**ON**」または「**リセット**」に設定すると、AE-L のアイコンが撮影画面に黄色で表示されます。設定後、撮影を行うと撮影条件が固定され、AE-L のアイコンは白色に変わります。以後、同じ条件で撮影を行います。

BULB/TIME：

露出モードを **M** にセットして、シャッタースピードをBULB または TIME にセットした場合の長時間露出撮影方法を設定します (P.56)。

長時間露出撮影時のご注意

長時間露出撮影では、撮影した画像に星状ノイズが増加するのでご注意ください。「**ノイズ除去**」を「**ON**」に設定することをおすすめします (P.117)。

設　定	内　容
BULB 露光	シャッターボタンを押している間シャッターが開き、シャッターボタンを離した時点でシャッターが閉じます。シャッターボタンを押し続けることにより、最長 10 分の長時間露出撮影が行えます。
TIME 露光	シャッターボタンを押してから指を離しても、再度シャッターボタンが押されるか、設定した時間が経過するまでシャッターが開き続けます。 「**TIME 露光**」を選択してマルチセレクターの ▷ を押すと、露光時間の設定画面が表示されますので、「**30 秒**」、「**1 分**」、「**3 分**」、「**5 分**」、「**10 分**」の中から、設定する時間を選択してください。 露光時間 30秒 1分 3分 5分 10分

フォーカス

フォーカスに関する設定を行います。「**フォーカス**」には「**AF エリア選択**」、「**AF-MODE**」、「**ピーキング**」の 3 つの項目があります。

AF エリア選択：

オート撮影モード時には、画面中央にある被写体に自動的にピントが合いますが、撮影モードを「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットすると、画面内にある 5 つの AF エリアが使用可能となります。「**AF エリア選択**」を選択すると、ピントを合わせる AF エリアを設定することができます。

設定	内容
オート	5 つの AF エリアのいずれかに重なる被写体のうち、自動的に最もカメラに近い被写体を選択してピントを合わせます。シャッターボタンを半押しすると、カメラが選択した AF エリアが撮影画面に表示されます。不規則に動き回る被写体の撮影やピント合わせに時間をかけられない場合などに使用します。
マニュアル	撮影画面に表示された 5 つの AF エリアから、撮影者が選択した AF エリアだけを使用してピントを合わせます。AF エリアは、マルチセレクターを使って選択します。比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合や、AF ロック（P.30）を使用しないでピント合わせを行いたい場合に適しています。
中央	中央部の AF エリアのみを使用してピント合わせを行います。AF エリアは撮影画面上に表示されません。被写体が画面中央にない場合は AF ロック（P.30）を使用してピント合わせを行います。

AF エリア選択の制限について

電子ズーム（P.26）作動中は AF エリアの選択はできません。この場合、中央の AF エリアが使用されます。

AF エリア選択がマニュアルの場合

「**AF エリア選択**」を「**マニュアル**」に設定すると、5 つの AF エリアが撮影画面に表示されますので、マルチセレクターを使用して被写体がある AF エリアを選択します。被写体がどの AF エリアにもない場合などに AF ロック機能（P.30）を併用することができます。

AF スポット測光について

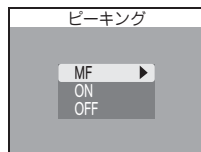
AF スポット測光（P.95）時は、「**オート**」または「**マニュアル**」で選択した AF エリアのみが測光されます。

AF-MODE：

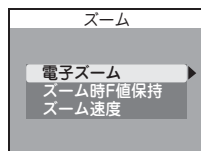
「**フォーカス**」で「**AF-MODE**」を選択すると、液晶モニタ点灯時のAFモードをシングルAFまたは常時AFに切り換えることができます。なお、設定したAFモードは動画撮影時にも有効です。

設　定	内　容
シングルAF	シャッターボタンを半押ししている間のみAFによるピント合わせを行い、ピントが合うとAFロックを行います。ただし、AF-MODEにかかわらず、被写体にピントが合っていなくてもシャッターがきれますので、撮影時にAF表示の点灯をご確認ください。
常時AF	シャッターボタンの操作にかかわらず、常にピント合わせを繰り返します。シャッターボタンを半押しするとピントを固定（AFロック）します。

ピーキング：

ピーキング機能は、ピントの合っている部分の輪郭を、撮影画面上で強調表示します。マニュアルフォーカス（P.59）やオートフォーカスで、ピントを撮影前に正確に確認したい場合に便利です。なお、撮影された画像には影響ありません。

設　定	内　容
MF	マニュアルフォーカス時に、撮影画面上でピントが合っている部分の輪郭が強調されます。
ON	撮影画面上でピントが合っている部分の輪郭が常に強調されます。
OFF	ピントが合っている部分の輪郭の強調が解除されます。

ズーム

ズームに関する設定ができます。「**ズーム**」には「**電子ズーム**」、「**ズーム時F値保持**」、「**ズーム速度**」の3つの項目があります。

電子ズーム：

電子ズームを作動させるかどうかを設定します。

設定	内容
ON	光学ズームが最も望遠側にある状態で T を2秒以上押し続けると、自動的に電子ズームが作動します。
OFF	光学ズームが最も望遠側にある状態で T を押し続けても、電子ズームは作動しません（動画撮影時を除きます）。

電子ズームについてのご注意

- 次の場合は、電子ズームを使用することができません。
  - ・画質モードが「**RAW**」、「**HI**」にセットされている場合（P.40）。
  - ・連写モードが「**マルチ連写**」、「**UH 連写**」に設定されている場合（P.96）。
  - ・「**彩度調整**」が「**モノクロ**」に設定されている場合（P.103）。
  - ・「**コンバータ**」が「**ワイドコンバータ**」、「**フィッシュアイ**」に設定されている場合（P.106）。
- 電子ズームの作動中は、AF エリアが中央に固定され、測光モードが中央部重点測光相当になります（P.95）。

ズーム時 F 値保持：

通常は、ズーミングに対応して F 値（絞り値）が変化しますが、「**ズーム時 F 値保持**」を「**ON**」に設定すると、セットした絞り値の変化を最小限におさえながらズーミングします。

設定	内容
ON	露出モードを **A**、**M** にセットした時、絞り値の変化を最小限におさえながらズーミングを行います。ただし、ズーミングによって絞りの制御範囲を超えてしまうことがあります。約 F5 ～ F8 の範囲内に絞り値をセットしてご使用ください。
OFF	ズーミングに対応して絞り値が変化します。

ズーム速度：

ズームする速度を設定できます。

設定	内容
H	高速でズームします。
L	最初は低速でズームし、徐々にスピードを上げてズームします。細かいズーム調整を行いたい時にご使用ください。

スピードライト

スピードライトに関する設定を行うことができます。「**スピードライト**」には、「**POPUP**」、「**調光補正**」、「**発光切替**」の3つの項目があります。

POPUP：

スピードライトが発光する条件で、収納しているスピードライトを自動的にポップアップさせるか、またはマニュアルでポップアップさせるかを設定します。

設　定	内　容
オート	スピードライトが発光する条件でシャッターボタンを半押しすると、内蔵スピードライトが自動的にポップアップし、撮影時に発光します。内蔵スピードライトがポップアップしていても、被写体が明るい場合は発光しません（強制発光に設定時を除きます）。
マニュアル	ボタンを押すと内蔵スピードライトがポップアップし、被写体の明るさに関係なく、スピードライトが強制発光します。

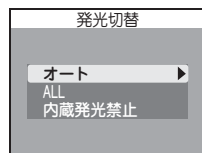
調光補正：

撮影目的や撮影条件に合わせてスピードライトの発光量を補正します。－2EVから＋2EVまで、1/3EVステップで発光量を補正できます。

スピードライト使用時のご注意

スピードライトを使用する時は、レンズフード（別売）（P.160）を取り外してご使用ください。

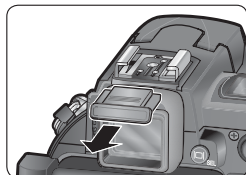
発光切替：

ニコン製の外付けスピードライトをカメラのアクセサリーシュー（P.12）に装着して使用する場合の内蔵スピードライトの ON ／ OFF をセットします。

設　定	内　容
オート	外付けスピードライト使用時は、外付けスピードライトが発光します。外付けスピードライトを使用しない場合、内蔵スピードライトが発光します。
ALL	外付けスピードライトと内蔵スピードライトが両方発光します。
内蔵発光禁止	内蔵スピードライトを発光禁止にします。

外付けスピードライトについて

COOLPIX8700 はニコン製スピードライト（別売）を直接装着して、コードレスで自動調光撮影を行うことができるアクセサリシューを備えています。内蔵スピードライトでは充分に照明されない時などに効果的です。COOLPIX8700 に使用できる外付けスピードライトは、SB-800・600・80DX・50DX・30・28 ／ 28DX・26・25・24・22s です。また、このアクセサリシューはセーフティロック機構（ロック穴）を備えていますので、セーフティロックピン付きのスピードライト（SB-800・600・30・28 ／ 28DX・26・25・22s など）を装着すると、スピードライトが不用意に外れるのを防止できます。外付けスピードライトの使用時のご注意については、「外付けスピードライト装着時の設定方法および使用時のご注意」（P.114）をご覧ください。

アクセサリーシューカバーについて

外付けスピードライトを使用する場合は、カメラのアクセサリーシューカバー（P.12）を外してください。アクセサリーシューカバーは、右図の矢印の方向に押してスライドさせると外れます。
外付けスピードライトをご使用にならない時は、常にアクセサリーシューカバーを装着してください。

外付けスピードライト装着時の設定方法および使用時のご注意

- オートパワーズーム機能のあるスピードライトを使用する場合は、照射角をマニュアルでセットしてください。
- 撮影の前に、スピードライトの発光モードを TTL にセットし、スピードライトのレディライトの点灯を確認してください。スピードライトの発光モードを TTL にセットすると、カメラの内蔵スピードライト下の調光センサーを使用した自動調光になります。調光センサーに指やストラップなどがかからないように注意してください。。
- 「**POPUP**」を「**マニュアル**」に設定している場合は、ボタンを押さない限りスピードライトがポップアップしません。調光センサーを使用するためには、ボタンを押してください。
- 外付けスピードライトの「スタンバイ」機能はカメラの電源 ON と連動します。ただし、「オートパワーズーム」、「アクティブ補助光」、および外付けスピードライトの赤目軽減ランプを使用する「赤目軽減ランプ照射」機能は使用することができません（使用するスピードライトによって、該当する機能が異なります。詳細は使用する外付けスピードライトの使用説明書をご覧ください）。
- ワイドコンバータ WC-E80 を使用する場合、最も広角側でレンズの合成焦点距離が約 28mm（35mm 換算）になります。ワイドパネルを使用して、スピードライトの照射角を 28mm より広角側にセットしてください。照射角が 28mm より広角側にセットできないスピードライトを使用する場合は、撮影画面周辺の被写体に光が充分に照射されないおそれがあります。

外付けスピードライト使用時のスピードライトモード表示について

外付けスピードライトを装着して「**発光切替**」を「**オート**」または「**内蔵発光禁止**」に設定した時の、表示パネルと撮影画面に表示されるスピードライトモード表示は下表のとおりです。

<スピードライト：POPUP をオートに設定した場合 (P.112) >

スピードライトモード	表示パネル	撮影画面
自動発光モード	AUTO	A
発光禁止モード		
赤目軽減自動発光モード	AUTO	
強制発光モード		
スローシンクロモード	AUTO	

<スピードライト：POPUP をマニュアルに設定した場合>

スピードライトモード	表示パネル	撮影画面
強制発光モード		
赤目軽減強制発光モード		
スローシンクロ強制発光モード		

外付けスピードライトのレディライトが消灯している場合、カメラは外付けスピードライトを認識できません。外付けスピードライトのレディライトが点灯していることを確認して撮影を行ってください。

ブラケティング

露出またはホワイトバランスを少しずつずらした連続撮影をカメラが自動的に行います。露出補正やホワイトバランスの調整を行うのが難しい時や、調整する時間がない時に使用すると便利です。

設　定	内　容
OFF	ブラケティングを行いません。
ON	カメラが表示する適正露出値に対して、標準、＋側、－側の順で自動的に露出をずらしながら､3 コマまたは 5 コマの画像を撮影します。シャッターをきるたびに 1 コマずつ記録されます。
WB-BKT	シャッターボタンを 1 回押すと、その時設定されているホワイトバランスを中心に、赤味がかった画像、青味がかった画像の 3 コマを記録します。シャッターをきるたびに 3 コマずつ記録されますので、書き込み時間は通常の約 3 倍かかります。

「ブラケティング」の「ON」について

「**ブラケティング**」を「**ON**」に設定すると：
- ボタンによる露出補正（P.50）がすでに行われている場合は、補正量が加算されます。
- 露出モード（P.51）を **P** にセットした場合はシャッタースピードと絞り値が、**A**、**M** にセットした場合はシャッタースピードが、**S** にセットした場合は絞り値が変化します。
- 連写モードを「**連写 H**」または「**連写 L**」（P.96）に設定した時に、ブラケティング撮影をする場合、シャッターボタンを深く押し続けると、セットしたコマ数を撮影した時点でいったん停止します。
- スピードライトモードが「**自動発光**」（P.44）にセットされている場合、スピードライトの調光は、ブラケティングの 1 コマ目の調光制御が残りのコマにも適用されます。1 コマ目に対して発光した場合は残りのコマに対しても発光し、1 コマ目に対して発光しない場合は残りのコマに対しても発光しません。
- 撮像感度が「**AUTO**」にセットされている場合（P.57）、撮影される画像の感度は次のように設定されます：

露出モード	感度
P	各コマごとに感度が調整されます。
S、A、M	1 コマ目にセットされた感度で残りのコマも撮影されます。

ブラケティングの設定：

「**ブラケティング**」を「**ON**」に設定すると、右のようなメニュー画面が表示され、撮影コマ数と補正ステップを設定できます。

ブラケティング
3 ±0.3 ▶
3 ±0.7
3 ±1.0
5 ±0.3
5 ±0.7
5 ±1.0

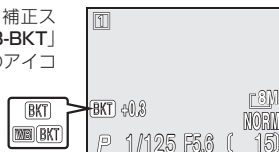
設定	撮影コマ数	補正ステップ	撮影順序
3, ± 0.3	3	± 1/3EV	0, + 0.3, − 0.3
3, ± 0.7	3	± 2/3EV	0, + 0.7, − 0.7
3, ± 1.0	3	± 1EV	0, + 1.0, − 1.0
5, ± 0.3	5	± 1/3EV	0, + 0.7, + 0.3, − 0.3, − 0.7
5, ± 0.7	5	± 2/3EV	0, + 1.3, + 0.7, − 0.7, − 1.3
5, ± 1.0	5	± 1EV	0, + 2.0, + 1.0, − 1.0, − 2.0

ブラケティング設定時の制限について

- 次の設定と「**ブラケティング**」の「**ON**」は同時に設定することができません。
  - ・連写モードが「**マルチ連写**」、「**UH 連写**」、「**サーキュラー連写**」、「**インターバル撮影**」、「**動画**」の時（P.96）
  - ・露出モードを **M** にセットして、長時間露出撮影（BULB ／ TIME）を行った時（P.56）
  - ・「**BSS**」が「**ON**」または「**AE-BSS**」の時（P.100）
  - ・「**露出固定**」が「**ON**」の時（P.107）
  - ・「**ノイズ除去**」が「**ON**」の時（P.117）
- 次の設定と「**ブラケティング**」の「**WB-BKT**」は同時に設定することができません。
  - ・画質モードが「**RAW**」または「**HI**」の時（P.40）
  - ・連写モードが「**単写**」以外の時（P.96）
  - ・「**彩度調整**」が「**モノクロ**」の時（P.103）
  - ・「**BSS**」が「**ON**」または「**AE-BSS**」の時（P.100）
  - ・「**露出固定**」が「**ON**」の時（P.107）
  - ・「**ノイズ除去**」が「**ON**」の時（P.117）

ブラケティング表示について

「**ブラケティング**」を「**ON**」に設定すると、BKT のアイコンと補正ステップが撮影画面に表示されます。「**ブラケティング**」を「**WB-BKT**」に設定すると、WB BKT（ホワイトバランスブラケティング）のアイコンが撮影画面に表示されます。

撮影メニューの表示方法：P.90

ノイズ除去

撮影時に生じるデジタル画像特有の星状ノイズを軽減します。

設　定	内　容
ON	シャッタースピードが約 1/4 秒以下になると、ノイズ除去が機能します。撮影開始から CF カードへの画像の記録が終了するまでに通常より 2 倍以上時間がかかります。
OFF	ノイズ除去は機能しません。

ノイズ除去設定時の制限について

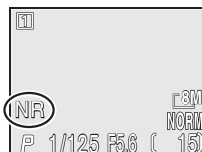
次の設定と「**ノイズ除去**」の「**ON**」は同時に設定することができません。

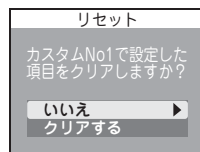
- 「**BSS**」が「**ON**」または「**AE-BSS**」の時（P.100）
- 「**ブラケティング**」が「**ON**」または「**WB-BKT**」の時（P.115）
- 連写モードが「**単写**」以外の時（P.96）

撮像感度を上げた時に生じる星状ノイズについて

撮像感度（P.57）を上げた時にも、撮影画面上に星状ノイズが生じる場合があります。この場合、撮影時のシャッタースピードが 1/4 秒以下の低速シャッタースピードであれば、「**ノイズ除去**」を「**ON**」に設定することにより星状ノイズを軽減することができます。

ノイズ除去表示について

「**ノイズ除去**」を「**ON**」に設定すると、撮影画面にノイズ除去のアイコンが表示されます。

リセット

現在選択されている撮影モード（カスタム 1、カスタム 2 のみ）でセットした各種設定を初期設定にリセットします。選択されていない撮影モードの内容は、リセットされません。

設　定	内　容
いいえ	リセットを行わずメニューを終了します。
クリアする	各項目の設定を初期設定に戻します。

リセットを実行すると、現在選択されている撮影モードのセット内容（以下の項目）を初期設定にリセットします。現在選択されていない撮影モードのセット内容はリセットされません。

セット項目	初期設定
スピードライトモード	自動発光
フォーカスモード	通常 AF
露出補正	± 0
画質・画像サイズ	
画質モード	NORMAL
画像サイズ	8M 3264×2448
撮像感度	オート

メニュー項目	初期設定
ホワイトバランス※	オート
測光方式	マルチ
連写	単写
BSS	OFF
階調補正	オート
彩度調整	標準
輪郭強調	オート
コンバータ	OFF

メニュー項目	初期設定
露出制御	
露出固定	OFF
BULB/TIME	BULB 露光
フォーカス	
AF エリア選択	オート
AF-MODE	シングル AF
ピーキング	MF
ズーム	
電子ズーム	ON
ズーム時 F 値保持	OFF
ズーム速度	H
スピードライト	
POPUP	オート
調光補正	0
発光切替	オート
ブラケティング	OFF
ノイズ除去	OFF

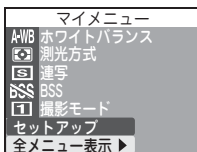
※ 微調整した値もクリアされます。

撮影メニューの表示方法：P.90

マイメニュー編集

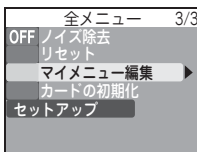
マイメニュー（P.90）に設定可能な５つのメニュー項目を、撮影メニューから選択して登録することができます。マイメニューは、撮影モードを「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットした場合、MENU ボタンを押すだけで表示されるので、よく使用するメニュー項目をあらかじめ登録しておくと便利です。

初期設定では「**ホワイトバランス**」、「**測光方式**」、「**連写**」、「**BSS**」、「**撮影モード**」が登録されています。別のメニュー項目に変更するには、以下の方法で行います。

1

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**全メニュー表示**」を選択します。

2

▷ を押して、全てのメニュー項目を表示します。

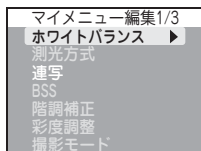
3

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、全メニューの３ページ目にある「**マイメニュー編集**」を選択します。

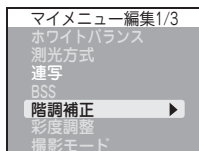
4

▷ を押して、マイメニューを表示します。

5

△ または ▽ を押して、マイメニューの中から変更したい項目を選択します。

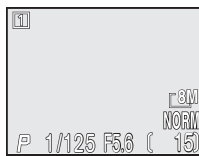
6

▷ を押すと、撮影メニューのすべての項目が表示されます。

7

△ または ▽ を押して、マイメニューに登録したいメニュー項目を選択します。

8

▷ を押すと、マイメニューで表示されているメニュー項目が入れ替わります。

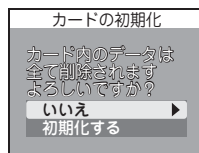
- 手順の５～８を繰り返して、マイメニューの編集を完了します。

9

MENU ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

コマンドダイヤルを使ったマイメニュー登録について

マイメニューは、コマンドダイヤルを使って登録することもできます。手順６～７の代わりに、コマンドダイヤルを回してマイメニューに登録したいメニュー項目を選択してください。

カードの初期化

CF カードの初期化（フォーマット）を行います。初期化を行うと、CF カードに記録されているすべてのデータが消去されます。

設　定	内　容
いいえ	初期化を行いません。
初期化する	マルチセレクターの ▷ を押すと、すぐに初期化が開始されます。

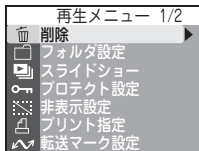
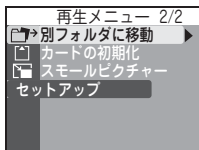
カード初期化中は、右の画面が表示されます。

カード初期化中...

カード初期化時のご注意

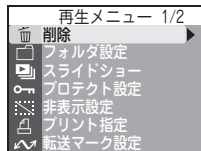
- 「カード初期化中」のメッセージが撮影画面に表示されている間は、電源を OFF にしたり、CF カードを取り出したりしないでください。
- カードを初期化すると、カード内のデータはすべて消去されます。初期化する前に保存したい画像をパソコンに転送することをおすすめします（P.79）。

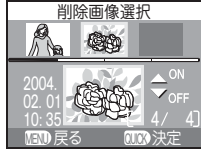
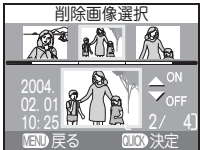
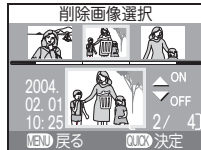
再生メニュー

再生メニューには次の項目があります。

再生メニュー　1/2	
削除	P.123～124
フォルダ設定	P.125～129
スライドショー	P.130～131
プロテクト設定	P.132
非表示設定	P.133
プリント指定	P.134～135
転送マーク設定	P.136～137

再生メニュー　2/2	
別フォルダに移動	P.138～139
カードの初期化	P.121、140
スモールピクチャー	P.140
セットアップ	P.141～159

再生メニューの表示方法

モードセレクターを ▶ にセットします。

MENU ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

削除

画像の削除方法を以下から選択できます。

設定	内容
選択画像削除	選択した画像を削除します。
全画像削除	すべての画像を削除します。

選択画像削除：

選択した画像の削除は次のように行います。

1

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**選択画像削除**」を選択します。

2

▷ を押すと、「削除画像選択」画面に切り換わります。

3

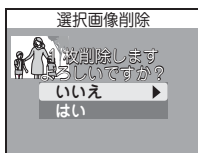
◁ または ▷ を押して、削除する画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- 削除画像選択をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

4

△ または ▽ を押して、削除する画像を設定します。

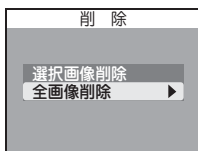
- 設定した画像には 🗑（削除）アイコンと枠型カーソルが表示されます。
- 手順の３と４を繰り返し、削除するすべての画像を設定します。
- 削除の設定を取り消す場合は、🗑（削除）アイコンが表示されている画像上で △ または ▽ を押して、🗑（削除）アイコンを消してください。

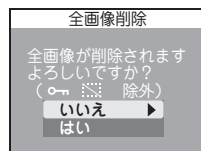
5

QUICK ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。△ または ▽ を押して「**はい**」を選択し、▷ を押すと、選択した画像が削除されます。

- 「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、画像は削除されずに再生メニュー画面に戻ります。

全画像削除：

全画像の削除は次のように行います。

1

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**全画像削除**」を選択します。

2

▷ を押すと、削除確認画面が表示されます。△ または ▽ を押して「**はい**」を選択し、▷ を押すと、CF カードに記録されているすべての画像が削除されます。

- 「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、画像は削除されずに再生メニュー画面に戻ります。

画像削除時のご注意

- 削除された画像を元に戻すことはできませんのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- (プロテクト) アイコンが表示されている画像はプロテクト設定 (P.132) されていますので、「削除画像選択」画面に表示されますが、選択することはできず削除できません。
- 非表示設定 (P.133) されている画像は、「削除画像選択」画面に表示されず削除できません。

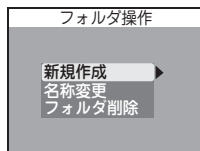
再生メニューの表示方法：P.122

フォルダ設定

画像や動画を再生するフォルダの新規作成、名称変更、削除、再生フォルダの選択などを行うことができます。

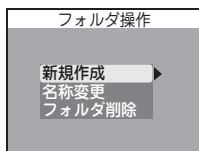
設定	内容
フォルダ操作	フォルダの新規作成、名称変更、削除を行います。
フォルダ選択	撮影した画像や動画を再生するフォルダを選択します。

フォルダ操作：

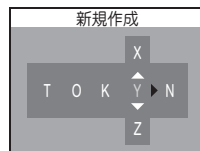
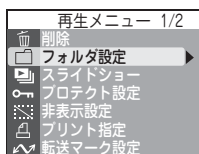
「フォルダ操作」画面では、フォルダの新規作成、名称変更およびフォルダ削除を行うことができます。

設定	内容
新規作成	フォルダを新規作成します。
名称変更	作成したフォルダの名前を変更します。
フォルダ削除	作成したフォルダとそのフォルダ内の画像を削除します。

フォルダ操作について

「**フォルダ操作**」はセットアップメニューの「**フォルダ設定**」(P.147) でも選択できます。

新規作成

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**新規作成**」を選択します。

▷ を押すと、「新規作成」画面が表示されます。

変更したい文字を選択します。

入力する文字を選択します。フォルダ名にはAからZまでの大文字、数字、スペースを使用することができます。手順3と手順4を繰り返して5文字の名称を完成させます。

最後の文字を選択した後で ▷ を押すと、新規フォルダが作成され、再生メニュー画面に戻ります（セットアップメニューから「**新規作成**」を行った場合はセットアップメニュー画面に戻ります P.141）。

- フォルダの新規作成をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押してください。

再生メニューの表示方法：P.122

名称変更

1

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**名称変更**」を選択します。

2

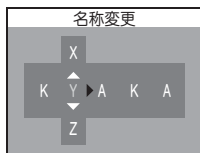
▷ を押すと、名称変更が可能な既存のフォルダ名が表示されます（NIKON フォルダを名称変更することはできません）。

3

名称変更したいフォルダを選択します。

4

▷ を押すと、「名称変更」画面が表示されます。

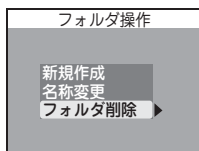
5

前ページの「新規作成」の手順の３～４と同様にして、新しい名称に変更します。

6

最後の文字を選択した後で ▷ を押すと名称の変更が完了し、再生メニュー画面に戻ります（セットアップメニューから「**名称変更**」を行った場合はセットアップメニュー画面に戻ります P.141）。

- フォルダの名称変更をキャンセルする場合は MENU ボタンを押してください。

フォルダ削除

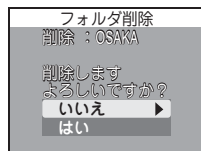
1

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**フォルダ削除**」を選択します。

2

▷ を押すと、フォルダ削除が可能な既存のフォルダ名が表示されます。

3

削除したいフォルダを選択します（NIKON フォルダを削除することはできません）。

4

▷ を押すと、「フォルダ削除」画面が表示されます。△ または ▽ を押して「**はい**」を選択し、▷ を押すと、選択したフォルダが削除されます。

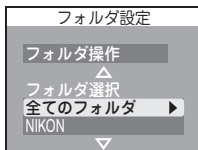
- 「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、フォルダの削除は行われずに再生メニューに戻ります。

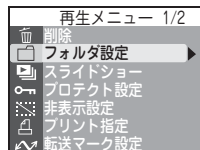
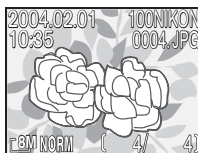
フォルダ削除時のご注意

選択したフォルダ内に非表示またはプロテクト設定された画像がある場合、そのフォルダは削除できませんが、フォルダ内の非表示およびプロテクト設定されていない画像はすべて削除されます。

再生メニューの表示方法： P.122

再生するフォルダの選択：

「フォルダ設定」画面で、再生時に画像を参照するフォルダの選択を行います。

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、フォルダを選択します。

- 「**全てのフォルダ**」を選択すると、全てのフォルダ内の画像を再生することができます。

▷ を押すと選択が実行され、再生メニュー画面に戻ります。

MENU ボタンを押すと、選択されたフォルダ内で一番最後に撮影された画像が表示されます。

再生時のフォルダについて

撮影を行った後で画像を再生した場合は、再生メニューの「**フォルダ設定**」で選択したフォルダ内の画像が表示されます。

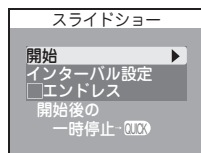
UH 連写、インターバル撮影、パノラマアシストで作成されたフォルダについて

UH 連写、インターバル撮影、またはパノラマアシストで自動的に作成されるフォルダ（例：N_001、INTVL、P_001）を「フォルダ設定」画面で選択した後、撮影を行うと、撮影した画像は、「**NIKON**」を選択した場合と同じフォルダに記録されます。

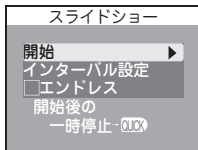
スライドショー

画像を一定間隔で順番に再生するスライドショーを行います（非表示設定された画像は再生されません）。

「スライドショー」画面では、スライドショーの開始、インターバル設定、エンドレスの設定を行うことができます。

スライドショー
開始
インターバル設定
エンドレス
開始後の
一時停止→QUICK

設定	内容
開始	スライドショーを開始します。
インターバル設定	1 コマの画像を表示している時間の変更ができます。
エンドレス	チェックボックスをオン ☑ にすると、QUICK ボタンが押されるまでフォルダ内の画像を繰り返し再生します。

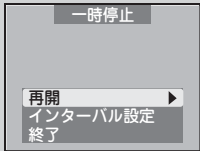
スライドショーの開始：

スライドショー
開始
インターバル設定
エンドレス
開始後の
一時停止→QUICK

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**開始**」を選択します。

- フォルダ内の画像を繰り返し再生する場合には、「**エンドレス**」を選択し、▷ を押してチェックボックスをオン ☑ にしてから「**開始**」を選択します。

2

▷ を押すとスライドショーが開始されます。CF カード内の画像が記録された順に 1 コマずつ一定間隔で再生されます。動画は、最初のフレームが静止画再生されます。

スライドショー時のパワーオフ機能について

スライドショーを開始して、カメラの操作を行わないまま 30 分経過すると、パワーオフ機能により液晶モニタが消灯します。

スライドショー終了後

スライドショー終了後は「一時停止」画面が表示されます。マルチセレクターの ◁ を押すと再生メニュー画面に、MENU ボタンを押すと1コマ再生画面に戻ります。

再生メニューの表示方法：P.122

スライドショーの実行中は次の操作が可能です。

機　能	ボタン	内　容
一時停止する	QUICK	QUICK ボタンを押すとスライドショーが一時停止し、右のような画面が表示されます。 スライドショーを再開するには、「**再開**」を選択して ▷ を押します。 一時停止 再開 ▶ インターバル設定 終了
コマ送り／コマ戻しをする		マルチセレクターの △ または ◁ を押すとコマ戻しし、▽ または ▷ を押すとコマ送りします。
終了する	MENU	MENU ボタンを押すとスライドショーを終了して 1 コマ再生画面に戻ります。

インターバル設定：

1 コマの画像を表示している時間の変更ができます。スライドショーの開始前、終了後、または一時停止中に表示される選択画面から、「**インターバル設定**」を選択してマルチセレクターの ▷ を押すと、インターバル設定画面が表示されます。画面を表示している時間を「**2 秒**」、「**3 秒**」（初期設定）、「**5 秒**」、「**10 秒**」のいずれかから選択し、▷ を押して設定します。

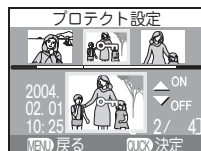
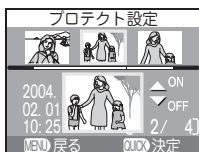
インターバル時間を設定すると、スライドショーを再開します。

インターバル設定についてのご注意

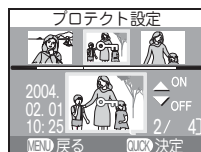
実際のインターバル時間は、画像のファイルサイズや CF カードから読み込むスピードによって、設定した時間とは異なる場合があります。

プロテクト設定

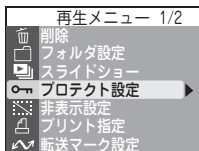
CF カードに記録されている画像を不用意に削除しないようにプロテクト設定することができます。

1

マルチセレクターの ◁ または ▷ を押して、プロテクト設定する画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- プロテクト設定をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

2

△ または ▽ を押してプロテクト設定を行います。

- プロテクト設定された画像には ©ᅲ（プロテクト）アイコンが表示されます。
- 手順の 1 と 2 を繰り返し、プロテクトしたいすべての画像をプロテクト設定します。
- プロテクト設定を解除する場合は、©ᅲ（プロテクト）アイコンが表示された画像上で △ または ▽ を押して ©ᅲ（プロテクト）アイコンを消してください。

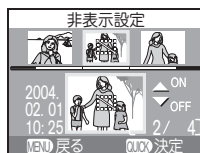
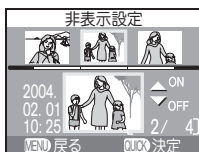
3

QUICK ボタンを押すと設定が完了します。

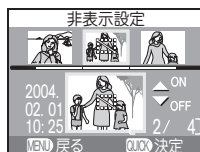
- 画像のプロテクト状態を変更しないでプロテクト設定を終了する場合は、MENU ボタンを押してください。

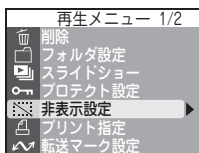
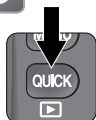
CF カード初期化時のご注意

CF カードの初期化を行うと、プロテクト設定された画像も削除されますのでご注意ください。

非表示設定

CF カードに記録されている画像を非表示設定画面以外では表示しないように非表示設定することができます。

マルチセレクターの ◁ または ▷ を押して、非表示設定する画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- 非表示設定をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

△ または ▽ を押して非表示設定を行います。

- 非表示設定された画像には （非表示）アイコンが表示されます。
- 手順の 1 と 2 を繰り返し、非表示設定したいすべての画像を設定します。
- 非表示設定を解除する場合は、（非表示）アイコンが表示された画像上で △ または ▽ を押して （非表示）アイコンを消してください。

QUICK ボタンを押すと設定が完了します。

- 画像の非表示状態を変更しないで設定を終了する場合は、MENU ボタンを押してください。

CF カード初期化時のご注意

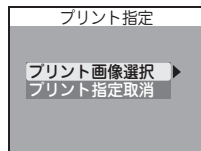
CF カードの初期化を行うと、非表示設定された画像も削除されますのでご注意ください。

フォルダ内のすべての画像が非表示設定されている場合について

フォルダ内のすべての画像が非表示設定されている場合、「表示可能な画像がありません」という警告表示が表示され、他のフォルダを選択し直すか、または、非表示設定で画像の非表示を解除しない限り、画像の表示は行われません。

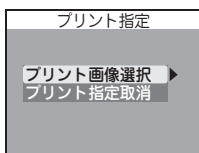
プリント指定

プリントする画像の選択、枚数の指定、撮影日時や撮影データの写し込みといった、撮影画像をプリントするための設定をあらかじめカメラでセットしたり消去したりすることができます。

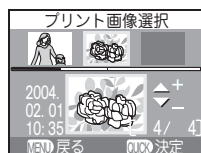
プリント指定
プリント画像選択
プリント指定取消

これらの設定内容は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）に対応したプリントショップやプリンタ、または PictBridge 対応プリンタでダイレクトプリントする場合に適用されます。DPOF およびダイレクトプリントについては「画像をプリントする」（P.82）をご覧ください。

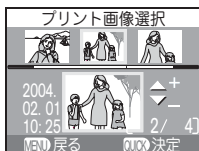
プリント画像の設定：

プリントする画像の選択、枚数の指定、撮影日時や撮影データの写し込みの設定は、次の手順で行います。

1

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**プリント画像選択**」を選択します。

- 「プリント指定取消」を選択すると、すべてのプリント指定を取り消します。

2

▷ を押すと、プリント画像選択画面が表示されます。

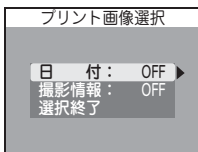
3

◁ または ▷ を押して、プリントしたい画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- プリント指定をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

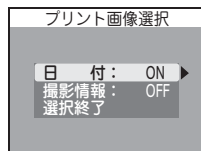
4

△ を押して、プリント指定を設定します。設定された画像には 🖨 アイコンとプリント枚数が表示されます。

必要に応じて、プリントする枚数を変更します。
- △ を押すとプリント枚数は増加し（最高 9 枚）、▽ を押すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が 1 の時に ▽ を押します。
- 手順の 3 ～ 5 を繰り返して、プリントする画像をすべて設定します。
- プリント指定を変更せずに終了する場合は、MENU ボタンを押してください。

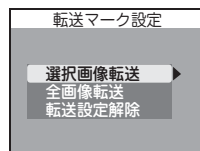
6

QUICK ボタンを押すと画像の選択が完了し、プリント指定のメニューが表示されます。必要に応じて △ または ▽ を押して、プリント上に印字する情報を選択します。
- 選択したすべての画像に撮影日をプリントする場合は、「**日付**」を選択して ▷ を押します。「**日付**」が「**ON**」になります。
- 選択したすべての画像にシャッタースピードと絞り値をプリントする場合は、「**撮影情報**」を選択して ▷ を押します。「**撮影情報**」が「**ON**」になります。
- 選択した項目を「**OFF**」にする時は、その項目を選んで ▷ を押してください。
- プリント指定を終了し、再生メニュー画面に戻る場合は、△ または ▽ で「**選択終了**」を選んで ▷ を押します。
- プリント指定を変更せずにプリント指定を終了する場合は、MENU ボタンを押します。

「プリント指定」で日付を写し込む場合のご注意

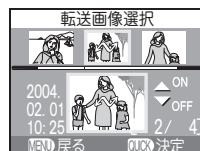
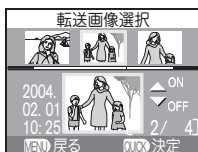
- 撮影日時を印字したい場合には、必ず撮影前にカメラの日時設定が正しく設定されていることをご確認ください（P.22）。
- DPOF の日付機能に対応していないプリンタでプリントする場合は、この機能を使用することができません。
- プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの「**日時設定**」（P.144）を変更してもプリントされる日付には反映されません。

プリント指定のリセット

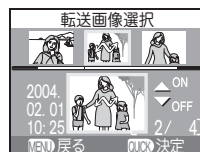
プリント指定をセットした後、再度「プリント画像選択」画面を表示すると、「**日付**」と「**撮影情報**」の設定はリセットされますので、再度設定を行ってください。

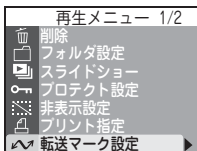
転送マーク設定

画像の転送設定を行います。転送設定された画像は、転送マーク付きの画像として、PictureProject を使用した時に一括してパソコンに転送することができます。

設定	内容
選択画像転送	転送する画像を選択します。
全画像転送	全画像の転送を設定します。
転送設定解除	全画像の転送設定を解除します。

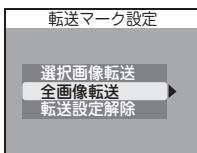
選択画像転送：

「**選択画像転送**」を選択してマルチセレクターの ▷ を押すと、「転送画像選択」画面に切り換わります。転送する画像の選択は以下の手順で行います。

マルチセレクターの ◁ または ▷ を押して、転送したい画像を選択します。

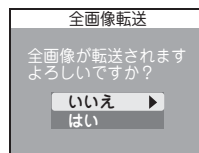
- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- 転送マーク設定をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

△ または ▽ を押して転送設定を行います。

- 転送設定された画像には (転送マーク) が表示されます。
- 手順の 1 と 2 を繰り返し、転送したいすべての画像を転送設定します。
- 転送設定を解除する場合は、(転送マーク) が表示された画像上で △ または ▽ を押して (転送マーク) を消してください。

QUICK ボタンを押すと設定完了です。画像の転送設定状態を変更しないで転送マーク設定を終了する場合は、MENU ボタンを押してください。

全画像転送：

全画像の転送を設定する場合は、次のように行います。

マルチセレクターの △ または ▽ を押して「**全画像転送**」を選択します。

2

全画像転送
全画像が転送されます
よろしいですか？
いいえ
はい

▷ を押すと、転送確認画面が表示されます。△ または ▽ を押して「**はい**」を選択し、▷ を押すと、全画像転送が設定されます。

- 「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、全画像転送を設定せずに再生メニュー画面に戻ります。

転送設定解除：

「**転送設定解除**」を選択してマルチセレクターの ▷ を押すと、すべての画像から （転送マーク）が削除され、転送設定が解除されます。

転送マーク設定時のご注意

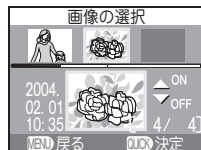
- COOLPIX8700 以外のニコン製デジタルカメラで転送マーク設定したCFカードをCOOLPIX8700 に挿入しても転送マーク設定は認識されません。COOLPIX8700 で再度転送画像を設定してください。
- 「全画像転送」で一度に転送設定できる画像は 999 コマまでです。1000 コマ以上の画像を一括転送する場合は、PictureProject をご使用ください。

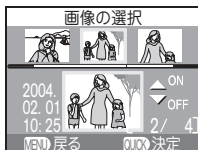
別フォルダに移動

フォルダに保存されている画像ファイルを、同じ CF カード内にある別のフォルダに移動します。

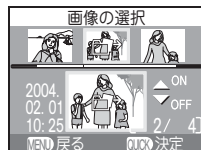
1

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、移動したい画像が保存されているフォルダを選択します。

2

▷ を押すと、画像の選択画面が表示されます。

3

◁ または ▷ を押して、別フォルダに移動したい画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- 移動設定をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

4

△ または ▽ を押して移動設定を行います。

- 移動設定された画像には （移動アイコン）が表示されます。
- 手順の 3 と 4 を繰り返し、移動したいすべての画像を移動設定します。
- 移動設定を解除する場合は、（移動アイコン）が表示された画像上で △ または ▽ を押して （移動アイコン）を消してください。

再生メニューの表示方法：P.122

QUICK ボタンを押すと、移動先フォルダの一覧が表示されます。

△ または ▽ を押して、移動先のフォルダを選択します。

▷ を押すと、ファイル移動確認画面が表示されます。△ または ▽ を押して「**はい**」を選択し、▷ を押すと、ファイルが指定されたフォルダに移動されます。

- 「**いいえ**」を選択して ▷ を押すと、ファイルが移動されずに再生メニューに戻ります。

ファイル移動時のご注意

ファイルを別フォルダに移動すると、移動したファイルの info.txt 情報（P.157）は失われます。

移動後のファイル名について

別のフォルダに移動された画像ファイル名の番号部分は、移動先のフォルダにある最大の番号に 1 を加えた番号になります。先頭文字（DSCN、RSCN、SSCN）や拡張子（.NEF、.TIF、.JPG、.MOV）は変わりません。

ファイル移動ができないフォルダやファイルについて

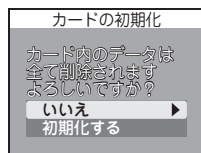
次のフォルダは、ファイルの移動先として指定することができません。

- UH 連写で作成された、「N_」で始まる名称のフォルダ
- インターバル撮影で作成された「INTVL」フォルダ
- シーンモードのパノラマアシストで作成された、「P_」で始まる名称のフォルダ

また、次のファイルは別のフォルダに移動することができません。

- UH 連写で作成された、「N_」で始まる名称のフォルダに記録されている画像
- インターバル撮影で作成された「INTVL」フォルダに記録されている画像
- シーンモードのパノラマアシストで作成された、「P_」で始まる名称のフォルダに記録されている画像

カードの初期化

CF カードの初期化（フォーマット）を行います。内容については、撮影メニューの「カードの初期化」（P.121）をご覧ください。

スモールピクチャー

使用目的に合わせて、スモールピクチャーの画像サイズを、3 種類の画像サイズ（**640 × 480**、**320 × 240**、**160 × 120**）から選択します。内容については、「スモールピクチャー」（P.75）をご覧ください。

セットアップメニュー

セットアップメニューには次の項目があります。

セットアップ 1/3
表示言語/LANGUAGE
日時設定
フォルダ設定
モニタ設定
ON 連番モード
ON 操作音
1m オートパワーオフ

セットアップ 1/3	
表示言語 /LANGUAGE	P.143
日時設定	P.144 ~ 146
フォルダ設定	P.147
モニタ設定	P.148 ~ 151
連番モード	P.152
操作音	P.153
オートパワーオフ	P.154

セットアップ 2/3
カードの初期化
FUNC ボタン設定
OFF 撮影確認LED
OFF info.txt
USB
NTSC ビデオ出力
C 設定クリア

セットアップ 2/3	
カードの初期化	P.121、154
ボタン設定	P.155 ~ 156
撮影確認 LED	P.157
info.txt	P.157
USB	P.158
ビデオ出力	P.158
設定クリア	P.158

セットアップ 3/3
DATE デート写し込み
Ver. バージョン情報

セットアップ 3/3	
デート写し込み	P.159
バージョン情報	P.159

セットアップメニューの表示方法

セットアップメニュー画面を表示する方法は、各撮影モード、再生モードによって異なります。

（オート撮影）モードの場合：

1

MENU ボタンを押すと、「撮影メニュー（AUTO）」画面が表示されます。

2

△ または ▽ を押して、「**セットアップ**」を選択します。▷ を押すとセットアップメニューが表示されます。

シーンモードの場合：

1

MENU ボタンを押すと、シーンモードメニューが表示されます。

2

マルチセレクターで、「**セットアップ**」を選択します。QUICK ボタンを押すとセットアップメニューが表示されます。

カスタム 1・2 の場合：

1

MENU ボタンを押すと、「マイメニュー」画面が表示されます。

2

△ または ▽ を押して、「**セットアップ**」を選択します。▷ を押すとセットアップメニューが表示されます。

▶（再生モード）の場合：

1

MENU ボタンを押すと、「再生メニュー」画面が表示されます。

2

△ または ▽ を押して、再生メニューの２ページ目にある「**セットアップ**」を選択します。

3

▷ を押すとセットアップメニューが表示されます。

表示言語 /LANGUAGE

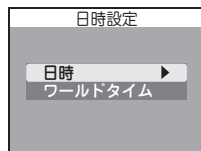
メニュー画面やメッセージ画面に表示する言語を切り換えることができます。

表示言語/LANGUAGE	
Deutsch	Nederlands
English	Svenska
Español	日本語
Français	中文(简体)
Italiano	한글

MENU 戻る　QUICK 決定

「表示言語 /LANGUAGE」では、「**Deutsch**（ドイツ語）」、「**English**（英語）」、「**Español**（スペイン語）」、「**Français**（フランス語）」、「**Italiano**（イタリア語）」、「**Nederlands**（オランダ語）」、「**Svenska**（スウェーデン語）」、「**日本語**」、「**中文(简体)**(中国語)」、「**한글**(韓国語)」の 10 言語から選択できます。内容については「言語と日時を設定します」(P.22) をご覧ください。

日時設定

カメラに内蔵された時計のタイムゾーンと日時をセットします。また、自宅のタイムゾーンを訪問先のタイムゾーンの日時に変更することもできます。

設　定	内　容
日時	日付と時刻を設定します。詳しくは「言語と日時を設定します」をご覧ください(P.22)。
ワールドタイム	自宅および訪問先のタイムゾーンが選択できます。自宅(🏠)または訪問先(✈)のいずれか選択されているタイムゾーンの日時が撮影画像に記録されます。時差のある地域でカメラを使用する時に便利です。 ワールドタイム / 2004. 02. 01 11:00 / Tokyo, Seoul / ゾーン選択 / □ 夏時間 / London, Casablanca / ゾーン選択 / □ 夏時間 自宅および訪問先の選択アイコン(◉ の方が選択されています)

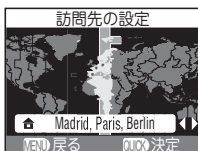
ワールドタイムの設定方法

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、自宅(🏠)または訪問先(✈)の「**ゾーン選択**」を選択します。

- 夏時間を設定する場合は、「**夏時間**」を選択し、▷ を押して □ を ☑ に切り換えた後で「**ゾーン選択**」を選択します。

2

▷ を押すと、世界地図画面が表示されます。

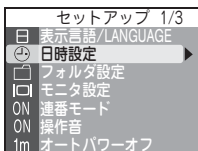
3

◁ または ▷ を押して、タイムゾーンを選択します。

- ワールドタイム設定をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

4

QUICK ボタンを押すと、タイムゾーンが設定され、「ワールドタイム」画面に戻ります。「ワールドタイム」画面には、設定した時刻が表示されます。

- 自宅（🏠）を選択した場合は、選択したタイムゾーンの時刻に設定されます。
- 訪問先（✈）を選択した場合は、自宅との時差を自動的に算出して、選択した都市の日付と時刻に設定されます。
- 「夏時間」のチェックボックスがオン ☑ の場合は、時刻が 1 時間進みます。

5

▷ を押すと、ワールドタイム設定を終了して、セットアップメニューに戻ります。

ワールドタイムの設定についてのご注意

- 「**ワールドタイム**」は、「**日時**」で日付と時刻が設定されていないと選択できません。
- 時差は 1 時間単位で自動的に設定されます。時計を正確に合わせる場合は、「**日時**」（P.22）で設定してください。
- 自宅と訪問先を同一のタイムゾーンに設定することはできません（P.146）。

タイムゾーンを選択すると、時差を自動的に算出して、時計を合わせます。

タイムゾーン	時差	タイムゾーン	時差
Tokyo, Seoul	0	EST (EDT): New York Toronto, Lima	–14
Beijing, Hong Kong, Singapore	–1		
Bangkok, Jakarta	–2	CST (CDT): Chicago Houston, Mexico City	–15
Colombo, Dacca	–3		
Islamabad, Karachi	–4	MST (MDT): Denver Phoenix, La Paz	–16
Abu Dhabi, Dubai	–5		
Moscow, Nairobi	–6	PST (PDT): Los Angeles Seattle, Vancouver	–17
Athens, Helsinki	–7		
Madrid, Paris, Berlin	–8	Alaska, Anchorage	–18
London, Casablanca	–9	Hawaii, Tahiti	–19
Azores	–10	Midway, Samoa	–20
Fernando de Noronha	–11	Auckland, Fiji	+3
Buenos Aires, São Pauro	–12	New Caledonia	+2
Caracas, Manaus	–13	Sydney, Guam	+1

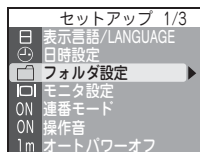
セットアップメニューの表示方法：P.142

フォルダ設定

撮影した画像や動画を保存するフォルダの新規作成、名称変更、削除、保存先フォルダの選択などを行うことができます。「フォルダ操作」の内容については再生メニューの「フォルダ設定」(P.125) をご覧ください。

画像を保存するフォルダの選択：

「フォルダ設定」画面で、撮影時に画像を保存するフォルダの選択を行います。

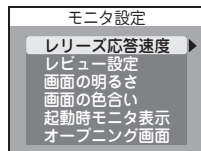
マルチセレクターの △ または ▽ を押して、フォルダを選択します。

▷ を押すと選択が実行され、セットアップメニュー画面に戻ります。

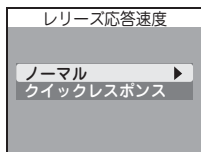
- 「フォルダ設定」画面で別のフォルダが選択されるまで、このフォルダにこれから撮影される画像が保存されます。

UH 連写、インターバル撮影、パノラマアシストについて

「**UH 連写**」(P.96) 設定時に撮影される画像は、カメラが自動的に作成する「N _」で始まる専用フォルダに保存されます。「**インターバル撮影**」(P.96) 設定時には、撮影を行うたびにカメラが自動的に「INTVL」フォルダを作成し、撮影された画像はそのフォルダに保存されます。また、シーンモードのパノラマアシスト (P.38) 設定時に撮影される一連の画像は、カメラが自動的に作成する「P_」で始まる専用フォルダに保存されます。これらのフォルダは、「**フォルダ設定**」で再生用に選択したり、フォルダごと削除することはできますが、新しい画像を記録することはできません。

モニタ設定

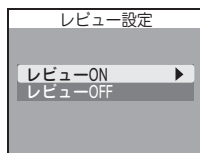
レリーズ応答速度、レビュー表示の設定、画面の明るさ、画面の色合い、起動時モニタ表示、オープニング画面をセットできます。

レリーズ応答速度：

シャッターボタンを押してから、実際に画像が撮影されるまでに生じる若干の時間差を調整します。設定は、撮影モードを「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットした時に、連写モードが「**動画**」以外の場合のみ有効です。

設　定	内　容
ノーマル	通常の撮影を行います。
クイックレスポンス※1	シャッターボタンを押してから、実際に画像が撮影されるまでに生じる時間差を最小限に抑えます。また、撮影後、液晶モニタにプレビュー画像（撮影後表示される画面）が表示されている間に撮影を行う場合※2、フォーカス、露出、ホワイトバランスは、直前に撮影した条件で固定されるため、「**ノーマル**」よりもスピーディに次の撮影を行うことができます。

※1 液晶モニタの画面に横線が入る場合がありますが、撮影する画像に影響はありません。

※2 撮影を優先させるために内蔵スピードライトが発光しないことがあります。また、連写モード（P.96）を「**単写**」に設定した場合、外付けスピードライトも発光しないことがあります。

レビュー設定：

撮影した画像が撮影後に約 1 秒間表示されるレビュー表示について設定します。設定は、撮影モードを「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットした時のみ有効です。

設　定	内　容
レビュー ON	撮影後に撮影画像を約 1 秒間表示します。
レビュー OFF	撮影後に画像を表示しません。

画面の明るさ：

液晶モニタの画面の明るさを調整します。マルチセレクターの △ または ▽ を押して画面右の矢印を上下させ、明るさを調節します（△ を押すと画面が明るく、▽ を押すと画面が暗くなります）。調整された明るさは、画面ですぐに確認できます。

◁ を押すと、変更された内容はキャンセルされます。▷ を押すと、変更内容が設定され、セットアップメニューに戻ります。

画面の色合い：

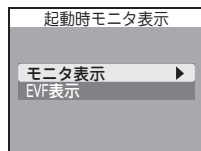
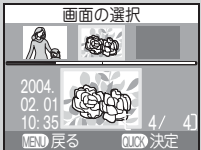
液晶モニタの画面の色合いを調整します。マルチセレクターの △ または ▽ を押して画面右の矢印を上下させ、色合いを調節します。調整された色合いは、画面ですぐに確認できます。

◁ を押すと、変更された内容はキャンセルされます。▷ を押すと、変更内容が設定され、セットアップメニューに戻ります。

「画面の明るさ」と「画面の色合い」についてのご注意

- カメラがテレビやビデオに接続されている場合（P.78）、「**画面の明るさ**」と「**画面の色合い**」を設定することはできません。
- カメラで調整した「**画面の明るさ**」と「**画面の色合い**」はテレビ画面には反映されません。

起動時モニタ表示：

液晶モニタを点灯するか、電子ビューファインダーを点灯するかを設定します。設定は、撮影モードを「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットした時のみ有効です。

設　定	内　容
モニタ表示	電源を ON にすると液晶モニタが自動的に点灯します。ただし、液晶モニタを内側にしてカメラ本体に収納している場合には電子ビューファインダーが自動的に点灯します。
EVF 表示	電源を ON にする、または再生モードから撮影モードに切り換えると、電子ビューファインダーが自動的に点灯します。

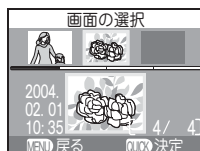
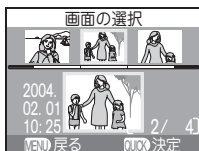
起動時モニタ表示の設定内容にかかわらず、撮影モード時には、液晶モニタの点灯・消灯は、◙ ボタンを押すことによって、いつでも切り換えることができます。

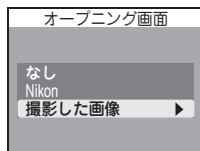
オープニング画面：

カメラの電源を ON にした時に液晶モニタ（または電子ビューファインダー）に表示されるオープニング画面を、「**なし**」、「**Nikon**」、「**撮影した画像**」から選択します。

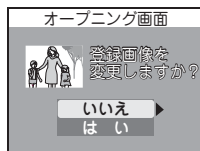
設　定	内　容
なし	電源を ON にしても、オープニング画面は表示されません。
Nikon	電源を ON にした時、右のようなオープニング画面が表示されます。
撮影した画像	CF カードに記録されている、COOLPIX8700 で撮影した画像から、オープニング画面を選択することができます（P.151）。

オープニング画面の設定方法

マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「**撮影した画像**」を選択します。

▷ を押すと、画像選択画面が表示されます。

◁ または ▷ を押して、オープニング画面に使用する画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- 画像を選択せずに終了する場合は、MENU ボタンを押します。

QUICK ボタンを押すと、選択した画像がオープニング画面に設定されます。

「撮影した画像」でオープニング画面を選択した場合

オープニング画面メニューの「**撮影した画像**」ですでに画像を登録している場合、画像を変更するかどうかを確認する画面が表示されます。変更する場合は「**はい**」を選択し、手順 2、3 に従って再度設定してください。変更しない場合は「**いいえ**」を選択してください。

オープニング画面に設定した画像について

「**設定クリア**」（P.158）で「**クリアする**」を選択すると、オープニング画面は「**Nikon**」（初期設定）に戻りますが、「**撮影した画像**」でオープニング画面に登録している画像はリセットされません。

連番モード

COOLPIX8700 で撮影した画像ファイルや動画ファイルには、いずれも DSCN と 4 桁の番号が付けられます（例：DSCN0001.JPG ～ DSCN9999.JPG）。これらのファイルが保存されるフォルダは 3 桁のフォルダ番号が付けられます（例：100NIKON）。

ファイル名とフォルダ名については、「撮影の基本ステップ」の「ファイル名とフォルダ名」（P.32）をご覧ください。

設　定	内　容
ON	CF カードを交換したり、記録フォルダを変更した場合にも、画像ファイルには撮影順に連続した番号が付けられます。このため、同じ名前のファイルが作成されず、画像をパソコンに転送して管理する場合などに便利です。CF カードを初期化（フォーマット）しても、連番はリセットされずに継続して付けられます。
OFF	画像ファイルの番号は、フォルダごとに撮影順に 0001 から 9999 まで自動的に付けられます。複数の CF カード、フォルダを使うと、例えば DSCN0001.JPG という同名のファイルが複数存在する状態になります。CF カードを初期化すると、連番はリセットされ、0001 から付けられます。
リセット	連番モードをいったん解除し、次回の撮影以降再び 0001 から連番を付けます。すでに画像がある場合は、CF カード内にある一番大きいファイル番号の次の番号から連番を付けます。

操作音

カメラの状態を知らせる操作音の ON ／ OFF を設定することができます。

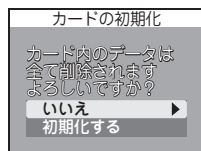
設　定	内　容
ON	次の場合にはカメラの操作音が 1 回鳴ります。 • カメラの電源を ON にした時 • 撮影モードでカメラが撮影可能な状態になった時 • マニュアルフォーカスをセットした時 • 「**コンバータ**」メニューで「**OFF**」以外に設定した時（コンバータモードが設定された時） • 画像が削除された時 • CF カードが初期化（フォーマット）された時 • 再生メニューでプロテクト設定、非表示設定がセットされた時 • 「**操作音**」が「**ON**」に設定された時 次の場合にはカメラの操作音が 2 回鳴ります。 • シャッターボタンを深く押し込んで、シャッターがきれた時※ 次の場合にはカメラの操作音が 4 回鳴ります。 • CF カードの記憶容量が不足している、または撮影モード時に CF カードが装着されていない状態でシャッターボタンが押された時 • 電池の残量がない状態でシャッターボタンが押された時
OFF	操作音は鳴りません。動画、音声メモに記録された音声は再生できます。

※「**モニタ設定**：**レリーズ応答速度**」を「**クイックレスポンス**」（P.148）に設定している場合、シャッターがきれた時の操作音は鳴りません。

オートパワーオフ

カメラの操作が何も行われない場合、オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を「**30 秒**」、「**1 分**」（初期設定）、「**5 分**」、「**30 分**」のいずれかに設定できます。
オートパワーオフ状態では、カメラの各機能が停止して、実質的に電源 OFF 状態になり、電力がほとんど消費されません。シャッターボタンを半押しするか、(ボタン)、MENU、QUICK、DISP のいずれかのボタンを押すと、オートパワーオフ状態は解除されます。
内容については、「撮影の基本ステップ」の「2. カメラを構え、構図を決めます」（P.26）をご覧ください。

カードの初期化

CF カードの初期化（フォーマット）を行います。内容については、撮影メニューの「カードの初期化」（P.121）をご覧ください。

2CR5 リチウム電池使用時のご注意

2CR5 リチウム電池を使用して、電源が ON のまま長時間カメラを放置しておくと、カメラ本体が熱くなる場合があります。2CR5 リチウム電池ご使用の場合は、「**オートパワーオフ**」を「**5 分**」かそれより短い時間に設定しておくことをおすすめします。

AC アダプタ使用時のご注意

AC アダプタ EH-53（別売）ご使用時は、オートパワーオフの設定内容にかかわらずオートパワーオフ機能の作動時間は 30 分に固定されます。ただし、AV ケーブルが接続されている場合、液晶モニタは消灯しますが、オートパワーオフは機能しません。

ボタン設定

FUNC ボタンに別の機能を割り当てたり、AE/AF-L ボタンの設定を変更できます。

設定	内容
FUNC	FUNC ボタンに別の機能を割り当てます。
AE-L、AF-L	AE/AF-L ボタンの設定を変更します。

FUNC：

FUNC ボタンに機能を割り当てることにより、撮影モード、(フォーカスモード)、(スピードライトモード)、ホワイトバランス、画質・画像サイズ、連写モードの設定を、メニュー画面を表示せずにセットできます。

設　定	内　容
撮影モード	FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより、撮影モード（「**オート**」、「**シーン**」、「**カスタム 1**」、「**カスタム 2**」）が切り換わります（P.25）。
(フォーカスモード)	FUNC ボタンを押すごとに、（P.47）が切り換わります。また、FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより、マニュアルフォーカス（P.59）の設定が行えます。
(スピードライトモード)	FUNC ボタンを押すと、（P.44）をセットすることができます。また、FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより、撮像感度（P.57）の設定が行えます。
ホワイトバランス	撮影モードを「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットして FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより、ホワイトバランスをセットすることができます（P.92）。 • FUNC ボタンでは、ホワイトバランスの微調整を行うことはできません。 • FUNC ボタンを押し続けると、プリセットホワイトバランス値を取得します。
画質・画像サイズ	FUNC ボタンを押すごとに、画質モードが切り換わります（P.40）。 また、FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより、画像サイズをセットすることができます（P.42）。
連写	撮影モードを「**カスタム 1**」または「**カスタム 2**」にセットして FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより、連写モードをセットすることができます（P.96）。

AE-L、AF-L：

初期設定では、LOCK ボタンを押すと露出（AE）とフォーカス（AF）の両方がロックされます。「**AE-L、AF-L**」では露出（AE）とフォーカス（AF）いずれか一方のみをロックするようにセットできます。

設　定	内　容
AE-L & AF-L	LOCK ボタンを押すと露出とフォーカスの両方がロックされます。
AE-L	LOCK ボタンを押すと露出のみがロックされます。フォーカスはシャッターボタンを半押しするとロックされます。
AF-L	LOCK ボタンを押すとフォーカスのみがロックされます。露出はシャッターボタンを半押しするとロックされます。

撮影確認 LED

セルフタイマーランプを撮影完了時の確認用ランプとして点灯するように設定できます。

設　定	内　容
ON	撮影が完了した時に、セルフタイマーランプが点灯してお知らせします。連写モードが「**マルチ連写**」に設定されている場合は連続撮影が終了した時に点灯します。ただし、スピードライトが発光した場合や、連写モードが「**UH 連写**」に設定されている場合は、撮影完了時にセルフタイマーランプは点灯しません。
OFF	セルフタイマーランプは撮影完了時に点灯しません。

info.txt

「**info.txt**」を「**ON**」に設定すると、撮影時の各種データがテキストファイル（info.txt）として画像記録フォルダに保存されます。保存された info.txt はパソコン上で、Notepad（メモ帳）や SimpleText などで開くことができます。「**info.txt**」を「**OFF**」に設定した場合（初期設定では「**OFF**」になっています）、撮影時のデータがテキストファイルとして保存されることはなくなりますが、画像情報表示画面（P.70）で見ることができます。

「**info.txt**」を「**ON**」に設定すると下記のような画像ごとの撮影データがテキストファイルとして保存されます。

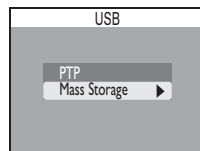
- 画像ファイル名／種類
- カメラ機種名／ファームウェアバージョン
- 測光方式
- 露出モード
- シャッタースピード
- 絞り値
- 露出補正値
- 焦点距離と電子ズーム
- 階調補正モード
- 感度
- ホワイトバランス
- 輪郭強調
- 撮影日時
- 画像サイズと画質モード
- 彩度調整
- フォーカスエリア

画像が撮影された順に一覧表示され、画像と画像の間は一行分空白となります。

info.txt の転送について

info.txt は PictureProject ではパソコンに転送することはできません。info.txt は、USB 通信方式（P.158）を「**Mass Storage**」に設定して、直接パソコンにコピーしてください。

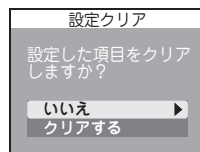
USB

パソコンとの USB 通信方式を選択します。内容については「パソコンで再生する」（P.79）をご覧ください。

ビデオ出力

ビデオの出力方式を NTSC または PAL のいずれかに設定できます。

設　定	内　容
NTSC	NTSC 方式に設定します。通常、日本国内で使われている方式です。
PAL	PAL 方式に設定します。通常、欧州で使われている方式です。

設定クリア

カメラの各項目の設定をご購入時の状態にリセットします。

設　定	内　容
いいえ	設定をリセットしません。
クリアする	各項目の設定をご購入時の状態にリセットします。ただし、撮影モード、露出モード、日時設定、ビデオ出力、表示言語、USB はリセットされません。

デート写し込み

撮影画像に直接日付や時刻を写し込みます。

設 定	内 容
OFF	日付、時刻のどちらも写し込みません。
年、月、日	画像上に日付のみを写し込みます。
年、月、日、時刻	画像上に日付と時刻を写し込みます。

バージョン情報

カメラのファームウェアバージョン情報を表示します。マルチセレクターの ◁ を押すと、セットアップメニューに戻ります。

「デート写し込み」について

- 撮影済みの画像に後から日付を写し込むことはできません。
- 一度写し込まれた日付を画像から消すことはできません。
- 画像サイズ（P.42）が「TV 640 × 480」、「PC 1024 × 768」、または「1M 1280 × 960」の場合、写し込まれた日付データが読みづらい場合があります。
- 「**日時設定**」（P.144）で日付を設定していない場合、「**デート写し込み**」は「**OFF**」以外選択できません。
- 年、月、日の表示順序は、「**日時設定**」で選択した表示順序と同じになります。
- 再生メニューの「**プリント指定**」（P.134）の設定にかかわらず、写し込まれた日付や時刻はプリントされます。DPOF の日付機能に対応していないプリンタでもプリントされます。
- シーンモードが（パノラマアシスト）の場合（P.38）、画質モードが「**RAW**」の場合（P.40）、連写モードが「**連写 H**」、「**サーキュラー連写**」、「**UH 連写**」（P.96）、または「**動画**」（P.61）の場合、BSS が「**AE-BSS**」（P.100）の場合には、「**デート写し込み**」は使用できません。
- 「**デート写し込み**」を「**年、月、日**」または「**年、月、日、時刻**」に設定すると、撮影画面にデート写し込みのアイコンが表示されます。

別売アクセサリー

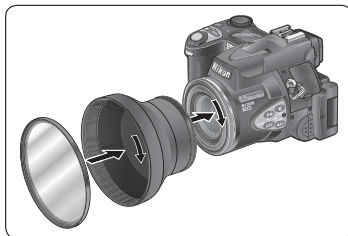
COOLPIX8700 には次の別売アクセサリーを使用できます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

リチャージャブルバッテリー	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL1
バッテリーチャージャー	バッテリーチャージャー MH-53C(車載用充電器)
AC アダプタ	AC アダプタ EH-53
バッテリーパック	バッテリーパック MB-E5700
ソフトケース	ソフトケース CS-CP11
PC カードアダプタ	PC カードアダプタ EC-AD1
コンバータレンズ (アダプタリングを使用します)	• フィッシュアイコンバータ FC-E9（0.2 倍） • ワイドコンバータ WC-E80（0.8 倍） • テレコンバータ TC-E15ED（1.5 倍）
アダプタリング	• アダプタリング UR-E8：(WC-E80、TC-E15ED 用) • アダプタリング UR-E12：(FC-E9 用)
リモートコード	リモートコード MC-EU1
レンズフード	レンズフード HR-E5700 ／ HN-CP11
フィルタ (レンズフードHN-CP11 に装着します)	ニコンフィルタ 77mm
スピードライト／ スピードライトアクセサリー	ニコンスピードライト SB-800・600・50DX・30・22s 調光コード SC-29・SC-28

他社製のスピードライトについてのご注意

他社製スピードライト（カメラのアクセサリーシューにマイナス電圧や 250V 以上の電圧がかかるものや小さな接点が触れてしまうもの）を使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびスピードライトのシンクロ回路を破損することがあります。

レンズフードについて

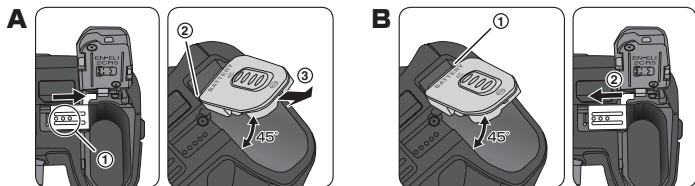
- レンズフードを取り付けたまま、内蔵スピードライトまたは外付けスピードライトを使用すると、「ケラレ」を生じる場合がありますので、スピードライト撮影を行う場合は、必ず取り外してください。
- レンズフード HN-CP11 には、77mm 径のフィルターを取り付けることができます。
- ご使用の場合は、カメラのレンズキャップを外してから下図のように取り付けます。

フィルターとレンズフードは、図の矢印の方向に回して取り付けてください。

- マクロモード撮影時にはフィルタに付着しているゴミが写り込む場合があります。

バッテリーパック MB-E5700 について

COOLPIX8700 は、単 3 形電池（アルカリ、リチウム、ニカド、ニッケル水素電池、各 6 本）を使用できる別売のバッテリーパック MB-E5700 を装着することができます。バッテリーパック MB-E5700 は、カメラ本体のバッテリーカバーとバッテリーパック接点カバーを取り外して装着します。
バッテリーカバーは、バッテリーパック接点カバーの A-① 部分を押しながらずらして外した後、A-② 側から斜め上方向（約 45 度）に引っ張る（A-③）と無理なく取り外すことができます。装着する場合は、バッテリーカバーを同じ角度で B-① 側から取り付けた後、バッテリーパック接点カバーを取り付けてください。(B-②)。

A

B

- バッテリーパック接点カバーを装着した状態でバッテリーカバーを無理に外さないでください。破損の原因になります。
- 詳しくはバッテリーパック MB-E5700 の使用説明書をご覧ください。

使用可能な CF カード

ニコン CF カード EC-CF シリーズの他に、次の他社製 CF カードおよびマイクロドライブが使用可能です。

SanDisk 社製 CF カード：

コンパクトフラッシュシリーズ（SDCFB）
32MB、64MB、128MB、256MB、512MB

Ultra コンパクトフラッシュシリーズ（SDCFH）
128MB、256MB、512MB

Ultra II コンパクトフラッシュシリーズ（SDCFH）
256MB

LEXAR MEDIA 社製 CF カード：

4X USB シリーズ	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB、512MB
8X USB シリーズ	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB、512MB
12X USB シリーズ	64MB、128MB、256MB、512MB
16X USB シリーズ	64MB、128MB、256MB、512MB
24X USB シリーズ	64MB、128MB、256MB、512MB
24X WA USB シリーズ	64MB、128MB、256MB、512MB

ルネサステクノロジ（日立）社製：

HB28BxxxC8x シリーズ　128MB、256MB、512MB

マイクロドライブ：

DSCM-11000　1GB

上記 CF カードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、CF カードメーカーにご相談ください。その他のメーカー製の CF カードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。

CF カード使用上の注意

- カメラの使用直後には CF カードが熱くなっている場合がありますので、ご注意ください。
- CF カードをはじめてご使用するときは、必ず初期化（フォーマット）してください。
- CF カードの初期化中は、絶対にカメラからカードを取り出さないでください。カードが使用できなくなることがあります。
- CF カードへ記録・削除が行われているときや、パソコンとの通信時には、以下のことは行わないでください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - ・カードの着脱をする・カメラの電源を OFF にする
  - ・バッテリーを取り出す・AC アダプタを抜く
- 端子部に手や金属を触れないでください。
- CF カードに無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ／ファインダー	レンズやファインダーのガラス部分をクリーニングする時は、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますので注意してください。
液晶モニタ	ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますので注意してください。
カメラ本体	ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

保管について

長期間カメラを使用しない時は、必ずバッテリーを取り出しておいてください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源が OFF になっていることを確認してください。

カメラを保管する場合は、下記のような場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50℃以上、または−10℃以下の場所
- 湿度が 60%を超える場所

カメラの取り扱い上のご注意

付録

●強いショックを与えないでください
カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因となります。また、レンズに触れたり、レンズおよびカバーに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください
カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●液晶モニタを無理に回さないでください
液晶モニタは回転範囲内でゆっくりと回してください。無理な力がかかると、カメラと接続しているヒンジ部の故障の原因となります。

●急激な温度変化を与えないでください
極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください
強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください
太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は CCD の褪色・焼きつきを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

●保管する際には
カメラを長期間使用しない時は、バッテリーを必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れカメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーや AC アダプタを取り外す時は必ず電源スイッチが OFF の状態で行ってください
電源スイッチが ON の状態で、バッテリーの取り出し、AC アダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中の前記操作には、充分注意してください。

●液晶モニタについて
- 液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。あらかじめご了承ください。また記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
- 液晶モニタ表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどい時は、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

●スミアについて
明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。また撮影された画像には影響はありません。

●AF 補助光について
AF 補助光（P.12）に使用されている LED（発光ダイオード）は以下の IEC 規格に準拠しています。

クラス1 LED製品

IEC60825-1 Edition 1.2-2001

バッテリーの取り扱いについて

●バッテリー使用上のご注意

バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品を腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。

- バッテリーを電源として長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがありますので注意してください。
- 使用期限の過ぎたバッテリーは使用しないでください。

●撮影の前にリチャージャブルバッテリーをあらかじめ充電する

撮影の際は、リチャージャブルバッテリーの充電を行ってください。付属のリチャージャブルバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんのでご注意ください。

●予備のバッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはリチャージャブルバッテリー、リチウム電池の入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は充分に充電されたリチャージャブルバッテリー、または新しいリチウム電池を使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

●バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、バッテリーを入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●バッテリーの残量について

電池残量がなくなったリチャージャブルバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチの ON ／ OFF を繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。電池残量がなくなったリチャージャブルバッテリーは、充電してご使用ください。

●リチャージャブルバッテリー EN-EL1 のリサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったバッテリーは、再利用しますので廃棄しないでリサイクルにご協力ください。＋端子にテープなどを貼り付けて絶縁させてから、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

●小型充電式電池のリサイクル

Li-ion

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

付録

警告メッセージについて

液晶モニタに下記の警告メッセージおよびその他の警告が表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処法をご確認ください。

表 示	原 因	対処法	参照
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	P.22
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	ワールドタイムの設定で、自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しようとしました。	自宅と訪問先のタイムゾーンを再度確認してください。自宅と訪問先のタイムゾーンが同じであれば設定する必要はありません。	P.144
電池残量がありません	バッテリーが消耗しています。	カメラの電源をOFFにしてバッテリーを交換してください。	P.18
カードが入っていません	カメラがCFカードを認識できません。	カメラの電源をOFFにしてCFカードが正しく挿入されていることを確認してください。	P.20
このカードは使用できません **カードに異常があります**	CFカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのCFカードをご使用ください。 • 端子部が汚れていないかどうか確認してください。 • カメラの電源を入れ直してみてください。	P.162 – P.17
初期化されていません いいえ ▷ 初期化する	CFカードがCOOLPIX8700用に初期化されていません。	マルチセレクターの △ を押して、「**初期化する**」を選択し、▷ を押してカードを初期化するか、カメラの電源をOFFにして適切に初期化されたカードと交換してください。	P.20 P.121

表　示	原　因	対処法	参照
メモリ残量がありません	撮影中： 画像を記録する空き容量がありません。	• 画質モード、または画像サイズを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 新しいカードを挿入してください。	P.40 P.123 P.20
	画像をパソコンに転送中： 画像を転送するための通信情報を書き込む空き容量がありません。	カメラとパソコンの接続を外し、不要な画像を削除して再度転送してください。	P.81 P.123
画像を登録できません	• カードのフォーマットが異なります。 • 画像の保存中にエラーが発生しました。 • フォルダ、またはファイル番号のオーバーフローです。	• CF カードを初期化してください。 • 新しいカードを挿入してください。	P.121 P.20
	トリミングできない、またはスモールピクチャーを作成できない画像です。		P.73 P.76
撮影画像がありません	• CF カードに撮影された画像が入っていません。 • レビュー再生または再生モード時、選択されているフォルダに画像が入っていません。	画像を再生するために、「**フォルダ設定**」で画像が入ったフォルダを選択してください。	P.125
表示可能な画像がありません	選択されているフォルダ内の画像がすべて非表示設定されています。	他のフォルダを選択するか、「**非表示設定**」メニューによりフォルダ内の画像の非表示設定を解除してください。	P.125 P.133
このファイルは表示できません	パソコンまたは他のカメラで作成したファイル（画像）です。	撮影したカメラまたはパソコンで再生してください。	–
このファイルは削除できません	プロテクト設定された画像です。	「**プロテクト設定**」メニューにより画像のプロテクト設定を解除してから画像を削除してください。	P.132

表　示	原　因	対処法	👁
フォルダの削除ができません	フォルダ内に、非表示設定またはプロテクト設定された画像があるか、もしくはニコンデジタルカメラ以外で撮影された画像が入っています。	• 非表示設定またはプロテクト設定された画像がある場合、設定を解除してください。 • ニコンデジタルカメラ以外で撮影した画像がある場合、フォルダの削除はできません。	P.132 P.133 –
スピードライトがポップアップしていません	被写体が暗いと自動的に上がるスピードライトを押さえています。	スピードライトを押さえていないことを確認して、再度シャッターボタンを半押ししてください。	P.27
動画モードではリモートコードは使用できません	連写モードが「**動画**」に設定された状態でリモートコードが装着されました。	カメラからリモートコードを抜いてください。動画撮影時にはリモートコードはご使用できません。	–
このモードではリモートコードは使用できません	連写モードが「**インターバル撮影**」に設定された状態でリモートコードが装着されました。	カメラからリモートコードを抜いてください。インターバル撮影時にはリモートコードはご使用できません。	–
レンズエラー	レンズの作動不良です。	カメラの電源をOFFにしてください。レンズエラー表示が続く場合は、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターまでご連絡ください。	P.17

表　示	原　因	対処法	👁
システムエラー ※表示パネルには Err が表示されます	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	カメラの電源を OFF にして、AC アダプタを使用している場合は AC アダプタを外し、バッテリーを取り出します。再度バッテリーを入れてカメラの電源を ON にします。システムエラー表示が続く場合は本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターまでご連絡ください。	P.17 P.18

故障かな？と思ったら

カメラがうまく作動しない時は、お買い上げの販売店や本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターへお問い合わせいただく前に、下記の症状と原因をご確認ください。

●デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶モニタに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源を OFF にして電池を入れ直し、電源を ON にしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますと電池が熱くなっていることがありますので、取り扱いには充分にご注意ください。AC アダプタのご使用時は、いったんカメラから取り外して再度カメラに取り付け、電源を ON にしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態の時のデータは、失われるおそれがありますが、すでにコンパクトフラッシュカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターにお問い合わせください。

症　状	原　因	参照
電源が入ってもすぐ切れる	• バッテリーの残量が少なくなっています。 • 低温下で使用しています。	P.24 P.165
表示パネルに何も映らない	• カメラの電源が入っていません。 • バッテリーが正しい向きで入っていません。またはバッテリーカバーがしっかりと閉まっていません。 • バッテリーの残量がありません。 • AC アダプタが正しく接続されていません。 • オートパワーオフ機能が作動しています。[モニタ]、MENU、QUICK、DISP のいずれかのボタンを押すか、シャッターボタンを半押ししてください。 • インターバル撮影、または微速度撮影を行っています。	P.17 P.18 P.24 P.19 P.27 P.61 P.96
液晶モニタに何も映らない	• 撮影画像は電子ビューファインダーに表示され、液晶モニタが消灯しています。[モニタ] ボタンを押して液晶モニタを点灯してください。 • レンズキャップが装着されています。レンズキャップを取り外してください。 • USB ケーブルが接続されています。 • AV ケーブルが接続されています。 • リモートコード MC-EU1 が接続され、通信待機状態になっています。 • インターバル撮影、または微速度撮影を行っています。	P.14 － P.79 P.78 － P.61 P.96

症　状	原　因	👁
液晶モニタにカメラの撮影情報、画像情報が表示されない	• 撮影情報、画像情報を非表示にセットしている可能性があります。設定内容の情報が表示されるまで DISP ボタンを押してください。 • スライドショーが行われています。	P.16 P.67 P.130
液晶モニタの画面がよく見えない	• 周囲が明るすぎます。電子ビューファインダーを使用することをおすすめします。 • 液晶モニタが汚れています。 • 液晶モニタの明るさを調整してください。	– P.164 P.149
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	• カメラが再生モードになっています。 • バッテリーの残量がありません。 • 撮影可能コマ数が 0 になっています。CF カードに充分な容量がありません。 • スピードライト表示が点滅しています。スピードライトの充電中です。 • 液晶モニタまたは電子ビューファインダーに「初期化されていません」というメッセージが表示されます。CF カードが COOLPIX8700 用に初期化されていません。 • 液晶モニタまたは電子ビューファインダーに「カードが入っていません」というメッセージが表示されます。CF カードがカメラに挿入されていません。	P.67 P.24 P.24 P.28 P.121 P.20
撮影した画像が暗すぎる（露出アンダー）	• スピードライトが発光禁止になっています。 • スピードライトが指などでさえぎられています。 • 被写体がスピードライトの調光範囲外にあります。 • 露出補正がマイナス側にかかりすぎています。 • 液晶モニタまたは電子ビューファインダーのシャッタースピード表示が点滅しています。シャッタースピードが速すぎます。 • 液晶モニタまたは電子ビューファインダーの絞り値表示が点滅しています。絞りを絞りすぎ（数値が大きすぎ）ています。	P.44 P.26 P.44 P.50 P.53 P.54
撮影した画像が明るすぎる（露出オーバー）	• 露出補正がプラス側にかかりすぎています。 • 液晶モニタまたは電子ビューファインダーのシャッタースピード表示が点滅しています。シャッタースピードが遅すぎます。 • 液晶モニタまたは電子ビューファインダーの絞り値表示が点滅しています。絞りを開きすぎ（数値が小さすぎ）ています。	P.50 P.53 P.54

付録

症　状	原　因	参照
ピントが合わない	• シャッターボタンを半押しした時や LOCK ボタンを押した時に、被写体が AF エリア内に入っていません。	P.109
	• オートフォーカスが苦手な被写体です。AF ロックを使用して撮影してください。	P.30
画像がブレる	• 撮影中にカメラが動きました。高速シャッタースピードにしてください。	P.53
	高速シャッタースピードにすると露出不足のおそれがある場合は：	
	・スピードライトを使用してください。	P.44
	・撮像感度を上げてください。	P.57
	・絞りを開放側（小さい数値）にセットしてください。	P.54
	低速シャッタースピードでブレを最小に抑えるには：	
	・BSS を使用してください。	P.100
	・セルフタイマーを使用してください。	P.48
	・三脚を使用してください。	–
画像にノイズが発生する	• 撮像感度が高感度側にセットされています。	P.57
	• シャッタースピードが遅すぎます。1/4 秒以下の低速シャッタースピードで長時間露出撮影を行う場合は「**ノイズ除去**」を「**ON**」に設定してください。	P.117
内蔵スピードライトが発光しない	• スピードライトが発光禁止になっています。	P.44
	• 次の場合、スピードライトは自動的に発光禁止になりますのでご注意ください：	P.44
	・シーンモードの（風景）、（夕やけ）、（夜景）、（打ち上げ花火）、（クローズアップ）、（モノクロコピー）、（パノラマアシスト）がセットされている場合	P.33
	・フォーカスモードが（遠景モード）にセットされている場合	P.47
	・連写モードが「**単写**」以外に設定されている場合	P.96
	・「**BSS**」が「**OFF**」以外に設定されている場合	P.100
	・「**スピードライト**：**発光切替**」が「**内蔵発光禁止**」に設定されている場合	P.113
	・外付けスピードライトが接続されている状態で、「**スピードライト**：**発光切替**」が「**オート**」に設定されている場合	P.113

症　状	原　因	👁
電子ズームが使用できない	• 画質モードが「**RAW**」、「**HI**」にセットされています。 • 連写モードが「**マルチ連写**」、「**UH 連写**」に設定されています。 • 「**彩度調整**」が「**モノクロ**」に設定されています。 • 「**コンバータ**」が「**ワイドコンバータ**」、「**フィッシュアイ**」に設定されています。 • 「**ズーム**：**電子ズーム**」が「**OFF**」に設定されています。	P.40 P.96 P.103 P.106 P.111
画像が自然な色合いにならない	• ホワイトバランスが光源と合っていません。 • 彩度調整が適切にセットされていません。	P.92 P.103
画像が再生できない	• パソコンや他社製のカメラで画像が上書きされたか、名前が変更されました。	–
スモールピクチャーの作成／トリミングができない	• 表示画像が動画です。スモールピクチャーの作成およびトリミングは静止画に対してのみ可能です。 • 表示画像がスモールピクチャーか、すでにトリミング済みの画像です。 • CF カードの空き容量が少ない場合、スモールピクチャーの作成およびトリミングができない場合があります。画像の削除などを行って、空き容量を確保してから作成してください。	P.61 P.75 P.123
再生時に画像の拡大表示ができない	• 表示画像が動画です。 • 表示画像がスモールピクチャーです。 • 表示画像が 320 × 240 以下にトリミングされています。	P.61 P.75 P.73
テレビに液晶モニタの画面が映らない	• AV ケーブルが正しく接続されていません。 • テレビの入力切換が「ビデオ」になっていません。 • ビデオ出力方式が正しく設定されていません。	P.78 – P.158
カメラをパソコンに接続した時、またはCF カードをカードリーダやカードスロットに挿入した時に、PictureProject が自動的に起動しない	• カメラの電源が入っていません。 • AC アダプタ（別売）が正しく接続されていません。またはバッテリーの残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。またはカードがカードリーダ、PC カードアダプタ、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 PictureProject については PictureProject リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご参照ください。	P.17 P.24 P.79

主な仕様

項目	仕様
型式	ニコンデジタルカメラ E8700
有効画素数	8.0 メガピクセル
撮像素子	2/3 型原色 CCD 総画素数：8.31 メガピクセル
記録画素数（pixel）	• 3264 × 2448（8M） • 3264 × 2176（3：2） • 2592 × 1944（5M） • 2048 × 1536（3M） • 1600 × 1200（2M） • 1280 × 960（1M） • 1024 × 768（PC） • 640 × 480（TV）
レンズ	8 倍ズームニッコールレンズ、 f=8.9 ～ 71.2mm（35mm 判換算 35 ～ 280mm）、 F2.8 ～ F4.2（10 群 14 枚）
電子ズーム	最大 4 倍（35mm 判換算で約 1120mm 相当）
オートフォーカス	コントラスト検出方式 TTL AF、マルチエリアオートフォーカス可能
撮影距離	50cm ～∞（マクロモード・マニュアルフォーカス時はレンズ前約 3cm［ズームのミドルポジション］～∞）
AF エリア	5 ヶ所、自動選択／手動選択切り換え可能
AF 補助光	クラス 1 LED 製品（IEC60825-1 Edition 1.2-2001） 最大出力値 1150 μ W
ファインダー	カラー液晶ビューファインダー、0.44 型高温ポリシリコン TFT 液晶、235,000 画素、視度調節機能付き
倍率	約 0.27 ～約 2.1
視野率	上下左右とも約 97%
視度調節	$-4 \sim +1 \mathrm{m}^{-1}$
液晶モニタ	1.8 型　高透過アドバンスト液晶、134,000 画素、輝度調整・色調調整機能付き
視野率（撮影時）	上下左右とも約 97%（対実画面）

記録形式

項目	内容
記録媒体	コンパクトフラッシュカード（Type I/II）、 マイクロドライブ対応
画像ファイル	Design rule for Camera File system (DCF)、Exif 2.2 準拠、Digital Print Order Format (DPOF) 準拠
ファイル形式	圧縮：JPEG-baseline 準拠 FINE（約 1/4）、NORMAL（約 1/8）、 BASIC（約 1/16） 非圧縮：RAW（NEF）、HI（TIFF-RGB） 動画：QuickTime 音声：WAV

露出

項目	内容
測光方式	4 モード TTL 測光方式 • 256 分割マルチ測光　• スポット測光 • 中央部重点測光　• AF スポット測光
露出制御	プログラムオート（プログラムシフト可能）、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、露出補正（－ 2.0 ～＋ 2.0 EV、1/3 EV ステップ）可能、ブラケティング、AE-BSS
露出連動範囲	広角側：EV － 1.0 ～＋ 19.0 望遠側：EV ＋ 0.5 ～＋ 19.0

Design rule for Camera File system（DCF）について

COOLPIX8700 は、Design rule for Camera File system（DCF）に準拠しています。DCF は、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

Exif※ Version 2.2 について

COOLPIX8700 は、Exif Version2.2 に対応しています。Exif Version 2.2 は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。Exif Version 2.2 対応のプリンターを使用することで、撮影時のカメラ情報を活かし、プリンターが最適なプリント出力を提供することができます。プリンターの使用説明書を読んでご使用ください。

※ Exif = Exchangeable image file format

シャッター	メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
シャッタースピード	2～1/4000秒※（プログラムオート、オート撮影モード）、8～1/4000秒※（シャッタースピード優先オート、絞り優先オート）、10分までの長時間露出および8～1/4000秒※（マニュアル露出）、UH連写時は1/30～1/8000秒※ ※ 絞り値により高速側のシャッタースピードは1/2000秒に制限されます。
絞り	7枚羽根虹彩絞り
制御段数	10（1/3 EVステップ〈但し最小絞りF8まで〉）
撮像感度	ISO50相当、感度切り換え可能（オート、ISO50、ISO100、ISO200、ISO400相当）
セルフタイマー	約10秒、約3秒
内蔵スピードライト	
調光範囲	約0.5～4.1m（広角側）、約0.5～2.7m（望遠側）（ISO AUTO時）
調光方式	自動調光制御
アクセサリーシュー	ホットシュー接点、セーフティロック機構（ロック穴）付き
シンクロ接点	X接点のみ
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
入出力端子	• DC入力端子 • オーディオビデオ（AV）出力端子 • デジタル端子（USB）
電源	• Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1（付属）、6Vリチウム電池2CR5（DL245）（別売） • バッテリーパックMB-E5700（別売）[単3形アルカリ、リチウム、ニカド、ニッケル水素電池各6本使用] • ACアダプタEH-53（別売）

連続撮影コマ数	約 210 コマ (EN-EL1 使用時) ／約 240 コマ (2 CR 5 使用時) ※測定条件は当社条件 (液晶モニタ点灯、25℃、撮影毎にズーム、約 3 割のスピードライト撮影、NORMAL モード) によります。
外形寸法	約 113（W）×約 78（H）×約 105（D）mm
質量 (重さ)	約 480g（バッテリー、メモリカードを除く）
動作環境	
温度	0 ～ 40℃
湿度	85% 以下 (結露しないこと)

- 仕様中のデータは、すべて常温 (25℃)、付属の専用リチャージャブルバッテリー EN-EL1 をフル充電で使用時のものです。
- 電池の使用期間は、電池の種類および使用状況により異なりますのでご注意ください。電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により電池性能に差があるため、撮影時間が短い場合があります。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 使用説明書の誤りになどについての補償はご容赦ください。

索引

記号

A

B

C

D

F

H

I

J

M

N

O

P

Q

R

S

T

U

W

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

アフターサービスについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたらニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

• ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。

●お願い

• お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
• より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■製品の修理に関するお問い合わせは

ニコンカメラ販売株式会社　サービス部
〒 140 – 0015　東京都品川区西大井 1– 6 – 3
TEL 03 – 3773 – 2221　受付時間：祝日を除く月～金（9：00 ～ 17：45）
＊ このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

◆当サービス部では、修理品の直接受け付けならびに受け渡しに関する業務は行っておりません。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

• ニコンサービスセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。
• ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
• 修理に出されるときに、CF カードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後 7 年を目安としています。

• 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店、またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

• ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

• 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

TEL:0570-02-8000　　FAX:03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください

お問い合わせ年月日：　　年　月　日

お買い上げ日：　　年　月　日

製品名：　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　□会社
〒

TEL:
FAX:

ご使用のパソコンの機種名：

メモリ容量：　　ハードディスクの空き容量：

OS のバージョン：　　ご使用のインターフェースカード名：

その他接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：

問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

Nikon

アフターサービスのご案内

技術的なお問い合わせのご案内

内容および操作に関する技術的なお問い合わせは、下記ニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

ニコンカスタマーサポートセンター

0570-02-8000

市内通話料金でご利用いただけます。

全国共通電話番号 **0570-02-8000** にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

営業時間 9:30～18:00＜年末年始、夏期休暇等を除く毎日＞

携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033** におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499** におかけください。

株式会社ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
SB4C04(10)
6MA00110-A